

[あ・ア]

あいぎ [合議]

いくつかの部署に関係する事柄を決めるときに、それに関わるすべての部署で意見調整を行うこと。通常、文書のやりとりで行われる。

多くの場合、責任の所在を分散し、曖昧にするために行われることが多い。

アイエスオー [ISO、international organization for standardization]

世界標準化機構。各国で不統一な工業規格を標準化し、国際間の商業取引を円滑にしようというもの。1946年設立。本部ジュネーブ

[ISO9000]

ISOによる、設計・製造から検査・アフターサービスに至る、企業の品質管理システムを認証するための一連の規格。

[ISO14000]

ISOによる、設計・製造から消費・回収・廃棄に至る、製品生涯における企業の環境管理・監査システムを認証するための一連の国際規格

アイターン [I turn 和製英語] →Uターン

もともと都市部に住んでいた人が、地方に移住して定職に就くこと。

行動パターンをUターンと同様に例えたもの

アイディカード [IDカード、identification card] 身分証明書

アイドリングストップ [idling stop] 停車中のエンジン停止

アイロニー [irony] 反語。皮肉。当てこすり

元々は、無知を装うことによって、逆に対話者に無知を自覚させるソクラテスの論法を指す言葉。これから転じて反語等の意で用いられる。

アウトソーシング [outsourcing]

外注。外部調達。KDHに必要な製品、サービスなどをKDH外から調達すること。

KDHの場合これが非常に少ないため、一人当たり売り上げが極めて少ない現象となって表れている。

アウトプット [output]

実効性のある結果（考えるだけではダメ）。

「実効性のある」というところがミソであるが、単なる現象の説明に終わることも多い。

アウトレットしせつ [アウトレット施設]

衣料品やバッグ、家電の在庫品や規格外品を低価格で販売する店舗。

10店以上集まる施設をアウトレットモールと呼ぶ。三菱地所子会社のチェルシージャパンと三井不動産が運営大手

青木昆陽甘藷試作地

(Sweet Potato Pilot Farm Made by Konyo Aoki on a Trial Basis)

千葉県指定史跡。この地は、享保20年(1735)八代将軍吉宗の命により、青木昆陽が薩摩芋を試験栽培し、成功した所です。昆陽は江戸日本橋の魚商の子で本名を文蔵と称し、京都で儒学を伊藤東涯に学びました。江戸に帰ったのち町奉行大岡越前守に抜擢され、幕府書物方に登用され古文書調査・蘭学研究に励む一方「藩薯考(はんしょこう)」を著し甘藷栽培を説

き、救荒食（きゅうこうしょく）として飢饉に備えるよう吉宗に上書し認められました。甘藷は小石川養生園（現植物園）、下総馬加（まか）村（現在地）、上総豊海（とようみ、九十九里町）で試作されましたが、現在地のみが成功しました。甘藷栽培を紹介した人は昆陽以前にもいましたが、関東地方に広めたのは昆陽が最初であり、幕府の事業として実施したため全国に影響を与えました。その後幕張における甘藷栽培は次第に増え、天明の大飢饉にも甘藷のおかげで餓死者は皆無であったと伝えています。天保年間（1830-40）には、検見川で甘藷から飴も製造されるようになりました。

アーカイブス [archives]

公記録（公文書、古文書）保管所。記録保存館。資料館。

企業が保有する固有のマニュアルや業務規範をアーカイブということもある。

普段使われることは滅多にないが、事件が起きたときには、文書が廃棄されたりする。

ところで、日本一のアーカイブスといえば、蔵書 929 万冊を誇る国立国会図書館、英語名 National Diet Library である。この英文名については、こんなエピソードがある。「国立国会図書館の館員が米国の図書館に行ったときに、名刺を出したら、減量の図書館だと思われたとのこと。」米国の制度に則って作られた図書館なのに。因みに米国の議会図書館は Library of Congress。

どういう経緯でダイエットになったかは、館員にもわからないとのこと。

アカウンタビリティ [accountability]

説明義務。社会の了解や合意を取り付けるために業務や研究活動の内容について対外的に説明する責任。

これを怠ったり遅れたりすると、不二家や伊藤ハムのように法的には問題なくとも、隠蔽したとって叩かれる。

アカハラ [academic harassment 和製英語] アカデミックハラスメント

大学で教授などが研究者に対してする嫌がらせ。特にセクシャルハラスメントをいう。

アカペラ [a cappella 伊] 無伴奏で

某氏が「虎ノ門ブルース」を歌うときはいつもアカペラである。

アクションプラン [action plan] 行動計画。実行計画

アクションプログラム [action program] 実行計画

アクセシビリティ [accessibility] 利用しやすさ

アクセス [access] 交通手段。交通の便。参入

全国連（電気保安協会全国連絡会議）は、虎ノ門に所在しているだけあって地下鉄・クラブ L 西新橋（末尾地図参照）へのアクセスは抜群。

アジェンダ [agenda] 議題。検討課題。行動計画。実施すべき計画

平成 22 年 7 月 11 日に行われた参議院議員選挙で、躍進した「みんなの党」（英文名：YOUR PARTY）はアジェンダ政党を自認しているが第 3 極としての真価が問われるのはこれからである。

アジガミ [agitation paper] アジテーション・ペーパー
根回し用の説明紙

アジェンションといえば、かつて仙台のある職場の労働組合集会でこんな実話が。

組合のリーダーが「シュプレヒコール、とうちよくは我々のようちゅうをちけ」と叫んだが、集まった組合員の氣勢が上がらない。やっぱりこれは標準語でないと。「当局は我々の要求を聞け。」なぜかシュプレヒコールのところだけはなまらなかった。

アース [earth]

正式には「接地」という。漏電した電気を安全、確実に地面に流す役割をもっている。漏電ブレーカーとセットで使用すると、より安全

アステリスク [asterisk] *。アステリ。小さな星。

Asterisk is a word coming from Greek and literally it means a little star.

参照・注・省略などを示す符号の一種。

なお、※ は、「米」という字を45度傾斜させた符号で、その形態の由来から「米印（こめじるし）」と呼ばれる。

アスペルガーしょうこうぐん [アスペルガー症候群 Asperger syndrome: AS]

興味・関心やコミュニケーションについて特異であるものの、知的障害がみられない発達障害のことで、「知的障害がない自閉症」として扱われることも多い。ただ公的な文書においては、自閉症とは区分して取り扱われていることが多い。

対人関係の障害や、他者の気持ちの推測力、すなわち心の理論 (Theory of Mind) の障害が原因の一つと考えられている。特定の分野への強いこだわりを示したり、運動機能の軽度な障害も見られたりする。

ASの人は多くの場合、行間を読むことが苦手あるいは不可能で、人が口に出して言葉で言わなければ、意図していることが何なのかを理解できないといわれている。例えば、「あなたは要領がいいですね。」といわれる場合、場面によっては皮肉を込めていっている場合もあるのであるが、当該本人はこの辺のニュアンスを読めないというのである。ここからKYといういわれ方をすることもあるが、ASとKYは全く異なるものであることに留意する必要がある。

したがって、就労等の社会的生活を送る場合は、職場等の周囲の理解が不可欠の要請になる。近年ASに対する関心が高まってきてはいるが、まだまだ偏見がみられるのでその是正に向けた取組の強化と本問題に対する理解が深まることが望まれる。

ところで、KDHにはASでなくても、ASと同じような振舞いをする御仁がおられるが困ったことである。

なお、英語で空気を読むは read the situation 又は sense the atmosphere、

行間を読むは read between the lines となる。

アセスメント [assessment] 評価、査定、影響評価、事前調査、アセス

[例] 送別会のお店への道順はアセスしていたので迷わなかった。

アセットアロケーション [asset allocation] 資産配分→ポートフォリオ

アソシエイト [associate] 仲間。同僚。提携者

組織の構成員の一人ひとりが主体性を持って企業活動を行い、個性とチームワークを発揮していく人

医療機器メーカーのテルモ㈱の「アソシエイト経営」が有名

アソートメント [assortment] 品揃え

アップトゥデイト [up-to-date] 最新版→[幕末の資料]

最新の情報を取り入れていること。最先端であるさまあてしょく [充職]

特定の職にある者を別の特別の職に就かしめる（充てる）こと。

アテンド [attend] 世話をすること。面倒を見ること。

[例] F I S U E Lの会議の日本開催の際は英語を話せるアテンド要員の確保が課題だ。

アドホック [ad hoc ラテン語] 付加的に。暫定的に。

アドミ [administration stuff] アドミニストレーションスタッフの略

総務、人事、企画、経理など本社の管理部門のこと。

今般のトヨタのリコール問題では、同社の豊田社長の「アドミ軽視」の体質がクローズアップされた。健全な経営を維持している企業は、「アドミ」がしっかりしていることに留意する必要がある。

アナログじょうほう [analog information] アナログ情報

デジタル情報と対比されて用いられる言葉で、デジタルが1個、2個と数えられる量であるのに対して、アナログは厳密に測ればいくらでも細かく測れる量のこと。身近な例では、アナログ時計とデジタル時計がある。長針と短針からなるアナログ時計を細かく見ると、1分未満のところも連続的に動いているのに対して、分表示のデジタル時計は、何時何分と表示されるだけで何秒かまでは分からない。つまりデジタル情報が離散量(飛び飛びの情報)であるのに対して、アナログ情報は連続量ということになる。

コンピュータの登場とともにデジタル化が進んだといわれるが、これはコンピュータにとってはデジタル情報の方が処理しやすいためである。コンピュータは、0と1のデジタル情報を超高速に処理するのは得意だが、連続量であるアナログ情報を処理するのは不得意である。人同士との会話では、「今日は暑いですね。」といえ意味が通じるが、コンピュータに対し「今日は暑いですね。」と言っても理解してもらえず、「今の気温は30度です。」と言わないと通じない、というようなイメージである。

なお、携帯電話で通話するときの音声情報はアナログ情報なので、これを高速処理するためには、まずアナログ情報をデジタル情報に変換する必要がある。

アネクドート [anecdote] 逸話。奇談。世に知られていない真実

次の政治風刺小話は、旧ソ連時代の「アネクドート」の最高傑作として有名。

モスクワの赤の広場で叫び回っている男がいた。「フルシチョフは馬鹿だ。フルシチョフは馬鹿だ」。男はすぐに捕らえられ、懲役20年の刑に処せられた。その1年分は最高指導者を侮辱した罪、19年分は国家の機密を漏らした罪

アバウト [about] 大雑把な、大まかな。いいかげんな。

ア プリオリ [a priori] 先験的。先天的

ア プリオリに知るとは、経験とは無関係に知ること。

アブリビエーション [abbreviation] 省略。省略形。短縮

April の短縮形は Apr. 又は Ap.

ところで、ユニクロの U N I Q L O は最初、unique closing warehouse の略で、U N I C L O だったが、香港で役所に申請するときに、誤って C が Q になったことは有名な話。

我が国総合スーパertop のジャスコ (J U S C O) は、Japan United Stores Company の頭文字をとったものであるが、平成 22 年中に店舗名を「イオン」に統一するため、「ジャスコ」と「サティ」はその看板を下ろす。イオンはラテン語で「永遠」を意味する。

イオンといえば、幕張新都心の北西部の豊砂地区 (会員制御・小売商業施設「コストコ」の周辺) の約 18 ヘクタールで、平成 25 年 3 月をめどに総合スーパーを含む複合商業施設を開業予定とのこと。スポーツ施設や温浴施設、映画館、商業専門店などを整備する計画となっている。幕張の「にぎわい創出」が期待できる一方で、千葉市の中心市街地の空洞化が危惧されている。

また、E メール独特の省略表現を示せば以下のとおり。

- ・ A F A I K = as far as I know (私の知る限りでは)
- ・ B F N = Bye for now (じゃあね)
- ・ B T W = By the way (ところで)
- ・ C U = See you (では)
- ・ C U L = See you later (では、また)
- ・ F 2 F = Face to face (面と向かって)
- ・ F Y I = For your information (ご参考までに)
- ・ I M O = In my opinion (私の意見では)
- ・ I O W = In other words (言い換えると)
- ・ J I C = Just in case (年のため)
- ・ K I T = Keep in touch (また連絡します)
- ・ L O L = Laughing out loud (ゲラゲラ笑っている)
- ・ L T N S = Long time no see (久しぶり)
- ・ N P = No problem (問題ない)
- ・ O T O H = On the other hand (一方)
- ・ T H X = Thanks (ありがとう)
- ・ T I A = Thanks in advance (前もってありがとう)
- ・ Y W = You' re welcome (どういたしまして)

アプローチ [approach] 接近。言及。相談

We have not been approached for this business.

(本件 (商談) については当方にまだ相談がない。)

アベイラブル [available] 利用可能なさま

[例] 部長が午後アベイラブルであれば、午後 2 時から部内会議をしよう。

5 時以降、いつでも空いている人には、この語は用いない。

アポ [appointment] 予約。約束

K D H は、アポなし 10 万軒のお客を持っているのが大きな資産である。

あほのかべ [アホの壁] → [人には告げよ海人の釣り船]

筒井康隆の著作から…傘を持って出ると必ず忘れて帰ってくるという人がずいぶん多い。不思議なことには、たとえ雨が降っていても傘をどこかに

置き忘れ、びしょ濡になって帰ってくる。風邪をひこうとしているとしか思えないのだが、フロイト的に分析すれば、これは常に忘れ物を家人に叱られていたい、叱られたりびしょ濡になったりして、遠まわしに自分を罰したいという願望があると考えられる。…

某法規担当も傘を数本机のそばに置いてあるが、愛する奥さまに叱られたいという願望のあらわれか。

今日こそは「飲むまい」と思うことがまったくないように見える某室の〇〇補佐は、とにかく飲み会が好きである。とにかく飲んでいるときは仕事のようないいかげんなことはしない。飲み会では権力者にひたすら注ぎまくる。結果、注ぎまかれた方は飲みすぎて足をとられ転んでしまい不機嫌となり、注いだ本人の評価が下がる。連日こんなことの繰り返しでは、所定の刑期を待たずに南東北に強制送還なんてことになりかねない。心配の種がつきない……。

アメニティ [amenity] 環境快適、快適さ

アラカン [アラ還] around (about) 還暦の略

古くは映画「鞍馬天狗」や「明治天皇」に主演した俳優「嵐寛寿郎」の略称。アラ棺という者もいる(因みに昭和23年と24年当時の平均寿命は、前者が男50.6歳、女53.96歳、後者が男56.2歳、女59.8歳であった)。

【類】アラフォー。アラサー。アラフィフ。アラ古希
用語集の作者を「アラ閑」というのは誤用である。

アリバイ [alibi] 現場不在証明

犯罪の行われた時、被疑者がその現場にいなかったことを証拠又は証人によって立証すること。

KDHの事業所長会議の資料をみると、これは安全確保対策についてアリバイ的に記載しているのかなと見受けられる事業所も散見される。朝礼・夕礼でも一応電気安全について言及し、安全確保対策に注力しているアリバイづくりをしている所長さんも……。

アルカディア [Arcadia] 理想郷

かつてMITIが「頭脳立地構想」の下、「オフィスアルカディア」を推進したが、結果は芳しいものではなかった。

あんぜんこうどうきじゅん [安全行動基準]

平成20年6月19日の群馬事業本部における感電死亡事故の発生を契機に、職員の安全に対する意識の向上を図るとの観点から、「安全三原則」(①安全のプロとしての自覚、②基本を守り抜く忍耐力、③事故を起こさない責任感)の具体的行動指針として平成21年6月11日に制定(役員会承認)され、同年6月19日(21年度から「安全を考える日」に制定)の平成21年度安全大会において対外的に公表されたもの
具体的内容は次のとおり。

- ① 私たちは、安全優先で決めたこと、決められたことを守ります。
- ② 私たちは、推測に頼らず、必ず安全確認を行います。
- ③ 私たちは、自分と仲間を守るため、不安全行為は見逃さず、互いに注意しあいます。

なお、③の「……互いに注意しあいます。」については、「互いに」と「……しあいます。」が表現上かぶりとなるので不適切ではないかとの指摘もあつ

たが、職員間では「お互いに注意し合う。」という表現が定着していること、また「岩波国語辞典第5版」には、「互い」の用例の中に「お互いに合格を喜び合う」の表現があったことから、上記表現に落ち着いた経緯がある。
アントレプレナー [entrepreneur] 起業家。企業家

一般財団法人への移行は、企業家精神を発揮できることを含め従業員の士気の向上が期待できる。

アンパーサンド [ampersand] 「&」の記号

アンパクチュアル [unpunctual] 時間的にルーズなこと。

あんもくち [暗黙知]

その分野に精通している人ならだれもが、言葉にしなくとも経験を通じて暗黙のうちに身につけている知識のこと (tacit knowledge)。アナログ知と呼ぶ人もいる。[対] 形式知。

[い・イ]

イーエムエス [EMS、Electronics Manufacturing Service]

電子機器の受託生産を行うメーカーや方式

いけぶくろのよる [池袋の夜]

青江三奈 (1945. 7. 7～2000. 7. 2) の最大のヒット曲 (公称150万枚、昭和44年日本レコード大賞歌唱賞)

なお、池袋駅構内やKDHの本部に隣接する瑞鳳山祥雲寺 (曹洞宗) などによく見かける「ふくろう (彫刻)」は、ローマ神話の知性の女神、ミネルヴァの使いとされるが、そんなこととは関係なく我がKDHのフクロウ部隊は今日もまたネオン煌めく夜の巷に消えて行くのであった。「ミネルヴァのフクロウは黄昏どきに飛び立つ」とは、ヘーゲルの「法の哲学」の序文の一節であるのだが。(梟は不苦勞・福来路とも記され、我が国では古より知恵と幸運のシンボルとして尊ばれている。)

(注) 梟の仲間の「ミミズク」も「森の賢者」と呼ばれ、英知の象徴とされている。祥雲寺山門入り口西側の梟の石碑に次の歌が刻まれている。

くびかしげ何を見ているどんぐり目耳を澄ましてまちの風きく

♪♪♪

「歌に思い出が寄り添い、思い出に歌は語り掛け、そのようにして歳月は静かに流れていきます。[にっぽんのメロディ (1977～1991、NHKラジオ第1放送 中西龍アウンサ-)]

「池袋の夜」作詞：吉川静夫 作曲：渡久地政信

1. あなたに逢えぬ 悲しさに 涙もかれて
しまうほど 泣いて悩んで 死にたく
なるの せめないわ せめないわ どう
せきまぐれ 東京の 夜の池袋
2. 他人のままで 別れたら よかったものを
もうおそい 美久仁小路の灯りの
ように 待ちますわ 待ちますわ さよ
ならなんて いわれたい 夜の池袋
3. にげてしまった 幸せは しょせん女の
身につかぬ お酒で忘れる 人生横丁

いつまでも いつまでも どうせ気ま
ぐれ 東京の 夜の池袋

♪♪♪

ところで昭和44年といえば、団塊世代歌手由紀さおり（本名安田章子）。米国のジャズバンドと共演したアルバム「1969」が欧米で売れている。坂本九の「SUKIYAKI」以来の快挙とか。日本語で収録した曲が受けたというのがすごい。

このアルバムには夜明けのスキヤット、ブルー・ライト・ヨコハマ（石田あゆみ）真夜中のボサ・ノバ（ヒデとロザンナ）、いいじゃないの幸せならば（佐良直美）、夕月（黛ジュン）などが収録されているが、勿論「池袋の夜」は収められていない。

（注）東池袋の名物居酒屋街「人生横丁」は平成20年7月末をもって閉鎖。昭和のレトロ漂うもう一つの飲み屋街「美久仁小路」は未だ健在で「ずぼら」、「ふくろ」は常に満席の状況。ずぼらの昼定食は団塊世代サラリーマンの人気メニュー。隣の栄町通りとともに池袋倶楽部の帰路の2次会の定番コース

イーコマース [e-commerce] 電子商取引

ネットワーク上で、個人や企業が商品購入から決済までの商取引を行うこと。

イコールフットィング [equal footing] 対等の立場。同等の条件。

経済的競争を行う当事者双方の条件に不公平がないこと。

KDHが一般財団法人への移行を選択した理由の一つに、「他企業とイコールフットィングの立場でフェアな競争が可能となること」が挙げられる。要は民業圧迫の批判を招かないようにするということである。

いし [意思]

意思を「意志」と表記する場合もあるが、後者は[意欲がある]という意味で志に重点を置いた用法とされるので、公用文では「単純に当事者の思い」という意味の「意思」を用いることとされている。

いしのうりょく [意思能力]

自分の行為の動機と結果を判断して正常な意思決定をなすことのできる精神能力・判断能力。意思能力は通常人であれば満7・8歳になれば備えているものと考えられる。

イージーゴーイング [easygoing] → [極楽トンボ]

生き方がおおらかなさま。流れに逆らわないさま。我が国では「安易で努力をしない」という否定的なニュアンスで用いられるのが普通であるが、我がKDHマンはそんなことはどこ吹く風と昨日も今日も「イージーゴーイング」。とりあえず今日を凌げば、そう明日は明日の風が吹くのである。これはフィクションであり、特定の人物を念頭において記述したものではないので念のため。

イシュー [issue] 争点。論争点。発行。発行部数

かつての小泉政権の郵政解散はまさに郵政民営化の是非という single issue による選挙であった。

いたく [委託] → [委任]、[請負] —（委託と請負の違い）—

委託は、一般には取扱いや実行などを他の人に頼んで代わりにしてもらう

こととされるが、法的には法律行為（意思表示の合致を要素とする「契約」が代表格）の委託を委任と呼んでいる。

民法第643条は、委任を次のように規定している。

「委任は、当事者の一方が法律行為をすることを相手方に委託し、相手方がこれを承諾することによって、その効力を生ずる。」

我々が一般に「委託契約」と呼んでいるのは、民法上の委任に報酬の特約を付した契約形態のもので、実効上は請負に近いものと思われる。

民法は無償の委任を原則（648条）としているが、実際には弁護士への委任の場合のように報酬の支払いを特約することが多い。

委任は、雇用、請負とともに労務供給契約の一種であるが、結果の完成を必ずしも必要としない（一定の目的に従って事務を処理することが目的）点で、仕事の完成を目的とする請負と区別される。

委任契約の相手方（受任者）は、自ら事務を処理する義務を負っており、いわゆる下請けを使うことができない（請負は下請けを使うことができる。）。また善管注意義務（民法644条）や報告義務（民法645条）などが課されている。

ただ、請負的な契約でも「委託契約」という名称を使用することもあるので、厳格にこれが民法上の「委任契約」だとか、「請負契約」だとかに定義づけることが難しい場合もある。（契約書の内容は自由なのでそれこそ千差万別である。契約内容によっては後述の収入印紙税の問題が惹起するので注意は必要だが。その多くは民法典の「雇用」、「請負」、「委任」等に厳格に区分しにくい契約を「委託契約」と称している面がある。）

ところで保安本部の某部長の話。

「協会の保安管理業務における点検は、「その場その時その限り」なので、点検をしたことをお客さまに承認してもらえば完了するということで、結果を期待されていない委任業務として整理されている。この点が請負業務と大きく違う。

医者に見てもらって治らなくても診察料を支払うとか、弁護士に依頼したのに裁判の結果死刑になっても費用を払うのと同じと考えれば、協会の点検業務はなんと・・・な仕事かがわかる。」

一方、KDHの保安管理業務は、法人税法においては同法施行令第5条（収益事業の範囲）に定める「請負業」に該当するとして「一般電気工作物調査業務」と同様収益事業課税がなされている。

（参考：一般用電気工作物の調査業務）

「一般用電気工作物」の調査義務は、電気事業法第57条に基づき「電気供給者」に課されている。さらに法第57条の二に「調査業務の委託」が規定されており、電気供給者は登録調査機関に（略）技術基準に適合しているかどうかを調査並びにその調査結果（略）を所有者又は占有者に通知すること（以下「調査業務」という。）を委託することができることになっている。

次に、法第57条の二の第3項で登録調査機関に調査業務を委託している場合は、当該電気供給者はその委託に係る一般用電気工作物についての調査義務を免れる旨を定めている。すなわち、電気供給者が登録調査機関に調査業務を委託した場合には、一般的には公法上の責任も私法上の責任も登録調査機関に移ることとなり、調査の不備による事故の発生の責任は登録調査機関にあること

となる。

なお、調査業務を登録調査機関以外に委託すること自体は禁止されている訳ではないが、法第 57 条の二の第 3 項が適用されず、公法上の責任も私法上の責任も委託先に移ることがなく電気供給者が責任を負うこととなる。これは登録調査機関のように経済産業大臣の監督を受けるものではなく、調査能力が確認できないためである。

（参考：印紙税法上の取扱い）

「保安全管理業務委託契約書」の印紙税法の取扱いは、法人税法とは異なり、業務内容が「請負」ではなく「委任」契約に該当する「非課税文書」とあるとの判断が国税庁から示された（平成 8 年 3 月）。

この違いは、法人税法が収益事業の範囲を「事業」という括りで整理しているのに対し、印紙税法の課税物件（課税の対象となる物・行為・事実）は、文書（印紙税法別表第 1 の 20 種類の文書）であることによる。

即ち、印紙税の課税対象となるか否かの判定は、その契約書の全体的な評価によって決まるのではなく、その文書の内容として記載されている個々の事項のすべてについて検討し、その個々の事項の中に一つでも課税物件表に掲げる課税事項となるものが含まれていればその契約は課税対象となる。

KDH の上記「保安全管理業務委託契約書」については、この審査の中で印紙税法上の「別表第 1 課税物件表」のいずれの文書にも該当しない非課税文書であるとされたものである。

なお、保安全管理業務における清掃業務は、仕事の完成を目的とする業務内容からみて請負契約に該当するものとされている。したがって、清掃業務の内容を契約書に織り込む場合には、印紙税法上の課税文書に該当することから収入印紙を貼付することが必要となる（KDH は契約書等を含めこの点整理済み。）。

（注：役所における「委託契約」と「請負契約」の違い）

役所における委託契約には、「概算契約（委任契約）」と「確定契約（請負契約）」がある。前者については、支払金額が確定せず概算で見込んでいる金額を上限として契約を行い、契約完了時に実費等に基づいて支払金額の確定行為が必要な契約で、後者については、契約の目的、目的物の数量、契約金額、履行期限等、契約内容の要素がすべて確定している契約で、契約完了時に支払金額の確定行為が不要な契約である。

（参考：民法における雇用・請負・委任の関係）

	雇 用	請 負	委 任
仕事の進め方	雇用主の指揮・命令により行い、裁量権はない。	受任者の裁量で行う。	受任者の裁量で行う。
仕事の完成（成果・結果責任）と報酬	仕事を実行すればよいだけで、完成（成果）はできなくともよい。仕事を実行すれば、報酬を請求できる。	仕事の完成が主眼。自己の責に帰せざる理由であっても完成責任は免れず、仕事を完成させなければ報酬の請求権はない。	仕事を実行すればよいだけで、自己に責がなければ完成（成果）はできなくともよい。報酬は原則無償であるが、有償であることを妨げず、

			有償の場合、仕事を実行すれば、報酬を請求できる。
上記に対する損害賠償	なし	あり	なし
契約解除	将来に向かってあり。	契約当初に遡り、契約がなかったことのできる。	将来に向かってあり。

(注：一般財団法人と評議員・理事・監事との関係)

一般財団法人と評議員、理事及び監事（以下「評議員等」という。）との関係は、委任に関する規定に従う(法人法 172 条。)

委任にあることの帰結として、評議員等はその就任を承諾することによりはじめて評議員等となり、いつでも辞任することができることになる（民法 651 条）。また善管注意義務を負い、自ら評議員会等に出席して議決権を行使しなければならない。

もとより評議員等については、その資質、能力、手腕等に着目して協会から委任を受けて就任した者であることから、当該本人が評議員会等に出席して議決権を行使することが求められており、代理行使は認められていない。同様の趣旨から書面又は電磁的方法による議決権の行使や持ち回り決議についても許容されていない。

ところで、法人と評議員等との関係の法的性質については、従前の民法のみならず、学校法人等公益法人を規定する他の特別法にも規定しているものはなかった。学説及び判例では、法人と理事等の関係は民法の委任に関する規定が適用ないし準用されるところとしているところである。

なお、法人のうち株式会社の取締役及び監査役は、委任に関する規定に従うことが法律上明らかにされている（会社法 330 条、会社法制定以前は商法 254 条 3 項等）。

いっちょうめいちばんち〔一丁目一番地〕政策上で最も重要なもの。

2 番目に大事な項目であっても、二丁目一番地とか一丁目二番地とは言わない。

因みに、霞ヶ関の一丁目一番地には、検察庁や裁判所がある。

いっぱんようでんきこうさくぶつ〔一般用電気工作物〕→「事業用電気工作物」

600V 以下で受電する需要設備又は小出力発電設備で、構外にわたる電線路、小出力発電設備以外の発電設備がない等、安全性の高い電気工作物

〔例〕一般家庭、商店、小規模事務所等の屋内配線等、家庭用太陽光発電・燃料電池発電等の小出力発電設備

イニシアティブ〔initiative〕主導、発議

イニシャルコスト〔initial cost〕初期費用。初期投資→〔ランニングコスト〕

技術開発費や機械・設備の購入費・据付費など、製品開発から製造開始までの当初にかかる費用

いにん〔委任〕ある事務の処理を自分以外の他人に任せることをいう。

当事者の一方（委任者）が法律行為その他の事務の処理を相手方（受任者）に委託し、相手方がこれを承諾することによって成立する契約（民法 643～656 条）。無償

が原則だが、暗黙の意思表示や慣習によって有償の委任と認めなければならない場合もある。

受任者は、委任の本旨に従い「善良な管理者の注意」をもって委任事務を処理する義務を負う。この注意義務は委任契約の基礎たる信頼関係に基づくものであって、報酬の有無やその多寡を問わない。委任は各当事者においていつでも解除できると定められているほか、さらに委任者又は受任者の死亡によって終了するものと定められているが、これは委任が当事者間の信頼関係を基礎としていることに由来するものである。

イノベーション [innovation] 技術革新。刷新

イメージがちがう [image が違う]

自分の妄想が部下に通じず、ジレンマに陥っているときに発する上司の言葉（アウトプットが発注者のイメージと異なること）。

と言っても、上司が的確な指示を与えたかという点はなおざりにされている。

インキュベーション [incubation] 起業支援

インセンティブ [incentive]

誘因。誘導。刺激。やる気を出させるような「エサ」

心理学や経営学の実験によれば、金銭的なインセンティブはむしろやる気を失わせるという結果が多く報告されている。

インターネット [internet]

共通のプロトコル（コンピュータ本体と周辺機器との間でのデータ伝送の手順の規約）と共通のアドレス体系を使用して相互に接続されている世界的ネットワーク

インタラクティブ [interactive] 双方向的

インテグレート [integrate] 統合すること。

インテリヤクザ [intelligent yakuza]

元々は、ビジネスやこれに関連する法律に明るく経済活動をもって所属する組織に利益を与える存在のヤクザを指すが、KDHではその風貌と企画力・企画実現力そして事情通などから畏敬の念を込めて某理事の代名詞として使われることが多い。

そういえば、その昔千葉市の栄町にはその筋の者が跋扈していた由。某理事はこの近傍で生をうけているがこの系譜には昔も今も属していないので念のため。

インテンション [intention] 意図。意向

インターンシップ [internship] 就業支援

学生達が企業で一定期間企業活動について体験する制度

イントラ [intranet] イントラネット

インターネット環境を組織内の情報交換に応用したネットワーク形態

インバウンド [inbound] 外国人の訪日旅行

我が国政府は海外旅行客招致（インバウンド）を成長戦略に掲げるが、平成 22 年の訪日外国人数は目標の 1 0 0 0 万人に届かなかった。

インパクト [impact] 衝撃

かつて、行政刷新会議の事業仕分けで、某委員の次のセリフが記憶に新しい。

「(技術開発や研究開発は、) なぜ1番でないとダメなんですか。2番ではいけないんでしょうか。」

惜しむらくは、このときに即座にインパクトのある切り返しが欲しかったなあ。

(参考) 2011年1月のオバマ大統領の議会演説(抄)

There is no room for second place.

There's only one place in my game, and that's first place.

インフラストラクチャー [infrastructure] 社会的生産基盤

インベストメント [investment] 投資

[う・ウ]

ヴィスタ [VISTA] → [BRICs] [ネクスト11]

Vietnam、Indonesia、South Africa、Turkey、Argentina の5か国の総称。

BRICs 経済研究所のエコノミスト、門倉貴史が、2006年11月にBRICsに続く新興大国群グループとして提唱した造語

ウィンウィン [win win] 共存共栄

交渉などで、双方にとって好都合、有利なこと。

ウォーキング [walking] 歩くこと。歩行→[差別用語]

KDHにはウォーキングの愛好家が少なくない。本部4階のビル内ウォーカーを5階では徘徊老人と呼んでいるらしい。

なお、KDH本部から上野駅の東口近くのレトロな雰囲気「博多屋」(台東区東上野3-18-1まるかビルB1)までは徒歩約90分。同店のホッピー、煮込みが特に有名。南東北の常磐線週末帰郷組(単身赴任者)はここで「オダ」をあげているらしいが、最近は企画本部の某新人も仲間に加わったとか。もっとやることがあるだろうに将来が危惧される。某専務理事が好みそうな店ではあるが。

さて、左党に珍重される冬の珍味といえばナマコ(海鼠)であろう。酢によく合い、その腸コノワタ(海鼠腸)はカラスミ、ウニとともに三珍味といわれるが、博多屋でこういう料理を期待することは、魚屋に行つて野菜を求めるようなもので無理である。

ところで、飲み歩くといえは関西の芸人(故人)の次の伝説が有名。

北の天外(てんがい)、南のまこと、東西南北、藤山寛美(ふじやまかんみ)

[注] 天外は渋谷天外、まことは藤田まことを指す。

KDHでは、次のようにささやかれている。

金華飯店〇〇部長、上野、アキバは〇〇課長、どこでも知ってる〇〇理事
ウォンツ [wants] 必要物。欲しい物

He is a man of few wants. (彼は欲の少ない人である。)

うけおい [請負] → [収益事業]

当事者の一方(請負者)がある仕事(例えば建物を建てるという仕事)を完成することを約束し、相手方(注文者)がその仕事の結果に対して報酬を与えることを約束することにより成立する契約。契約の主眼は仕事の結果にあり、したがって仕事は必ずしも請負人自身の労務によってなされることを要しない。つまり下請けに出してもよいわけである。

うらをとる〔裏をとる〕

ソース（情報の出所）を確認すること。特に全国連（全国電気保安協会連絡会議）を経由した各種調査については留意することが必要（本件では全国連の某部長とKDH企画本部某担当の掛け合いが有名で、このことが某部長の退職を早めた一因となったとの説もまことしやかに流布された。）。いずれにせよ場合によっては専務理事等に直接役所の幹部等に「裏をとってもらおう」ことも必要となる。

〔え・エ〕

えいぎょう〔営業〕 営利（利潤の獲得）を目的として業務を行うこと。

営業の仕事の本質は、「お客さまの業務改善」であり、「お客さまへの営業支援」であるといわれる。

自己とお客さまの双方にベネフィット（利益）をもたらす仕組みを提案してお客さまに喜んでもらえればその仕事は成功とされている。

まさに近江商人のいう三方よしの価値観である。

「売り手よし、買い手よし、社会よし」

なお、近江商人がルーツの企業に、伊藤忠商事、丸紅、高島屋、日本生命、武田薬品工業など100年以上の歴史を持つ企業も少なくない。

ところで、営業の「肝」とは何たるものかについて、深山専務理事が「KANTO」の平成22年3月号に「営業のころ」と題して寄稿されているが、極めて示唆に富む内容なので以下に全文を再掲する。

営業のころ

わが協会は今年七月、営業部を設けることになった。他の電気保安協会では既に営業部またはお客さま本部を設置したところもあるし、関東でも事業本部によっては、営業担当者をおいて活動を開始しているところもある。先般、本部営業部員を内部公募したところ、二十七名もの方々が応募していただいた。それだけ大勢の方が営業の仕事に意義を見出し、意欲をもって取り組もうとされていることに、正直、驚きと喜びを感じた。

公益法人たるもの営業などやってはいけないと思い込んでいる人もいるかもしれないが、それは誤りで、やってはいけないのは不当に多額の利益を得てその利益処分をすることである。電気保安協会のように、どこからも補助金をもらうことなく、お客さまからいただく収入だけで自立している組織が、営業もせずジリ貧になったら誰が救ってくれるというのか。

私が前にいた会社で十年近く営業をやった知見から、営業とは何かについて考えてみたい。結論から言えば、営業とは、お客さまに喜んでいただくことによってこちらにも喜ばせていただく関係を、長く続けることだと思う。

だから、こちらが提供できる商品やサービスを一方的に説明してもだめである。相手のニーズや関心がそこにあるかどうか分からないのだから。まして、協会は特定の機械や食品を売っているのではない。サービスという目に見えないものを提供するのだ。お客さまが何を求めているのか、電気設備を管理する担当者が上司からどんな指示を受けているのか、それをじっくり聴き出すのが営業である。よく自分は

口下手だから営業に向かないという人がいるが、それは間違いだ。われわれの営業は、スーパーで見かける調理器具の実演販売ではない。立て板に水のようにしゃべる営業マンには胡散臭さを感じるし、人によっては不快感を持つことさえある。口下手こそ営業に向いているのだ。お客さまにいかによくしゃべってもらうか、それがポイントだ。ただし、お客さまに誠実に接すること、迅速に対応すること、これだけは絶対に必要だ。

また、お客さまだけが喜ぶ事態になってもだめである。営業マンの中にはお客さまに気に入られたいばかりに、とんでもない安値で受注してしまう人もいるが、それではこちらがやっていけない。つまり関係を長く続けられないのだ。わが協会の試験技術業務の中にも、長年にわたって赤字で受注を続けているものがある。しかしそのコストは誰が負担しているのかというと、他のお客さまだ。公益法人として、これほど不誠実なことはない。

おりしも今年はわが協会も新しい法人形態に生まれ変わろうとしている。お客さまに真に喜んでいただけるような協会を目指して、積極的な提案を行っていこう。韓国のことわざにこんなものがある。

「内から自分で割った卵は立派な鳥に成長するが、外から人が割った卵は目玉焼きにしかない。」

私たちも、自ら今までの殻を破り、意識も業務スタイルも変えていかなければ成長することはできない。

えいり [営利]

剰余金の分配。公益法人は一定の公益目的（不特定多数の利益）を実現するために設立された組織であり、営利を目的としてはならない（非営利性）とされている。ここでいう非営利性とは、収益事業を行ってはならないという意味ではなく、収益事業を行っても内部で分配してはならないということである。

営利事業を行う組織：例えば株式会社では、収益を上げて従業員や株主に還元することが目的であるのに対して、営利を目的としない組織は、収益を上げて、その利益を本来の目的事業を活発にすることに使う点が異なる。

株式会社は構成員である株主に対して、その持分に応じて配当金（剰余金）を分配する典型的な営利法人であるが、一般財団法人はそもそも構成員が存在しないため、営利法人とはなり得ない。

非営利法人であっても、収益をあげることができれば、それは再投資、顧客（社会）への還元（サービスの向上）及び職員への還元（給与改定等）の形で分配されることになる。

ええむきゅう [AM休]

午前中休み。AMは、もともとラテン語の「ante meridiem = before noon」に由来する言葉。

当日、職場にAM休の連絡をしてくるときは、alcoholic melancholy (AM) か alcoholic miserable (AM) によることが多いことから二日酔いによる半日休みを「AM休」という向きもある。AM休の連絡は前日にするのが無難。

なお、英語で二日酔いは hangover

4 階の某氏はいつも I have a hangover this morning.状態。

「酒を飲むは時間の無駄。飲まぬは人生の無駄」はけだし名言とは思うが・・・。

えききん [益金]

法人税計算上の課税所得の対象となる収入

(所得金額：益金の額－損金の額)

エキセントリック [eccentric]

ギリシャ語の ekkentros (中心から外れた) に由来する。

常軌を逸しているさま。非常に風変わりなさま。

どこにでもいるんだよね、こういうやつ。

仕事とはいえ痴性と人亡の持ち主との関わり合いは疲れますね。

(かつて上司の言：「不愉快な思いをすることも含めて給与なんだ。」

・・・ということはわかってはいるものの・・・)

エコビジネス [ecological business] 環境にやさしいビジネス(企業)

地球環境問題の高まりの中で注目を浴びるようになった低公害型、環境保全型の企業活動や商品販売など。

ところで、江戸中期の俳人、滝瓢水(ひょうすい)の句に「手にとるなやはり野におけ蓮華草(れんげそう)」がある。遊女を身請けしようとする知人をいさめた作だが、いまでは自然保護の文脈で語られることが多い。美しいものは、あるべき所にあってこそ美しい。

えじりはんてん [ejiri hanten] 江尻飯店

4 階の某部長は、単身赴任をいいことに毎日のように飲み歩き(これが匿名希望の茨城県の栃木寄りの某事業所長の池袋本部在籍時の行状とともに単身赴任手当て減額論浮上の引き金になっている。)、歩き過ぎでひざの具合が悪いらしい。江尻飯店は別名金華飯店といい、いつ行っても入れる。

「他の店が満員なので、仕方がないから来た。」と言っても店主に怒られることはない。江尻飯店では、オーナー自らが酒の用意をしてくれる。酒の肴はない。ただ頼めば料理を出してくれるが、料理は「安くて量があって消化が悪い。」とのことで、食後の「太田胃散」の服用は必須である。

そうは言っても、この店はKDHの優良顧客につき、リピーターとなることが望まれる。

えすけーわい [SKY: short KY]

危険予知の要点を簡潔明瞭に話すこと。ワンポイントKYとでも言うべきもの

女子高生語では、「その場の空気が読めない」の意。

エスピーシー [SPC, Special Purpose Company] 特別目的会社

資産の流動化(証券化)のために設立されるなど、特別の目的をもって設立された会社又は団体。

不動産の証券化により、SPCは対象不動産の収益を裏付けに証券を発行し、投資家から直接資金を調達できる。また、SPCの金融機関からの借入は融資金の返済財源を担保資産に限定するノンリコースローンによるものが一般的である。これらを原資にSPCは対象不動産を買い取るなどして企業など不動産オーナーの経営と対象不動産から生じる経済効果を切り離す。

不動産オーナーには、対象不動産を連結対象の資産から切り離し、将来の

価格変動リスクを回避できること、売却代金によって有利子負債の拡大を抑制できるなどのメリットがある。

他方、金融機関や投資家には、不動産オーナーの経営状況に左右されず、対象不動産からの収益を享受できるメリットがある。

エッセンス [essence] 要点

〔例〕 吉田君、話が長い。エッセンスだけ話せ。

エピゴーネン [Epigonen 独語]

模倣者。亜流。追従者

エピソード [episode] 挿話。逸話

講演等を行うときは、話の中にエピソード的な内容を折り込むと訴求力が増すといわれている。

F A Q [frequently asked question] 想定問答→想定問答

誰もが疑問に思うために、頻繁に出てくる質問。またこのような質問と回答をまとめた文書

エポックメイキング [epoch making]

画期的なさま。新時代を開くようなさま。

平成 22 年 7 月 1 日にKDHに営業本部が発足したことは、意識改革という観点からはまさにエポックメイキング的な組織改変であった。

えぬあーる [NR]

外で会議が行われるときに、職場に戻らず (No Return) 帰宅する意味で使われることもあるが、会議を早めに切り上げて「飲んでしまっているのでリコールしないでくれ」の略語として用いられることが多い。

えねちょう [エネ庁] 経済産業省資源エネルギー庁 [同] 資エ庁

Agency for Natural Resources and Energy

エラー [error] 誤り。間違い

間違った操作によるエラーには、誤解による間違いを表すミステイクエラー (mistake error) とうっかり (ちょっとした) 間違いスリップエラー (slip error) がある。前者は自分のやるべきことを誤解していて、そもそも操作の意図が間違っているときに起こるエラーであり、後者はやるべきことを理解しているにもかかわらず、うっかりやるつもりがなかった操作をしてしまうエラーである。かつて某室長が安全朝礼の際などに発するお寒いギャグは別の意味のスリップのしすぎまくり (これに本人が気付いてないのが哀れである。))。

エンパワーメント [empowerment] 権限委譲

エンプロイアビリティ [employability] 雇用可能性、雇用され得る力

どの職場でも求められる能力。一緒に働きたいと思われる力。

どの企業・職場でも通用する労働者が備えるべき「よき働き手としての資源」。この概念は人材派遣の分野で語られることが多いが、勤め人に遍く妥当するものとの指摘もある。

[お・オ]

オーイーエム [OEM、Original Equipment Manufacturer]

相手先のブランドで生産を請け負うメーカー又はこうした生産方式

おおばやしさくてん [大林酒店] tel : 03-3971-0858

KDH池袋倶楽部（末尾地図参照）御用達の酒屋。倶楽部に配達してもらえること、頼めば「浦霞」を冷やしておいてくれるなど何かと便利。またKDHを名乗ると「かわきもの」のオマケをつけてくれるのが嬉しい。因みに池袋倶楽部は、第2・第4土曜日と日曜日は休みである。

おきょう [お経]

書類の冒頭などで、当たり前の一般論等を記述することにより書類の体裁や量を整える部分。[同] 能書き、[類] 枕詞
和歌における枕詞は語調を整えるだけでなく、味わいをより深める効果があるが、ビジネス文書のそれは単なる無駄である。

おざなり [御座なり]

いい加減に物事をすませること。

座敷（宴会の席）で、その場だけの表面的な言動をするさまに由来するとか。似たような表現に「なおざり」がある。猶（なお：そのまま）と去り（さり：遠ざける＝何もしないで放っておく）が合体したとの説もある。平安時代には既に使われていたとのこと。後に「等閑」という漢語が漢字に当てられた。

両者の違いは、後者の「なおざり」がいい加減ゆえ何もしないのに対し、「おざなり」はいい加減とはいえ一応何らかのアクションを起こすこと。

つまり「何もしないか一応何かはする」ということである。

オーソライズ [authorize]

権威を与えること。公認すること。

おち [落ち]

協議等で相互に納得できる結果。おとしどころ等ともいう。

折衝ごとは、これをあらかじめ想定して始めないと収拾がつかなくなる恐れがある。

おちぼひろい [落ち穂拾い]

予算額を固める際に、他のいろいろな予算の端数をかき集めて自分が担当する予算を微増させること。ミレーの絵画に描かれる人々の素朴な姿とは印象が相当違う。

なお、ミレーの「落ち穂拾い」は、どういう訳か昔から専務理事室にかかっている。専務理事は落ち穂なのだろうか。

オーバードクター [over doctor 和製英語] 博士浪人→ポスドク

大学院の博士課程を修了しながらも、助手、講師などの就職先が決まるまで留任する人。

ところで、博士についてはこんな話が人口に膾炙しているという。学者の世界では使い古された言葉らしい。博士の資格を「足の裏に付いたご飯つぶ」というそうだ。その心は「取っても食えないが、取らねば気持ちが悪いく」。ようやく博士号を取得しても、それで職が得られるわけではないからとのことだが、就職難はここでも深刻なようだ。

オフザジョブトレーニング [off-the-job training]

普段勤務している職場から離れたところで行う訓練。

オブリゲーション [obligation] 責務、責任、義務

5時以降、職場を離れて飲み屋で先輩から聞く小言はこれに該当しない。

オフレコ [off the record] オフザレコード

記録しないこと。公表しないこと。記者会見などで、発表を差し控えてもらう条件で話すことがら。往々にしてこのオフレコが物議を醸す。外部に漏れてしまうと「あれはオフレコだから」という言訳が通用しないのが世の中である。

オマージュ [hommage 仏語] 賛辞、敬意

および [及び] → [並びに]、[限定列举]

「及び」と「並びに」の二つの言葉は、本来の意味としては、別に差はないが、法令用語としては、「又は」と「若しくは」の場合と同様、厳格に区別して用いられる。普通の場合、「一般社団法人及び一般財団法人」のように「及び」を使うが、接続の段階が二段になる場合は、小さい接続には、「及び」を、大きい接続には「並びに」を用いることになっている。接続の段階が三段階以上になる場合は、一番小さい接続だけに「及び」を用い、それより大きい接続は、いくつあっても「並びに」を使うのが現在のやり方である。ただし、むかしは、一番大きい接続だけを「並びに」でつなぎ、それよりも小さい接続には、みな「及び」を使うというやり方も行われていた。

【例】「・・・貸借対照表及び事業報告並びにこれらの附属明細書を作成しなければならない。」

なお、名詞の列举の場合、「及び」及び「又は」の前後には、読点「、」打つてはならないが、動詞の列举の場合は、動詞の連用形（「記載し」・「委託し」）のように次に「ます」をおいて連用するような「活用形」の後には「、」を打つのがルールである。

【例】「一般社団法人が社員に対してする通知又は催告は、社員名簿に記載し、又は記録した・・・」

オルタナティブ [alternative] もう一つの選択肢

上司にプレゼンする場合には、複数の選択肢を提示することが不可欠であるが、提案者の意向を成就させるためには代替案の内容をどのように（化粧）するかが鍵となる。

なお、もう一人の自分が自己を見つめているという場合の「もう一人の自分」を alter ego という。

オンザジョブトレーニング [on-the-job training]

実地訓練。仕事の現場で、業務に必要な知識や技術を習得させる研修略してOJT。決して女とジョークをテーマとした研修という意味ではない。「おまえら、自分でやれ、頼るな」の頭文字でもない。【対】 オフザジョブトレーニング

オンデマンド [on demand] 注文対応。受注即応

注文や要請があり次第、届けること。

おんれい [御礼]

「御」には「お」の読みはない。御礼は「おんれい」と読み、決して「おれい」とは読まない。「お」と表現したい場合は、「お礼」と平仮名で書く（お願い、お忙しい）。

[か・カ]

か [か、箇]

「10か月分割」や「三箇年計画」の表記の「か」の用い方には、ルールがある。算用数字の次は平仮名の「か」を、漢字の次は漢字の「箇」を用いる。箇の略字である「ヶ」は公用文では用いない。

かいかけきん [買掛金]

掛け（現金売買でなく、あとで清算する約束で行う売り買い）で購入したことによる代金の未払分

かいぎちゅう [会議中]

未出勤状態の場合や喫煙室に入っているときなどに、電話等外からの問い合わせに同僚や上司をかばって使う常套句。「席をはずしてます。」ともいう。某辞書によると会議とは、「時間厳守の時間浪費の会」だとか。

かつてKDHの某室でも、ある人が某室長を訪ねてきて午前中不在だったので、訪問者が「午前中は働かないのですか。」と聞いたら、部下が「午前中は出勤しません。働かないのは午後です。」と答えたとのこと。真偽の程は不明である。

なお、外資系企業では休暇を取るとき、次のような「不在時の自動応答」をすることが一般的である。

I am out of office on 9th and 10th December returning on 13th. Sorry for the inconveniences.

がいきょく [外局] → 「エネ庁」、「N I S A（原子力安全・保安院）」

内閣府・省の内局（内部部局）に対する語で、内閣府・省に置かれる委員会及び庁をいう。ME T Iの資源エネルギー庁、特許庁及び中小企業庁がこれに当たる。庁はその所掌事務の量が膨大であり、内部部局の1局とするのに不相当であるために外局とされたものである。

なお、委員会は、同じ外局とされていてもその所掌事務の性質上、各大臣からの独立性が認められなければならないため外局とされたものであり、庁に比して、内閣府・省からの独立性が強いといわれる（例：内閣府の公益認定等委員会）。

原子力安全・保安院（N I S A）は、資源エネルギー庁に置かれた特別の機関である。

（参考）

経済産業省設置法（抄）

第二節 資源エネルギー庁

第三款 特別の機関

（原子力安全・保安院）

第二十条 資源エネルギー庁に、原子力安全・保安院を置く。

がいさんばらい [概算払い]

① 年度の途中で委託先等が支出した経費を支払うこと。②出張のための旅費を事前にもらうこと。[対] 清算払い、実績支給。

がいさんようきゅう [概算要求]

次年度予算について8月末に各省庁が財務省に要求書を提出すること。

8月末に分厚い要求書の印刷物を提出するためには、新年度が始まってまだ間もない頃から次年度の予算を練る必要がある。予算が実態と合わない

のも無理がない訳だ。

かいじょじょうけん [解除条件]

既に発生している法律効果を消滅させる場合の成否未定の事実をいう。

[例] 毎月 10 万円の奨学金を給するが留年すれば給付を打ち切る場合の留年という事実を解除条件という。[対] 停止条件

ガイドライン [guide line]

政策などの指導目標。指針

かいぶん [回文]

上から読んでも下から読んでも同じ言葉になる文句。「かいもん」ともいう。以下の回文は有名。

永き世の遠（とお）の眠（ねぶ）りのみな目ざめ波乗り船の音のよきかな（この回文は 1 月 1 日の新聞のコラムなどによく引用される。）

若山や 咲く野辺の草 山や川

（和歌山市に出張した際に、この回文を飲み屋のママに披露したところ気に入られた記憶がある。この回文は和歌山出張には必携）

ところで、かつて東京選出の代議士に越智道雄（元金融再生委員長）が選挙の際に「下から読んでもオチミチオ、中にミがあるオチミチオ」と連呼したことは有名

なお、平成 23 年 11 月 21 日に他界した立川談志は「だんしがしんだ」の回文が大好きだったそうだ。

「草の名は知らず珍らし花の咲く」

「力士手で塩なめ直し出て仕切り」

「品川に今住む住まい庭がなし」

「口惜（くや）しや口惜し癩（しゃく）や癩」

「暖冬よちらちらちら蝶（ちょう）とんだ」

がいらいごのひょうき [外来語の表記]

最近の外来語の表記法では、片仮名の最後にあるア列の長音符号は省略するのが原則。[例] エレベータ、コンピュータ、プリンタ

ただ、従来の慣用があり、長音符号を省略しにくいものについては、従来の例によることとなっている。[例] アナウンサー、ヘリコプター、メーカー

がえんずる [肯んずる] 聞き入れる。承知する。引き受ける。肯定する。

「肯う」は「うべなう」、「肯く」は「うなずく」と読む。英訳すると to consent、to allow、to accept

カウンターパート [counterprt] 他機関の同レベルの窓口等

かがみ [鑑] 公文書等の最初のページで、公印の押してあるもの

かくりつ [確率 : probability]

確率の法則 (the laws of probability)

日本語では多分とかおそらくといった確信の度合いは曖昧であるが、英語では以下の () 書が一つの目安といわれている。

Probably (60%)、maybe (50%)、perhaps (30%)、possibly (20%)

かし [瑕疵] きず。欠点。法律上何らかの欠陥があること。

その物が当然有すべき性質を有しないこと、取引上普通に要求される品質

が欠けているなど、不完全な状態

「どことは言わないけれども、某協会に貸しがあってもKDHに瑕疵はない。」

かしだおれひきあてきん [貸倒引当金]

売掛金、受取手形、貸付金などの金銭債権に対して、将来の貸し倒れ（回収不能）による損失に備えるために事前に期末残高に対する一定割合で積み立てておく資金。

ただ、これは適正な資産評価及び損益計算のために計上される抽象的・概念的なもので、リスクを定量的に表現したものであり、貸倒引当金に相当する資金が実際に確保されているわけではない。

カジュアル [casual] 普段着であるさま

（衣服などが）略式であること。

[カジュアルフライデーcasual friday] 金曜日にカジュアルな服装で勤務すること。

カスタマイズ [customize] 特別の注文に応じての改造、仕様変更

カスタムメイド [custom-made] 特注生産

ガスぬき [ガス抜き]

無理な仕事を押しつけている相手のフラストレーションを一時的に解消すること。

ガセネタ [がせねた] 偽情報。嘘の情報。作り話

ガセネタは的屋（てきや）・香具師（やし）の隠語。ニセモノなのに「お騒がせな……」の「ガセ」から由来する言葉（1929年香具師奥義語）。

「ネタ」は商品という意味の「種（タネ）」が語源といわれる。

マブはまぶしいぐらい美しいこと。マブネタは本物。「マブダチ」は親友のこと。

ガセネタで質問して国会議員生命を失うのみならず人生を棒に振った（飛び降り自殺）した代議士もいた。

この用語集は当然のことながらすべてマブネタを基に作成している。

かちくのいきおい [家畜の勢い]

よく詰めないで役員まで一気に説明しようとする（早ければいいというものでもない？）。

イギリス人は歩きながら考える。フランス人は考えた後で走り出す。スペイン人は走ってしまった後で考える。KDHマンは……。

ところで、自衛隊の気質を表す表現として次のように語られることがある。

・陸上自衛隊：「用意周到 動脈硬化」

・海上自衛隊：「伝統墨守 唯我独尊」

・航空自衛隊：「勇猛果敢 支離滅裂」

（旧統合幕僚会議：「高位高官・権限皆無」）

（旧防衛庁内局：「優柔不断・本末転倒」）

なお、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊は、それぞれに独自の信条を掲げている。

* 陸上自衛隊「Final Goalkeeper of Defense」

* 海上自衛隊「精強即応」

* 航空自衛隊「Key to Defense , Ready Anytime」

「陸自はおにぎりを食べ、海自はカレーを食べ、空自はハンバーガーを食べる」といった比喻もある。

カテゴライズ [categorize] 分類すること。

カテゴリーキラー [category killer]

安売り業態の一つ。特定の商品分野に絞って、商品を豊富に揃え、徹底した安売りを行う店。

ユニクロ、しまむら、ヤマダ電機、マツモトキヨシなどがその代表

かながた [金型]

金属やプラスチックなどの素材を特定の部品の形に仕上げる型。

従来金型産業の圧倒的な技術力が日本の製造業を支えてきた。

かぶか [株価]

株価と言え、かつて104社の上場企業の大株主であった実業家・投資家の竹田和平の次の言葉が有名。

「上がってよし、下がってよしの株価かな。昔の庄屋が自分の田んぼの値段をいちいち気にするかい。庄屋が気にするのは、どれだけ人手が必要でどれだけの年貢が取れるかということだけだよ。株だって同じ。配当をもらって快適な気分になればよい。」

かみにする [紙にする]

連絡などを行う際、その内容を文書にすること。記録が残り間違いが起きにくい反面、紙にしたために後々問題になることもある。[同] ペーパーにする。

カミングアウト [coming-out] come out

これまで公にしていなかった出自や病状などを表明すること。

もともとは「(引きこもっている) クローゼットの中から出る (カミング・アウトする)」という意味のアメリカの隠語からきているとのこと。

カムフラージュ [camouflage 仏] 迷彩、偽装

敵の目を欺くための手段・方法をとること。はぐらかし、ごまかし、人の目をごまかすこと。

から [から、～]

時及び場所の起点又は原因などを示すには、[から] を用い、[より] は用いない。[より] は、比較を示す場合にのみ用いる。[例] 池袋から霞が関まで。午前9時から始める。池袋は渋谷より北にある。

ガラパゴスカ [Galapagos Islands 化]

世界標準から孤立した日本独自の進化。独自の進化を遂げたガラパゴス諸島の生物に例えて、技術的には最先端だが、特殊過ぎて競争力に結びつかない。つまり、日本でしか求められていないような多機能や品質を追求するあまり、コストが高くなりすぎて国際競争に勝てなくなっていることを揶揄した言葉。

高機能だが世界の標準からはずれたシェアの低い日本の携帯電話は、よく「ガラケー」(ガラパゴス携帯の略) と揶揄される。

なお、平成23は「多機能携帯端末元年」として、「これまでガラパゴスという言葉で日本は元気を失ったが、日本の技術は必ず世界で通用する。今度こそ『ガラパゴス』で日本を元気にしたい」と意気込んでシャープの電子書籍対応の多機能携帯端末「GALAPAGOS (ガラパゴス)」の命名

の音頭を取ったのは、同社の岡田圭子（おかだ・けいこ）オンリーワン商品・デザイン本部長だ。

カリスマ [Charisma 独] 超能力。予言や奇跡を行う能力

超人的な資質。大衆を心服させる能力。一般大衆を魅了するような資質・技能を持った人気者

かわせレート [為替レート]

各国の通貨の交換比率

英語で円高を「yen appreciation」、「strong yen」といい、

円安を「yen depreciation」、「weak yen」という。

これまでの対ドルの円高の最高値は1995年（平成7年）4月19日の79円75銭だったが、平成23年3月11日の東日本大震災後の3月17日には76円25銭を記録した。

さらに同年8月19日（日本時間同日深夜）ニューヨーク市場で75円95銭の戦後最高値を記録。

トヨタ自動車（株）では、平成22年8月時点で想定レートを

1ドル＝90円と見込んでいたが、1円の円高による年間の営業利益減少額は、300億円とのことである（平成22年8月11日現在：1ドル＝84円台）。輸出企業にとって円高は深刻である。

なお、円とドルが固定相場であった当時のレートが1ドル＝360円であった根拠を「円の角度が360度であったから」とする説は全くのデタラメである。佐藤栄作が総理大臣であった昭和46年12月19日に1ドル＝308円になったことがある。翌日の河北新報朝刊に「佐藤さんまるでパー」の見出しが躍っていたことが思い出される。

The export industry has been struck in a terrible situation due to the strong yen.（円高のあおりで輸出産業は大変な状態に陥っている。）

[き・キ]

き [基]

「基」は、人の手では動かせないものなどを数えるときに使う。[例] お墓、燈籠、石塔、やぐら、展望台、原子力発電所。エレベータは単純に個数を数える場合は「基」だが、利用する場合は「1台待つ」のように「台」を使う。

きあん [起案]

組織としての意思を決定するために文書で案を起こすこと。KDHでは稟議という。

きぎょうほうむ [企業法務] 企業に関する法律事務

事業活動の展開に伴い生じる法律問題の対応・指導、契約業務、交渉支援、評議員会、理事会の事務局業務、コンプライアンス等の内部統制の事務局業務等の諸活動

きく [聴く・聞く]

「意見をきく」は法令上は「意見を聴く」に統一されている。

なお、原子力広報においては、「広聴・広報」なる用語が定着している。

「聴く」と「聞く」の違いは、英語の listening と hearing の違いのイメージ。前者は能動的に五感や心をフルに使って相手を完全に理解しよう

とする行為で、後者は受動的で、相手が言った言葉の上辺だけ聞いているイメージということになるのか。

ところで、質問のやり方には、「クローズドクエスチョン」と「オープンクエスチョン」の2通りがあるとのこと。前者はYESかNOかを質すもので主導権は質問者にあり、多用すると価値観の押し付けになりかねない。後者は相手の思いを引き出す問いで会話が広がるきっかけにもなる。

「飲みたいと思っているの？」これはクローズドクエスチョン。相手が「はい」と答えた時に、「どこに行きますか？」と持ちかけるのはオープンクエスチョンだ。某本部の場合、はなから「金華飯店」と決まっているのでこんなことは関係ないことになるが。

ぎけつ [議決] → [決議]

会議体が議事を決定すること。可決は議案について可とする議決。否決は議案を否とする議決。議決は通常、定足数を満たした出席議員の多数決により行われる。決議は議決された内容であり、議決が[行為]で決議がその「成果」ということになるのか。

なお、法人法における理事会の決議方法は1つである。評議員会と異なり、特別決議に当たるものはない。定足数は、議決に加わることができる理事の過半数の出席とされ、定款で加重することは可能であるが、軽減することはできない(95条1項)。決議要件は出席理事の過半数であり、これも定款で加重することはできるが、軽減することはできない。

きそくさいりょう [覇束裁量]

そもそも裁量行為とは、法規が多義的な定めをしているため、行政庁に一定の範囲の裁量の余地を認めている行為であるが、裁量行為は更に覇束裁量(法規裁量)と便宜裁量(自由裁量)に分けられる。覇束裁量とは、法定の要件に文言上当てはまる場合には、許可等の判断をしなければならず、裁量を誤ると違法行為となり、訴訟の対象となる。これに対し自由裁量は、何が行政上の目的に合致するかの裁量である。この意味で、法規が行政庁に対し一定の範囲で裁量を委ねており、その範囲で裁量を誤っても、原則として不当の問題が生ずるだけで、司法審査には服さない。建設業法の許可制は、一般に覇束裁量行為であるとされている。

きっきん [喫緊] → [緊要]

差し迫って大切なこと。堅苦しい文書の中で、重要性を強調するための常套句。

キックオフ [kickoff] 開始。新しいことの始め

もともとは、サッカーやラグビーなどで、試合開始の時や、再開の時にボールを蹴ることに由来している。[例] キックオフミーティング

KDHでは、平成22年からこの「キックオフ」を「平成22年度キックオフ 開催」のように「新年度の事業開始の決起集会」という意味で使用するようになった。平成22年3月26日開催のキックオフには、本部から役員、本部長、室長及び部長が、また事業本部から全事業本部長及び全事業所長が出席した。首脳会談を summit talks と言わず単にサミットと表すのと同じようなものであろうか。

なお、「キックオフ」のアナウンスに際しては、「スタート」や「始める」ではなくて「開催する」と言わないと重言になるので注意が必要である。

きてい [規定]

法律や規則などでの個々の条・項・号の定め。官庁の法令作成の読み合わせなどでは規程と区別するため規定を「きさだ」といい、規程を「きほど」と呼称する慣わしがある。

きてい「規程」

規定を一まとまり（セット）にした規則等。

きふ [寄附]

本来、所得の処分であり、収益の費用に対応する費用としての性格を伴わない贈与。したがって、税制上、経費性は認められず、原則的に課税対象となる。

なお、「附」を使うのは、次の5つの場合に限られる。

「附則」、「附属」、「附帯」、「寄附」、「附置」

きほんざいさん [基本財産]

KDHは、一般財団法人移行に当たって公益法人制度改革3法のうちのいわゆる「法人法」の第172条（一般財団法人と評議員等との関係）の第2項で規定されているKDHの事業を行う上で不可欠な財産を有していないことから定款で「基本財産」を規定しないこととしている。

「法人法」上の基本財産は、「一般財団法人の財産のうち一般財団法人の目的である事業を行うために不可欠なものとして定款で定めた」財産のことである。

基本財産の内容には法律上の制限がなく、金銭でも、金銭以外の財産でもよい。また、解散事由（法人法第202条）の基準となっている純資産額とも直接に関連するものではない。

定款で定めた基本財産の内容を変更するには、定款の変更となることから、評議員会の特別決議が必要である。

定款で基本財産を定めたときには、理事は当該財産を定款で定めるところにより維持し、かつ、法人の目的である事業の遂行を妨げるような処分をしてはならない義務を負うことになる。

なお、この法人法の規定は、定款で定めた基本財産が一般的な処分禁止財産となるものを示しているのではなく、定款による理事の権限を制限しているものである。

きほんりょうきん [基本料金]

電気を使う、使わないに関係なく契約した電気の容量に応じて支払う料金。自家用電気工作物の場合は最大需要電力が契約電力となり基本料金が決まる仕組みとなっている。

き・み・い [己(キ)・巳(ミ)・巳(イ)]

平成25年(2013年)は巳年。この「巳(ミ)」という字によく似た漢字に「己(キ)」と「巳(イ)」という字がありなんとも紛らわしい。左下のLのような一画がコの部分にどう接続してどう読まれるか、これの覚え方については昔から次のフレーズが有名。

『キ・コの声、オノレ・ツチノト下につき、イ・スデニは半(なか)ば、シ・ミはみなつく』。『己』、『巳』、『巳』はこのように覚えれば間違うことはない。

きめい [記名] → 「署名」

きも [肝] 肝心要 (かんじんかなめ)

物事における重要なこと。

[例]「この資料の肝は、言い訳ばかりでこれでは儲けがでないということだ。」

キャッシュ・フロー「cash flow 計算書」現金収支

1 会計期間のキャッシュ (現金及び現金同等物) の収支を分類し、まとめた財務表。

ところで、株式会社としての企業の最終的な目的は株主財産を増やすことであるとされる。計算上の利益ではなく、株主が手にするのは実質的な財産の増加である。これは、キャッシュ・フロー (現金収支) によって測られる。つまり、経営の究極の目的は、将来キャッシュ・フローを最大化することにある。

「利益はポリシー、キャッシュ・フローはキング」といわれる所以である。

キャプション [caption]

本の章・節・ページなどの題目、見出し。映画の字幕。タイトル

キャリアパス [career pass : 和製英語] 企業内で出世の条件となる職務経歴

茨城事業本部にとって本部企画本部勤務はキャリアパスになっているのだろうか。

キャリアパス [career path]

職員の能力や適性の観点からみた職歴。

キャリブレイション [calibration]

目盛りの測定。目盛りを正す (調整) すること。

平成 22 年 6 月 7 日の決算理事会で某非常勤理事が発した言葉。コンテキストからおおよその意味するところは理解できたのであるが、この用語を理事会出席者が当然知っているという前提で話すというのは反則。もっとも某専務理事は KDH の職員たるものこれを知らなかったことの方が問題との認識。

キュービクル [cubicle]

正式には「キュービクル式高圧受電設備」という。高圧 (6600 ボルト) で受電した電気を低圧 (100、200 ボルトなど) に変える変圧器などを収めた金属箱。企画部の文書では「および」は「及び」と漢字で表現するが、これにはこの「キュービクル」が伏在していたとのこじつけ説もある。読み合わせでは「及び (キュービ)」となる。

きょうかいだい [協会大、corporationwide]

各協会を超えた全体で。電気保安協会の場合、「10 協会全体で」というときに使用する用語。事業本部大は、各事業本部を超えた (協会) 全体で。

[例] 本件は関東電気保安協会だけの利害に直結する問題ではないので全国連において協会大で検討してもらいたい。

電力大 (電力会社全体で)、世界大 (worldwide)、
nationwide campaign (全国キャンペーン)

きょうこうほう [強行法] 当事者の意思如何にかかわらず適用される法

ぎょうせいしどう [行政指導]

行政指導は、日本の行政法学で用いられる概念であり、行政手続法は、行政機関 (同法 2 条 5 号) がその任務又は所掌事務の範囲内において一定の

行政目的を実現するため特定の者に一定の作為又は不作為を求める指導、勧告、助言その他の行為であって処分に該当しないものをいうと定義している（同条6号）。

「指導」、「監督」、「助言」は、一般的には、相手方の自発的な意思に基づき、協力があってその内容が実現される行為として使用されているものであり、他に「要請」、「勧奨」などがある。

行政指導は、行政機関が「一定の行政目的を実現するため」に必要があると判断して特定の者に働きかける（求める）行為であり、例えば、調査結果等に基づき一定の事実を提示したり、法令の解釈、制度の仕組み等の紹介その他相手方からの求めに応じてその便宜に資するため情報を提供するような行為は、通常は、「求める」行為に当たらず、「行政」指導には含まれないとされている。

行政指導の典型例としては、法令に規定されている義務を履行していない特定の者（特定の者）に対して自主的な改善・是正を促したり、あるいは省エネルギー対策として各ガソリンスタンドに対して日曜日の営業を自粛するよう要請する行為のように公益的見地から特定の者に一定の協力を要請するようなものが挙げられる。

海外においても行政指導は、「Gyoseishido」として学説上などで広く認知されている。

なお、METIにとっての行政指導とは、経済産業省設置法を包括的な法的根拠とし、個別・具体的な法令には基づかずに行使する自由裁量的な行政手段（指導内容を実現するには、相手方の同意を必要とするため、非権力的で任意の行政手段）といわれてきた。

ぎょうむしっこうりじ〔業務執行理事〕→〔使用人兼務理事〕

法人法上、業務執行理事とは、①代表理事（91条1項1号）、②代表理事以外の理事であって理事会の決議によって一般財団法人の業務を執行する理事として選定された者、及び③当該法人の業務を執行したその他の理事（法人法113条1項2号ロ、261条1項3号）をいう。

代表理事以外の業務執行理事としては、具体的には常務理事、企画担当理事、総務担当理事等が該当する。

業務執行理事は、理事会の決議により定められる「職務権限規程」により、日常的な業務については、理事会の委託に基づき決定する権限を有している。

ただ、代表理事以外の常務理事等の業務執行理事は登記事項とはなっていない。

なお、業務執行理事と平理事の関係については以下のとおり。

平理事とは、所掌する担当業務を持たず、専ら理事会の構成員として、理事会を通じて他の業務執行理事の職務を監督する理事をいうことから、対内的な業務執行権を有する業務執行理事とは異なる。

ところで、役員報酬と一般社員の給料との違い。

一般社員は雇用関係（法人と労働契約を結んでいる。）。役員は法人と委任の関係。一般職員とは違って役員が受け取るのは「委任報酬」という位置づけ。職員から役員になる際には、法人を一旦辞めて（雇用契約を解除して）退職金を受け取り、法人と新たに委任契約を締結。役員は労働組合には加入できないし、労災保険や雇用保険にも加入できない。

きょか〔許可〕→〔特許〕

法令による一般的禁止、即ち不作為義務を特定の場合に解除する行為。

この許可は相手方の申請に基づき行われる。

キラーパス [killer pass]

利益に結びつくような決定的なパス。一見、非合理に見えるが、実は合理的な戦略。

回転寿司のあきんどスシローのキラーパスは、食材の品質にこだわるために「セントラルキッチンを持たない」という逆転の発想（店内調理と管理システムが鮮度維持の秘訣）。ただし寿司ネタ以外のコスト（人件費、建築費等）は徹底抑制。

一般的にファミリーレストランや居酒屋など外食産業平均の原価率は30%強。仕入れコストの高い魚介類を扱うため、回転寿司業界のそれは40%強といわれているが、スシローの原価率は回転すし業界の平均をも上回る50%。それでも、1店当たりの年間売上高は3億円。かっぱ寿司の2.4億円、くら寿司の2.7億円を抑え、5年連続で業界内トップとのこと。

なお、キラーパスはサッカー用語のスルーパスの一種で、相手の守りを崩し得点につながるような威力のあるパスに由来している。中田英寿が有名
きりくち [切り口] 物事の考え方、とらえ方。「観点」と同義。

きりしろ [切り代]

捨ててもいいが、あえて盛り込んでおくもの。

折衝ごとをする際には、必ず盛り込んでおくことをお勧めする。

[例] 予算要求額のうち、この部分は切り代として残しておこう。

きりはり [切り貼り] 既存資料を切り貼って新しい資料を作成すること。

これはもはや死語に近く、IT時代の用語としては、「カットアンドペースト」が用いられる。

キーワード [keyword] 鍵 (key) となる言葉 (word)

特定の意味が備わった言葉

21世紀のキーワードが多様性 (diversity) と共生 (symbiosis) と言われて久しい。

ところで、最近の経済停滞の中での飲食店における広報のキーワードとして、次の6点が必須であるといわれている。

- ・ゆるい。なごむ。
- ・どこか懐かしい。
- ・時を忘れる。
- ・1人で来たい。でも大切な人も連れてきて分かち合いたい気分
- ・お手頃価格（激安）ではない。
- ・決めのツボは押さえてある。

KDHの営業においては、「嬉しい驚きを提供する」という心構えが必要か。
きんよう [緊要] さしせまって大切であること。

[く・ク]

クォリティ [quality] 質。品質。資質。特質。品位→ [クオンティティ]

This is our best quality.

（これは我が社の自慢の製品です。）

クォンティティ [quantity] 量。数量→クオリティ

くとうてん [句読点] 文（中）の区切りの符号（句点：「。」、読点：「、」）。

公用文における句読点の基本ルール。

1. 文末には、原則として「。」を打つ。
2. 文末が「～こと」又は「～とき」のときは、「。」を打つ。
3. 文末が体言（名詞）又は「～もの」のときは、「。」を打たない。
4. （ ）の中が文になっているときは、「。」を打つ。
5. 文末の（ ）は、原則として句点の前に置く。

【例】理事長の許可を受けなければならない（理事長が別に定める場合を除く。）。

クーポン [coupon] → [利付債] 本来利札のこと。

現代では、切り離しができる金券、割引券などを指して用いられる。

語源は「切り取る」という意味。

クラブ 8 2 5 [club 8 2 5]

5 階の 8 2 5 副本部長は各所にクラブを持っており、クラブ 8 2 5 in 池袋（別名池袋倶楽部）、クラブ 8 2 5 in 新橋（別名 L クラブ）など数え切れない、毎日のように飛行機よりも早く、鐘（終業ベル）よりも早く飛んでいく。「空を見ろ！」「飛行機だ！」「いや、奴だ！！」これら会社への貢献は計り知れない。

グランドデザイン [grand design] 全体構想

クリア [clear] 権限を持つ者に、その事柄の内容について了解をとること。

【例】本件については理事長クリア済みである。

クリエイティブシンキング [creative thinking] 発想転換

クリティカル [critical] 致命的な。きわどい。臨界の。

株式会社ワークスアプリケーションズ（初任給 5 5 0 万円で有名）は、「飛びぬけて優秀な人材」をクリティカルワーカー [critical worker] と呼んでいる。

クリティカルパス [critical path]

計画の進行状況をチェックする上で、最も危機的な部分。計画の進行において最大の障害となる箇所

クリティカルイレブン [critical 11 letters] 魔の 1 1 文字

「あのけんどうなってる（の）？」の 1 1 文字

池袋駅からの道すがら考えてくるのであろうか、毎朝 8 時 2 5 分頃、某理事が部下に対して発する挨拶。某本部では、このセリフから一日の業務が始まる。いつしかこれを恐怖のクリティカルイレブンと称するようになった。

明日のイレブンは見（憲）当がつかない。

なお、エアラインの世界にはクリティカル・イレブン・ミニッツ（魔の 1 1 分）という言葉があって、離陸してからの 3 分間と着陸までの 8 分間に事故が発生する確率が高いといわれている。

同本部ではこのような戯れ唄が浸透している。

「小言聞くとときゃ頭をお下げ 下げりゃ意見が通り越す」

グリップ [grip] 支配下に置くこと。うまく制御していること。

〇〇部長は全然部下をグリップしていない。

クリームスキミング [cream skimming]

需要のうち儲かる箇所にはのみ商品やサービスを提供すること。

元々は牛乳から最もおいしいクリームだけを掬い取るに由来している。

クールジャパン [CoolJapan] カッコいい日本の意。

ジャパנקール(Japan Cool)ともいう。

日本の文化面でのソフト領域が国際的に評価されている現象。

具体的には、漫画・アニメ・ゲームなどのポップカルチャーを指す場合が多い。さらに、自動車・オートバイ・電気機器などの日本製品、料理・武道などの伝統文化など、日本に関するあらゆる事物が対象となり得る。

語源は、1990年代にイギリスのトニー・ブレア政権が推し進めたクール・ブリタニア。

なお、METI製造産業局に、平成22年6月8日付けで「クール・ジャパン室」を設置し、日本の戦略産業分野である文化産業（＝クリエイティブ産業：デザイン、アニメ、ファッション、映画など）の海外進出促進、国内外への発信や人材育成等の政府横断的施策の企画立案及び推進を行っている。

ところで、「ジャパン・オリジナル」。

これは、百貨店のデパ地下や駅ナカ、食品スーパーの成城石井など、我が国だからこそ成り立つ世界一級の業態、企業、商業施設等がジャパン・オリジナルとして近年注目を集めている。これらジャパン・オリジナルなものを列挙すれば以下のとおり。

- ・ コンビニ（業態そのものは米国生まれだが、日本で独自の発展・進歩を遂げている。）
- ・ 駅ビル、駅ナカ（ルミネ、アトレ）

東京銀座の玄関口として親しまれた百貨店「西部有楽町店」が平成22年12月25日に閉店。同店は昭和59年の開業。後継店はJR東日本系のファッション「ルミネ」。ルミネは初の「駅ソト」の店ということになる。平成23年秋開業予定

- ・ デパ地下（日本人の食品に求める食欲さと繊細さ、美的感性が結実した独自業態）

全国のデパ地下を中心に310もの惣菜店を展開するロック・フィールド（本社：神戸市）の社名は、社長の岩（ロック）、田（フィールド）にちなんだものである。

- ・ レールサイド店（ビックカメラ、ヨドバシカメラ等）
- ・ ジャパニーズ・テーマ商店街（秋葉原家電・電腦街、神保町古書街、築地場外、アメ横等）
- ・ ドンキホーテ（圧縮在庫陳列）
- ・ 大創産業（百円均一ショップ）
- ・ ユニクロ、しまむら
- ・ 渋谷109（個性派ファッションビル）
- ・ ジョイフル本田「千葉ニュータウン店」（超ド級のメガホームセンター）

クレジットランチ [credit crunch]

金融機関の貸し渋りによって企業の資金調達が困る状況

クレド [credo、ラテン語] 信条

救急絆創膏などの製品で馴染みの超卓越世界企業ジョンソン・エンド・ジョ

ンソン（J & J）の Our Credo（我が信条）が有名。

J & J のコア・バリューである「我が信条（Our Credo）」は、同社の企業理念・倫理規定として、世界に広がるグループ各社・社員一人ひとりに確実に受け継がれており、現在では数十の言語に翻訳され、各国のファミリー企業において事業運営の中核となっている。

J & J は、経営の根幹に「クレド」を据え、社員は「クレド」のもとに行動の方向付けがなされている。「タイレノール事件」に直面し、危機的状況に陥ったときも、「クレド」に立ち返って、アメリカ全土から製品のすべてを回収し、信頼を回復した。今般のトヨタの対応の拙さとは対照的である。なお、J & J と他の企業における経営スタイルの違いとして、「分社分権化経営（Decentralization）」が挙げられる。つまり、マネジメントしやすい規模の会社を作り、それぞれのトップに一定の裁量権を与える仕組みで、同社はこのようにして作られた会社を「ファミリー会社」と呼んでいる。以下は J & J の我が信条（Our Credo）である。

我が信条

我々の第一の責任は、我々の製品およびサービスを使用してくれる医師、看護師、患者、そして母親、父親をはじめとする、すべての顧客に対するものであると確信する。顧客一人一人のニーズに応えるにあたり、我々の行なうすべての活動は質的に高い水準のものでなければならない。

適正な価格を維持するため、我々は常に製品原価を引き下げる努力をしなければならない。顧客からの注文には、迅速、かつ正確に応えなければならない。

我々の取引先には、適正な利益をあげる機会を提供しなければならない。

我々の第二の責任は全社員 ——世界中で共に働く男性も女性も—— に対するものである。

社員一人一人は個人として尊重され、その尊厳と価値が認められなければならない。

社員は安心して仕事に従事できなければならない。

待遇は公正かつ適切でなければならない、

働く環境は清潔で、整理整頓され、かつ安全でなければならない。

社員が家族に対する責任を十分果たすことができるよう、配慮しなければならない。

社員の提案、苦情が自由にできる環境でなければならない。

能力ある人々には、雇用、能力開発および昇進の機会が平等に与えられなければならない。

我々は有能な管理者を任命しなければならない。

そして、その行動は公正、かつ道義にかなったものでなければならない。

我々の第三の責任は、我々が生活し、働いている地域社会、

更には全世界の共同社会に対するものである。

我々は良き市民として、有益な社会事業および福祉に貢献し、適切な租税を負担しなければならない。

我々は社会の発展、健康の増進、教育の改善に寄与する活動に参画しなければならない。

我々が使用する施設を常に良好な状態に保ち、環境と資源の保護に努めなければならない。

我々の第四の、そして最後の責任は、会社の株主に対するものである。

事業は健全な利益を生まなければならない。

我々は新しい考えを試みなければならない。

研究開発は継続され、革新的な企画は開発され、失敗は償わなければならない。
新しい設備を購入し、新しい施設を整備し、新しい製品を市場に導入しなければならない。
逆境の時に備えて蓄積を行なわなければならない。
これらすべての原則が実行されてはじめて、株主は正当な報酬を享受することができるものと確信する。

グローカル [glocal : global+local 和製英語]

世界的な観点に立ちながら、地域性と調和させること。

グローバリゼーション [globalization] 地球規模化

グローバル [global] 地球規模

グロービッシュ [Globish]

元 IBM のビジネスマンであるフランス人のジャン・ポール・ネリエールが、ビジネス用に開発した簡易版英語。ブローケンイングリッシュを体系化したもので、必要な語彙は 1 5 0 0 語、構文はシンプル、複雑な文法や発音も不要とされる。

くんれい [訓令] → [通達]

上級官庁が下級機関及び職員に対して、権限の行使を指図するために事前に発する命令。行政の取扱いの基準を示し、法令の解釈の統一を図る目的で発せられる。原則として法規たる性質を持たず、下級行政庁を拘束するのみで、直接国民を拘束するものではない。

訓令の実定法上の根拠：国家行政組織法第 1 4 条第 2 項

「各省大臣、各委員会及び各庁の長官は、その機関の所掌事務について、命令又は示達するため、所管の諸機関及び職員に対し、訓令又は通達を発することができる。」

[け・ケ]

けいいん・わりいん [契印]・[割印]

[契印] とは、一つの書類が数枚の紙からできている場合や数個の書類を一つの書類として用いる場合に、それらが一つのまとまりをもっていることを証するため、つづり目又はつなぎ目にかけて印を押すこと（公証人法 39 条 5 項）。

[割印] は、数個の書類が相互に関連性を有する場合に、このことを証するために両書類にまたがって印を押すこと（民法施行法 6 条 1 項）。ただ契印を割印の意味として用いている場合もある（公証人法 59 条）。

けいざいさんぎょうしょう [経済産業省] → METI

前身は「通商産業省（MITI）」で平成 13 年（2001 年）1 月 6 日に中央省庁再編に伴い、経済産業省（METI）に名称変更された。MITI のときは職員の残業の余りの多さから「通常残業省」と揶揄されたが、この実態は METI に移行しても変わっていないようである。

また、法令の文章を除き通常の文章作成に当たってはワンセンテンスを 3 行以内にするという不文律（？）があることから一部では「通称三行省」ともいわれたことがある。さらに機械・プラント等の輸出保険の世界では、MITI 貿易局輸出保険課が保険引受けの審査を通さないことから、商社等の担当者が通産省保険課ではなくて「通（とお）さん省受けん課」とほざいていたこともあった。

なお、「官僚たちの夏（城山三郎、昭和55年11月初版）」の主要登場人物のモデルを示せば以下のとおりである。

佐橋滋（昭和12年入省）：風越信吾
事務次官を経て、（財）余暇開発センター理事長等を歴任
川原英之（昭和16年入省）：鮎川（光太郎）
大臣官房長で他界（昭和41年2月27日）
両角良彦（昭和17年1月入省）：牧順三
事務次官を経て、電源開発（株）総裁等を歴任
三宅幸夫（昭和18年入省）：庭野（貴久）
特許庁長官を経て、日本鋼管（株）副社長等を歴任
山下英明（昭和18年入省）：片山泰介
事務次官を経て三井物産（株）副会長等を歴任
坂本（片山）春生（昭和37年入省）：女性キャリア第1号
札幌通産局長を経て、西友（株）専務等を歴任

けいしきち [形式知]

知識の分類の一つであり、主に文章化、図表化、数式化等によって説明、表現できる知識のことを指す。アナログ知。暗黙知に対する概念である。組織における形式知の一般的な例は、各組織が独自に作成した作業手順、マニュアル書である。

けいでいえいちまんのうた [KDHマンの歌]

♪♪♪（メロディは「リゲイン」のCMソング）

1. リストアラームきっちり付けて
24時間働けますか
KDHマン KDHマン われらはKDHマン
電気の保安は基本が一番
自分と仲間を守ってますか
KDHマン KDHマン 安全はKDHマン
2. エレちゃんマークは信頼のしるし
24時間働けますか
KDHマン KDHマン われらはKDHマン
顧客の喜びわれらの願い
予期せぬ感動与えてますか
KDHマン KDHマン 働くぞKDHマン
3. 収益確保は大事な任務
24時間働けますか
KDHマン KDHマン われらはKDHマン
創意と工夫が勝負のカギよ
提案営業やりきれますか
KDHマン KDHマン 稼ごうぜKDHマン
4. 本部の会議は抵抗できない
24時間働けますか
KDHマン KDHマン われらはKDHマン
会議のアトはいつもの愚痴よ
終電間際まで飲み会続く

KDHマン KDHマン 乗り越すなKDHマン

5. 事業本部は前線基地よ

24時間闘えますか

KDHマン KDHマン われらはKDHマン

トップランナーの名誉にかけて

ダンピングはしない品質勝負

KDHマン KDHマン 闘うぞKDHマン

けいひ [経費] 会社経営のためのお金

けつぎ [決議] → 「議決」

評議員会（理事会）が行う意思形成行為（意思表示の手段）で、評議員会（理事会）の意思を対外的に表明するために行われる評議員会（理事会）の議決内容をいう。

英語では [resolution]、[decision] をいう。

[決議機関：a decision-making body]，

[決議事項：resolutions]

The resolution was carried by a majority when put to the U.N.

General Assenbly.（その決議案は国連総会で賛成多数で可決された。）

げつじてんけん [月次点検]

KDHと契約を締結しているお客さまに、検査員が定期的にお伺いして運転中の電気設備の点検等を行うほか、お客さまから電気に関する御相談を伺う。

けっそんきん [欠損金] 赤字

法人経営上のマイナスの所得。欠損金は向こう7年間に生じる黒字から控除できる。

ゲーテッドコミュニティ [gated community] 要塞都市

主に防犯のため住宅地の周りをフェンスやゲート、監視カメラで囲んだ、我が国では珍しい形態の住まい。敷地への出入りは2か所のゲートに限られる。

ゲラ [galley]

英語の「galley proof」の「ギャラリー」部分が転じて「ゲラ」になったらしい。

活字で組み上げて印刷したもの

けーわい [KY]

安全管理用語で危険予知の略称として用いられる。「危険」と「予知」の日本語での頭文字に由来する表現。社会一般では「空気が読めない」を表す若者言葉として定着している。

「漢字が読めない」の略としても用いられるようになった。

げんかいしゅうらく [限界集落]

住人の過半数が65歳以上の高齢者が占め、社会的共同生活の維持が困難な状態にある集落。社会学者の大野晃氏が命名して広がった。

国土交通省によると、全国で約7,900の限界集落があり、うち420が10年後に消滅するとの予測。ブロック別では中国地方が最多とのこと。METIの研究会が平成22年5月にまとめた報告書では、「家族の支援がなく、日常の買い物も困難な高齢者」である「買い物難民」が全国で約6

00万人に上ると推計している。

ところで、人口約2万4千人、3人に1人が65歳以上で、高齢化と少子化が進む田舎町、鹿児島県阿久根市に買い物難民を救った経営者がいる。

「AZスーパーセンターあくね」を運営する「マキオ」の牧尾英二社長だ。この過疎地に売り場面積1万8千平方メートル、商品数は約38万点に及び、食料品や雑貨、衣料はもちろん、家電、書籍、玩具、自動車まで売っている。価格は競合店より1割安い。24時間営業・年中無休。来客数年間700万人、多い日には1日約3万5千人の来客数を誇る。高齢者のために自宅まで送迎するバスも無料で運行している。社名の由来は「AからZまで必需品はすべて」そろえる。醤油だけでも県内メーカーのものを中心に260種類。効率無視、利益第2主義の経営で2009年度は売上高280億円、経常利益も黒字を確保しているという。

買い物難民は、別に地方だけの問題ではない。サラリーマンが憩う新橋のシンボル、駅前広場のSLを見下ろす昭和46年開業の「ニュー新橋ビル」の10～11階はもともと居住スペース。好立地のため大半が事務所に代わった今（平成22年12月現在）も5世帯前後がここで暮らしているとのこと。ただ、かつては何でも揃った新橋の街から青果や鮮魚、精肉を商う店が次第に姿を消し、頼みの綱の新橋駅高架下のスーパー「京急ストア」も平成22年1月末で閉店したため、このビルの住民は「買い物難民」と化し、電車に乗って買出しに行く人が珍しくないという。

なお、このビルは耐震基準を満たしていないため建替えが喫緊の課題となっているとか。

げんかいりえき [限界利益] 売上金額から変動費を差し引いた額

げんかしょうきやく [減価償却]

建物や設備、機械などの価値が毎年、一定の割合で目減りするものと仮定し、その目減り額を決算期ごとに経費や損金として計上する。その計上分だけ、課税対象となる利益額が圧縮され、企業が納めなければならない法人税が少なくなる。

げんしりよくあんぜんほあんいん [原子力安全・保安院] → [NISA] [保安院]

けんしゅう [献酬] 杯のやりとり

KDHでは実に頻繁に行われており、執務能力の向上のため特別に学習すると称して計画される「研修」や定例の「〇〇部長会議」を口実に池袋等に集まって夕刻から行われる。研修や定例会議で体力を温存しているせい、か献酬のときはやたら元気がいい。しかも研修等の名目で「日当」も支払われる、まさに天国である。

けんじょうご [謙譲語 (1)] → [尊敬語]、[謙譲語 (2)]

自分側から相手方又は第三者に向かう行為・物事などについて、その向かう先の人物を立てて述べるもの

お目にかかる (会う)、申し上げる (言う)、伺う (行く)、伺う・お聞きする・拝聴する (聞く)、伺う (来る)、存じ上げる (知る)、ご覧に入れる・お見せする・お目にかける (見せる)、拝見する (見る)、頂く・頂戴する (もらう)、拝読する (読む)

けんじょうご [謙譲語 (2)] → [尊敬語]、[謙譲語 (1)]

自分側の行為・物事などについて、話や文章の相手に対して丁重に述べるもの

申す（言う）、参る（行く）、参る（来る）、存じる（知る）、致す（する）、頂く（食べる）

げんていれっきょ [限定列举]

特定の数の名詞を列举する（並べ立てる）こと。

限定列举には、「及び」を用いて集合の全体を示す集合列举と「又は」を用いて集合の要素を示す選択列举があるとされる。

この場合、各名詞は「、」で結び、最後の名詞の前にのみ「及び」又は「又は」を置く。「及び」及び「又は」の前後には、「、」を打ってはならない。ただし、動詞列举の場合は、動詞の連用形の後には、「、」を打つルールがあるので、「、」を打つことになる。

また、「～とき」を列举する場合も、「とき」の後には、「、」を打つ。「～こと」の場合も、同様である。

けんとうします [検討します]

時間かせぎをするときに使用する常套句。

国際会議で日本の役人がこの言葉を発すると「I will do nothing.」との意味で相手が理解することが多かったこともある。

けんぱい [献杯]

ある日の安全懇談会において、乾杯の際に「献杯」との音頭で杯を上げたが、その場でひとしきりこの「献杯」という表現の適切性の有無が話題になった。少なくとも関東・東北地方におけるマナー・しきたりとしては、「献杯」は弔事の場合に行われる「乾杯」ということになっているので安全懇談会における表現としては適切ではなかったものと思料される。

献杯だと御親族の方からどうぞ・・・と連想してしまうし、拍手も控えざるを得なくなるであろう。

「直会」の変形である安全懇談会では「乾杯 (Cheers)」がよろしいようで。

なお、「ここで乾杯 (の挨拶) をしたいと思います」を英語では、

I would like to propose a toast here.

「乾杯！」という掛け声の場合は Cheers! 又は Bottoms up! か。

げんぽん [原本]

作成する者が、その内容を確定的に表したものを最初に作成した書類をいい、原本として同じものが数通作成された場合は、それぞれが原本となる。

原本の完全なコピーが [謄本 (とうほん)] で、原本の抜粋のコピーが [抄本 (しょうほん)] である。

なお、[正本 (せいほん)] は、原本に基づいて作成された文書

けんりのうりょく [権利能力]

権利の主体として権利を有し義務を負い得る地位又は資格

[こ・コ]

ご [ご・御]

公用文においては、次のルールがある。

漢字の前は、「御」、平仮名の前は「ご」

〔例〕御理解、御承知、御礼（おんれい。「御」に「お」の読みはないで御礼を「おれい」とは読まない。）

ごあいさつ、お願い、お忙しい。

コアコンピタンス [core competence]

他社を圧倒的に凌ぐ分野

ゴーイングコンサーン [going concern]

企業継続

ところで、日本には諸説あるが創業100年以上の会社は10万以上あるとされている。因みに創業200年以上の会社は朝鮮半島ではゼロ、中国で9社、インドで3社である。

一方、日本には200年以上の会社が3000社あり、世界で7000社あると言われているうちの半数近くを占めている。

1000年以上続いている企業は7社あり世界で断トツとのこと。

なお、歴史で世界最初の株式会社は東インド会社と習ったが、世界最古の会社は、日本にある飛鳥時代578年創業の「金剛組」とのことである。

こういのうりょく [行為能力]

私法上の法律行為を独立して完全になすことのできる能力、すなわち自己の意思表示によって完全・有効に法律行為を成立させることのできる法律上の資格。

こうえきもくてきししゅつけいかく [公益目的支出計画]

公益目的支出計画とは、従来の公益法人が一般財団法人に移行した後も、不特定多数の者の利益の増進に資する広報業務等の公益のための事業を実施し、毎年度の支出額の合計額が、移行時点までに蓄えられた純資産（利益）相当額と同額になるまで支出を続けるという計画である。

この公益目的支出計画の作成及びこれに基づく支出を義務付けた理由は、上記純資産の形成過程に着目したときに、寄附金や優遇税制の恩典を受けて蓄えられた公益的色彩の強い財産が、実施事業内容や残余財産の帰属が当該法人の内部自治に委ねられる一般財団法人等に移行することにより、これら財産が私的領域に費消されることを防止することにある。

こうがいさんねんせい [鉱害三年生]

エネ庁には、平成13年（2001年）1月6日の省庁再編に伴う機構改革前まで石炭部が置かれその中に「鉱害課」という部署があつて、石炭採掘に伴って不可避免的に発生する地盤沈下に起因する農地や家屋の復旧に係る業務を所掌していた（現在は資源・燃料部の石炭課が担当）。主として九州北部の産炭地域に膨大な国の資金を石炭鉱害対策として投入してきた。飯塚（麻生前首相の地元）、直方、田川などの遠賀川流域が有名であるが、佐賀県や長崎県にもいわゆる石炭鉱害は広く及んでいる。

このエネ庁鉱害課の業務は、鉱害復旧の基本計画の審査等の業務を行っていたが、具体的な鉱害復旧の実施は石炭鉱害事業団（現在はNEDOに吸収されNEDOがその業務を担っている。）が行っていた。

同事業団（本部は東京）には、福岡市に九州支部が置かれていたが、地理的に被害者と近いこともあつて、ときに同支部を本部が管理できなくなるような状況がみられることもあり（同支部はかつての日本軍における「関東軍」になぞらえられたりした）、エネ庁鉱害課は様々な局面で極めて困難な

対応を余儀なくされることが多かった。このため職員の異動先として敬遠される部署としてはM I T Iの中で常に断トツのものがあつた。

こうした中で、舟木一夫のヒット曲「高校三年生」のメロディで歌われたのが「鉱害三年生」である。

なお、平成21年11月24日に92歳で死去した「高校三年生」の作詞家、丘灯至夫のペンネームは、元毎日新聞記者であつたことから記者の必須条件とされた「押し」と「顔」を逆さま（オカトシオ）にしたことに由来するという。他に「高原列車は行く」や「東京バスガール」などがある。

♪♪♪

「鉱害三年生」

1. 赤い付箋（ふせん）で差し戻されて 基本計画とおらない
あ〜あ〜あああ 鉱害一年生
ぼくら何の因果で鉱害課 懲罰人事が身にしみる
2. 泣いた日もある眠れぬ夜も しまやかしたい事業団
あ〜あ〜あああ 鉱害二年生
誰かがやらねばならぬといわれても 何で俺だけ割を食う
3. 残り少ない日数（ひかず）を胸に 今日かあすかと内示まつ
あ〜あ〜あああ 鉱害三年目
ぼくら行き先どこでもかまいません とにかく出たいよ鉱害課

♪♪♪

（注）「しまやかす」は福岡県の方言で、「おしまいにする」つまりは殺すという意味

こうがくじょう [講学上] → [覇束（きそく）裁量]、[特許]、[許可]

学問（学究・学術）の世界では（in scholarly circles）

「講学」とは、「学問を研究すること」をいう。

[用例] 講学上、行政法上の認可とは、「私人相互の間で法律行為が先に既に行われているという前提で、これらの行為を補充して、その法的効果を完成させるもの」をいう。

ところで、講学上は特許とされる場合でも、法律の条文上「許可」という用語が使用される場合がある。電気事業法第3条の「許可」がこれに当たる。

電気などエネルギー事業の経営は、本来は職業選択の自由や財産権（憲法22条1項、29条）によって自由な行為とされなければならないとも考えられるが、国民福祉や経済政策に影響が大きい分野にあっては広範な規制が可能とされている。このような規制目的を達成するため、これらの業種についてはそもそも私人が経営を行うことはできず、行政権の裁量によって最も適切な能力を持つ者のみが経営することを承認されるという規制手段がとられる（電気事業法3条）。このような規制の手法を「特許制」という。

この場合に行政庁が事業者に対して行う営業権の付与は、これらの事業を営む特別な権利をその者に与えるという性質をもつものとされ、講学上このような行政行為を「特許」とよんでいる。

ある行為が性質上、特許に当たるとされた場合の意味は、特許を与えるかどうかについて行政権の裁量が広く認められる点にある。この点、裁量の

余地がなく、覇束された行政行為である講学上の許可とは異なる。
ごうかん〔強姦〕有無を言わせず相手を押さえ込むこと。
関係部署の意見等をトップの意向などをちらつかせてそのまま（意見等）
を貫徹すること。

こうずる〔講ずる〕

「講」については、「講ずる」と「講じる」のように、同じ動詞でありながら終止形が「ずる」と活用するものと「じる」と活用するものがあるが、公用文では「講ずる」を用いることとされている。

「講ずる」はサ行変格活用の動詞であるが、サ変動詞が終止形を「じる」と活用することはないからである。

ただ、「感」の場合は、原則として「感じる」が正しいとされている。

なお、「信」、「生」、「通」については、「じる」、「ずる」の2とおりの表記があるが、一方に収斂（しゅうれん）するまでには至っていないのが現状である。いずれは、上一段活用の〔じる〕が一般化していくのではないかとみる向きもある。

ごうせいのごびゅう〔合成の誤謬、fallacy of composition〕

一人にとっていいことが、全員にとっていいことだとは限らないということ
を指す経済用語。

個別的にみれば合理的な選択であっても、それらを全部積み上げて合成すると、全体としても合理的な選択には到達するわけではない。つまり、部分最適を足し上げても、必ずしも全体最適には至らないということ（個人レベルでは正しいことであっても、全体としては正しい結果につながらない現象）。

家計の節約はミクロの観点からは貯蓄率の上昇をもたらすだけであるが、経済全体では一方の家計の支出がもう一方の家計にとっては所得になる関係上、家計全体が消費を削減することで家計の所得も減少することになる。つまり、家計の支出削減努力は自らの収入減少をもたらすことになる。

マクロ経済のシュリンク（内需の縮小）が問題となる。

こうばいりょくへいか〔購買力平価〕

同じ商品の価値（価格）は世界のどこでも同じという考え方（一物一価の法則）を前提にすれば、日本で100円するハンバーガーが、米国で1ドルで売られていたとすると、1ドル＝100円という交換条件が成り立つ。これが購買力平価であり、貿易上の価格競争力が理論的に均衡する点ともいわれる。ただ、購買力平価は常に一定というわけではない。

こうふる〔甲府る〕→〔KY〕

「山梨る」ともいう。

会議等で発言時間が割り当てられているにもかかわらず、これを無視して発言を続け司会者を困惑させること。司会者にとっては仕切りが悪いとの批判を浴びるなど甚だ迷惑な話となる。人柄からか質問時間を封じるための高等戦術とは推察させないものがあるが、度が過ぎると会議がざわつくなど周囲にストレスを撒き散らすので厳に慎むべき振る舞いといえる。

会議は質疑応答の時間を充実させて熟議の場としたいものだ。

ごえす〔5S〕

製造業やサービス業などの職場において環境維持改善で用いられるスロー

ガン。「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰（習慣化の場合もある。）」
さらに、「作法」を加えて「6 S」、5 Sに「しっかり」「しつこく」を追加
して「7 S」とする企業もある。「悉皆」も入れてもいいかもしれない。
なお、南川典大の著書「問題解決の5 S」では、以下の数式を説く。

$$\text{Solution} = \{(\text{Sensibility} + \text{Strategy} + \text{Set up}) \times \text{Speed}\} \times \text{Soul}$$

こえる [超える、越える]

[超える] は一定の数値をこえる場合の表記であり、[越える] は跨いで
こえるという場合に用いる。[例] 100人を超える参加者。山を越える。
こきやくまんぞくど [顧客満足度] CS (Customer Satisfaction)
ごくらくとんぼ [極楽トンボ] うわついた態度ののんき者

某本部の「ミスターその場凌ぎ」は今日も・・・
こしだめ [腰だめ] アバウト、いいかげんといった意味か？

古くは平成6年に時の細川総理が「国民福祉税」構想の説明記者会見で発
した言葉として記憶されている。この時「腰だめの数字」が「いいかげん
な数字」というふうに翻訳されたこともあって、国民福祉税構想は頓挫、
その後政治とカネの問題も加わって細川政権は崩壊に向かう。なんとも不
吉な予感が・・・。

こしゅうぞく [孤舟族] 孤舟男ともいう。

定年退職を迎えた初老男性の生きざまを作家の渡辺淳一が活写した小説
「孤舟」に由来する言葉。「うっとうしい夫」の描写が真に迫っているから
か世の奥様族から「うちの夫と同じだ」とブームに火がついているらしい。
なお、この小説には渡辺文学ファンが期待するような場面は出てこないの
で念のため。

昭和36年の松島アキラのヒット曲 (作詩宮川哲夫、作曲渡久地政信) は [湖
愁] である。団塊の世代は「湖愁族」でもある。「悲しい恋の なきがらは
そっと流そう・・・」

平成22年12月から朝日新聞朝刊に連載されている「孤族」は、家族や
社会から孤立する人間についての特集で、絆の喪失という点に焦点をあて
た好記事。

こじんじょうほう [個人情報]

生存する個人 (自然人) に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、
生年月日その他の記述等により特定の個人を識別できるもの。
メールアドレスも「他の情報と容易に照合することができ、それにより特
定の個人を識別できる」に該当することから個人情報と考えられる。注意
すべきである。

コストパフォーマンス [costperformance] 費用対効果。対費用効果

あるものが持つ価格と価値を対比させた度合い。絶対的な商品やサービス
の質のみを考えているわけではなく、価格に比べて、質なり結果が良いか
悪いかという場合に使う考え方。池袋倶楽部は、利用者からコストパフォ
ーマンスの面で都内随一との評価がある。倶楽部の終了時間21時は厳守
のこと。

ある日の会合の案内

Mini ''Kumasaka'' New year's party.
The details are as follows.

Date January 27 (Fri) , 2012
Time 5:30pm(You may be late)
Place Ikebukuro club(at the usual place of Higashi Ikebukuro)
Room Japanese style room in the inner part of 3F
Fee 3,500 yen(Outside Drinks allowed)
Cuisine Japanese dishes for six.
Rain or shine

Please take the best care of yourself.

Attached glossary : The latest version.

Organizer YATSU

なお、Outside Drinks allowed は、持ち込み自由の意である。

こていひ [固定費]

売上高の増減に関係なく発生する費用。管理部門の人件費や生産設備の減価償却費が固定費にあたる。

KDHは人件費等の固定費の占める比率が高いため、この低減を図ることが喫緊の課題だ。

コーポレートガバナンス [corporate governance] 企業統治→ [内部統制]

企業経営を規律するための仕組み。企業経営を担うのは基本的には企業経営者であるので、コーポレートガバナンスは「企業経営者」を規律するための仕組みと理解される。

企業の不正行為の防止や適正な事業活動の維持・確保を目的とした企業システムの在り方をいう。

コミット [commit] 関わる。確約する。

コモデティ [commodity] 生活必需品。日用品。汎用品

技術開発などのハードルが下がり、参入しやすくなった商品。最近のデジタル家電なんか挙げられデフレを象徴する存在になっている。

トイレットペーパーや歯磨き粉・洗剤などのコモデティ商品はその価格が半分になったとしても、だからといって2倍消費されるわけではない。つまり、人口が増えない限り、これらの商品の需要は増えない。少子高齢化が進行している我が国の消費はデフレと相俟って市場が縮小することになる。

ところが、これら成熟市場において現在生産が追いつかないという商品が現れた。日本製紙（株）が発売した4枚重ねの超高品質のティシュペーパー、「羽衣」である。1箱1,000円以上の値付けをしても生産が追いつかないとのこと。シルクのような肌触りが消費者に受けて贈答品として引っぱりだかこという。同社の商品開発力に脱帽である。

コンセプト [concept] 基本理念

コンソーシアム [consortium] 共同企業体

コンテンツ [contents] 情報内容

コンパクトシティ [compact city] 徒歩圏内で生活できる都市

都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市、又はそれを目指した都市政策。

コンバージェンス [convergence] 集中

コンピテンス [competence] コンピタンス

課題解決能力

コンピテンシー [competency]

人事評価制度において業績優秀者が有している能力。

業績優秀者の行動パターンからその特性を抽出し、人事評価の具体的基準とする。

コンファーム [confirm] 確認する。

コンフィデンシャル [confidential] 秘密の、打ち明け話 (a confidential talk)

コンメンタール [kommentar 独] 逐条解説。注釈。

[さ・サ]

ざいそちぜい [在素知贅] → [ワンフレイズポリティクス]

大平正芳元首相がよく引用した「シンプルライフ・アンド・ハイシンキング」(思想は高く、暮らしは質素に)の漢語版。大平首相はこの漢語版をよく揮毫したとのこと。

ポスト佐藤の総裁候補の[三角大福中]はいずれも首相まで上りつめたがこの中では大平さんの知性が光る。橋本五郎読売新聞特別編集委員が書いているエピソードにこんなものがある。

「「今から30年以上も前の池田隼人元首相の13回忌で当時の自民党幹事長の太田さんが主催者代表として挨拶した。「かのシュンペーターでしたか。高度成長は神が人類に与えてくれた最後の恩寵であると言いました。池田はたまたま、その時に総理として居合わせただけで、皆さんのお蔭がなければ総理は務まりませんでした。」現役の政治家から「シュンペーター」と「神の恩寵」という言葉がでてきたことと、そして何よりもその謙虚な姿勢が驚きだった」と回顧している。

そういえば60年安保後に成立した池田内閣の「寛容と忍耐」というモットーも大平さんが提唱したという記憶がある。

また、「控え目に 生くる幸せ 根深汁」の句を詠んだ故藤波孝生元官房長官が当時中曽根派でありながら大平元総理に心酔していたことは有名である。(藤波氏には「考堂」というという俳号があり、「白牡丹 われ饒舌を楽しまず」の句もある。)

大平さんの小論文「新権力論」にはこんな件(くだり)もある。

「権力はそれが奉仕する目的に必要な限り、その存在が許されるものであり、その目的に必要な限度において許されるものである。」

また、「エターナルナウ」なんて言葉もよく使っていて、これを阿木曜子が絶賛していた記憶がある。

いずれにしてもここ何代かの総理とは違う知性がそこにはあった。

大平総理が生まれて平成22年の3月12日がちょうど100年。

さいだいじゅようでんりょく [最大需要電力]

電力会社の電力量計で計測し、当月を含めた過去11か月のうち30分平均の最大値を最大需要電力としている。この最大需要電力が契約電力となり毎月の基本料金が決まる。

さくる [削る] 削除する。

ところで、「削る」も「削除」も用語本来の意味は大体同じであるが、法令の上では区別して使われる。

即ち、法令の上では、「削る」ということは、削られる対象となる字句や条項があとかたもなく削り去られて消えるということの意味する。これに対して、「削除」というのは、その削除の対象となった条や項・号が

「第〇条 削除」又は「第〇号 削除」という形であとに残ることを意味している。因みに電気事業法において「削除」となっている条文数は3（枝番付の条文数は63。枝番なしの条文数123条のうち実に63条文が枝番付である。）。

さしかえ〔差換え〕

本部の某部のお家芸。こればかりは他の追随を許さない。会議等の配布資料における軽微な変更について行われるのが一般的であるが、まれに重要な内容を含むものについても「余りにもみっともない評価」を回避する観点から行われることがある。

あまり大げさにしないことがコツであるが、これだけ多用している割には差換えについてのノーハウの蓄積がイマイチとの指摘も少なくない。

なお、議事録には必ず「字句の修正などを含め理事長に一任する」とするといった内容の文言を入れるのが普通であるが、書類の差換えはセット版の前の資料を誤って綴じこんでしまったといったケアレスミスを装いつつさりげなく行うのがコツである。

さじょううげ〔左上右下〕右と左の序列の決まりごと

日本の伝統礼法の一つで「左を上位、右を下位」とする「左上位」のしきたり。正面から見ると左右が逆になる上に、西洋のマナーが日本と逆の「右上位」なので、誤解や混乱も多い。

「左上右下」の考え方は飛鳥時代、遣唐使などを通じて中国から伝えられた。唐の時代、中国では「天帝は北辰（ほくしん）に座して南面す」との思想の下、左が上位として尊ばれた。皇帝は不動の北極星を背に南に向かって座るのが善とされ、皇帝から見ると、日は左から昇って右の左に沈む。日の昇る東は沈む西よりも尊く、故に左が右よりも上位とされた。

実は中国では王朝や時代の変遷によって「左上位」と「右上位」がしばしば入れ替わったが、日本では飛鳥時代以来、現在に至るまで「左上位」が連綿と受け継がれ、礼法の基本として定着している。

「左上位」は、正面から見ると、右が上位になって左右の序列が逆になるが、あくまでも並ぶ当事者から見て左側を上位・高位とする。律令制での左大臣と右大臣の並び順は天皇から見て左側に格上の左大臣、右側に格下の右大臣が立った。国会議事堂も、真ん中の中央塔から見て左側に、貴族院の流れを組む参議院を配置。舞台の左側（客席から見ると右側）を「上手」、右側を「下手」と呼ぶのも、左上位に基づいている。

左上位は日常生活のしきたりにも浸透しており、和服の着方である「右前」はその代表例。自分から見て左襟を右襟の上にして着る作法で、左襟が右襟よりも前になる（正面から見ると、右側の襟が前になる。）。

一方、西洋では、英語で右を「正しい」の意味がある「right」と言うように、日本礼法とは逆に「右を上位、左を下位」とする右上位が基本。これが近現代史の流れの中でそのまま国際間の付き合いのルール（国際儀礼

＝プロトコル）となり、外交などの国際舞台では右上位がマナーとして定着している。2 国間の首脳会談の並び方やサミットでの立ち位置は右上位に基づいて決められており、オリンピックの表彰台で金メダリストを真ん中にしてその右側（向かって見ると左側）に銀メダリスト、左側に（同右側）に銅メダリストが並ぶのも、右上位に由来している。

日本では現在、皇室が明治時代に公式行事や御真影で国際儀礼を取り入れたことが一因となって左上位と右上位の 2 つのマナーの世界が併存しており、これが右と左の関係をより複雑で分かりにくくしている。

ざっくり [ザックリ]

英語で表現すると roughly、approximately、sketchily、briefly となるのであろうか。

「ざっくりでいいから」と言われて、まとめた資料が「詰め甘」だと指摘される。とにかく KDH においては発注者の要求水準は高いということを忘れてはならない。

サーバー [server]

コンピュータ通信で複数のコンピュータと接続してネットワークの要となり、データなどを集約したり、提供したりするコンピュータ。名前の由来はサービスを提供する人（Server）からきている。

サーバーには用途に応じて種類があり、共有ファイルを管理・公開する「ファイルサーバー」、メールの管理や送信を行う「メールサーバー」、映像や音声配信する「動画配信サーバー」などがある。

サーバーに対してデータやファイルを受けるパソコンをクライアントと呼ぶ。

サーベインズオクスリーほう [Sarbanes-Oxley Act、SOX 法] 企業改革法

SOX 法は、企業情報の開示の正確性、信頼性を確保し、投資家保護を図ることを目的として、2002 年 7 月 30 日に制定された。

SOX 法は、破綻したエンロンとワールドコムという両米国企業の財務報告の虚偽による会計不信を直接の契機として制定されたものであり、財務報告の信頼性の向上という目的に焦点を当てて、そのための内部統制の構築を求めたものである。

さべつようご・ふかいようご [差別用語・不快用語]

以下は、公用文における [差別用語・不快用語] の例である。

[女性に関する用語]

男女共同参画社会である今日、特に女性に対するこれら用語は厳に慎まなければならない。特にジェンダー（社会的な性差別）の意識が強い言葉は用いるべきではない。[例]「オールドミス」、「出戻り」、「未亡人」

また、一般に「婦人」という言葉は用いない方向にあり、「女性」と表現するのが適当とされている。

[障害に関する用語]

「めくら判」、「片手落ち」、「つんぼ」は差別用語。

「文盲率」も「非識字率」とするのが適切か。

また、「アル中」については、「アルコール依存症」と言うようにすべきとのこと。

なお、地域的なものとしては、山形県を「裏日本」とあると言ってはいけ

ない。「日本海側」と表現すべき。群馬・栃木・茨城の各県を「南東北地方」にあると言ってはいけない。

いずれにしても、公用文に限らず、それを読み、聞く人の立場になって不快に感ずる言葉はできるだけ使うべきではない。心しておくべきである。

サブスタンス (サブ) [substance] 業務の中身、実質的内容。

〔対〕 ロジスティック (ロジ)

例えば、会議の討議内容について検討するのはサブで、資料を必要部数用意したり場所をセットしたりするのはロジ。

サブをメインに対する接頭語の sub (下、副、補助などの意) と理解していた某特殊法人の民間出身の理事長がいた。彼はサブを、subculture、subcaptain、subtitle、subnote などの sub と理解していたようだった。この法人の研修センターが取壊しになったとのこと。なんとも寂しい限りだ。

サブプライムローン [subprime loan]

ローン審査での信用度の低い人向けの高金利住宅ローン

サプライサイド [supply side] 供給側

さぶろくきょうてい [36 協定] → [さぶろくきょうてい]

サーベイランス [surveillance] 調査監視

さまざまにころぞとまるみやぎののはなのいろいろむしのこえごえ [さまざまに心ぞとまる宮城野の花のいろいろ虫のこゑごゑ]

この歌 (千載和歌集：秋の部) は、何故か帰省の際に思い起こされる。この歌の作者、源俊賴は百人一首 74 番「憂かりける人を初瀬の山おろしはげしかれとは祈らぬものを」の作者でもある。

「幸せはこんなものかな墓参り」

この句のミソは、最後の 5 文字のところに「かき氷」とか「里帰り」を持ってきても味わいのあるものになるところである。

ところで、錦秋の候といえ、シッドモア。

「秋の日本こそ典型的な地上の樂園だ」。

こう書くのは明治時代に来日した米女性旅行家シッドモアだ。桜咲く日本の春を絶賛し、ワシントンのポトマック河畔に日本の桜の植樹を提案した彼女だが、「もっと素晴らしいのは秋だ」という。

「陽光はまろやかに暖かで、野山は壮麗に色づく。空気は清く澄み、そして明るい」「山腹はどこも草木の葉が見事な色合いでもつれる」。樹種が多く、彩りの豊かなことでは世界でもまれな紅葉と、天高く澄みわたる青空。多くの外国人を魅了した日本の秋である。

特にシッドモアは「秋分のころ見舞う嵐」が過ぎた後の何週間か、「冬のすさまじさ」が訪れる前の穏やかな天気をたたえている

(「日本・人力車旅情」有隣堂)。

さよならだけがじんせいだ [サヨナラダケガ人生ダ]

人事異動等別れの言葉の定番。9 世紀中国の詩人于武陵 (うぶりょう) の 4 行詩「勸酒」を井伏鱒二が訳した (超訳?) 一節。

講談社文芸文庫井伏鱒二「厄除け詩集」より

コノサカズキヲ受ケテクレ

ドウゾナミナミツガシテオクレ

ハナニアラシノタトエモアルゾ
「サヨナラ」ダケガ人生ダ

「勧酒」

勸君金屈卮
満酌不須辞
花発多風雨
人生足別離

君二勸（スス）ム金屈卮（キンクツシ）
満酌辞スルヲ須（モチ）イズ
花発（ヒラ）ケバ風雨多ク
人生別離足ル

（「金屈卮」（キンクツシ）は黄金の把手の付いた酒杯。「満酌」は杯いっぱい
酒を注ぐこと。「辞スル」は遠慮すること。「足ル」は多いという意味。人生は
短い、今日は大いに飲もうといったところか。）

エネ庁の某業務管理官が退職前日に、この件名で省内の一部に退職挨拶の
メールを配信して秘書課の輦蹙を買ったことが思い起こされる。

ところで、5月のある日のこと。某氏が「来月協会を辞めます」と伝えたら、
某役員ががっかりして一言、「なんだ今月一杯じゃなかったのか。」かなり不満そうであった。

さんけい [3 K] 3D (Dirty, Dangerous and Difficult)

かつて建設工事現場などが「きつい」、「汚い」、「危険」の「3 K職場」と
いわれ、若者達が敬遠する職場の代表といわれたことがある。この3 Kに
「屋根がない」を加え、「3 K 1 Y」などとも呼ばれた。

最近では、システムエンジニア（S E）の職場が「きつい」、「厳しい」、「帰
れない」の「新3 K」と呼ばれたりしているとのこと。「休暇がとれない」、
「結婚できない」なども付加されることがある。

また、日本の洗練された生活スタイルがアジア各国に広がってきていると
いう。そのカギとなっているのが「快適・健康・きれい」の3 Kとのこと。
なお、「3 K商品」は、今の若者が関心の薄い「クルマ」、「カデン（家電）」、
「カイガイ（海外旅行）」を指すそうだが、二昔（ふたむかし）前からみると
隔世の感がある。

20歳代後半のバブル後世代には「3 ケン（堅・賢・嫌）消費」の消費行動
パターンがあると日経朝刊（H22. 3. 31）が報じている。堅実な若者は、次
の買い物に使えるポイントより今の値引きに飛びつく。賢い若者は、月額
会員料金にはムダが生じるとして例えば10分100円といった料金体系を選
び、賢く楽しむライフスタイルを好む。嫌いは、収入に見合った支出をし
ない「嫌消費」層で、消費への憧れが乏しく、車やブランドを買いたがら
ないとのことである。なんとも夢のない世代が台頭してきたものである。
ところで、みずほ証券の石沢卓志チーフ不動産アナリストによれば、今後
注目を集めるのは東京都の東側の次の「3 K」とのこと。

葛飾区の常磐線沿線の「亀有」と京成電鉄も通る「金町」、総武線沿線の「亀戸」

さんげんしゅぎ [三現主義]

現場、現物、現実。現場に出向き、現物を見て、現実を知る。

三現主義とは、三つの「現」を大切にする経営で、「現」の中身は企業・法人によって多少異なる。いずれにしても、価値（利益）を創造する（生み出す）主体である現場に基軸を置く経営の実践であるが、現場に行くことだけ（行くこと自体が目的）を考えてしまう弊だけは避けなければならない（現場が困るだけである。）。

なお、J R東日本は「現地、現物、現人」の三現主義を唱えている。

（注：現人（げんじん）：実際に関係している人々と向き合って状態を知る。）

（五げん主義：上記の現場・現物・現実の三つに次のうちの二つを加えた主義。原理、原則、顕在化、原点）

ユニチャームの三現主義は、現場、現物、現時点とのこと。

さんこう（3高）

高年齢、高血圧、高圧的に由来する言葉

なお、高収入、高学歴、高身長を意味する3高は、かつては女性が結婚相手に望む条件とされた。最近の女性が自分のパートナーに求める条件は、3低（低姿勢、低リスク、低依存）である。最近は3Cなる表現もある。

- ・comfortable

（快適な暮らしができるだけの十分な収入）

- ・communicative

（理解し合える。）

- ・cooperative

（家事を進んで協力してくれる。自分と学歴や階層が同じか少し上）

3高の高身長が消えた代わりに家事能力を条件にするとはい実に最近の女性にはしたたかである。

最近では、相手に対して自分から恋愛の意思を告げることができる積極的な性格を「肉食系」、反対に恋愛に対して受動的な性格を「草食系」と呼んでいるとのこと。

ところで、「C世代：Generation C」という言葉もある。

ここ数年、米国で使われ始めた言葉。

コンピュータ（computer）を傍らに育ち、ネットで知人と繋がり（connected）、コミュニティ（community）を重視し、変化（change）を厭わず、自分流を編み出す（create）世代の意味である。

人によっては、Content、Communication、Collaboration、Contribute、Casual（四角ばらない）の意味を込めて使う。

さんだんろんぼう [三段論法]

推理の仕方的一种で、三つの判断の組合せからなる形式

[例] A「動物は死ぬ。」

B「犬は動物だ。」

C「ゆえに、犬は死ぬ。」

この場合、Aを大前提、Bを小前提、Cを結論という。

ところで、KDHの「恐怖の三段論法」。

善は急げだ。

業績のV字回復は善だ。

よってV字回復は急げだ。

(某事業所長の独り言：神様の前で誓った業績目標が重いなあ。)

さんろくきょうてい [36 協定]

使用者が労働者に時間外労働又は休日労働させるためには、時間外休日労働協定を締結する必要があるが、これが規定されている条文が労働基準法の第36条であることから「36 協定」と呼ばれている。

36 協定は、KDHのように事業場の労働者の過半数組合がある場合にはその組合を相手方とする書面協定である。この協定には、時間外又は休日労働させる必要のある具体的自由、業務の種類、労働者の数、延長する時間数又は労働させる休日数を記載しなければならない。

また36 協定は労働基準監督署に届けでなければならない。

使用者が1日8時間、1週40時間を超えて労働者に労働させると刑罰が科される(119条)。

[し・シ]

ジーエイト [G8、Group of eight]

以下の先進8か国

日、米、英、仏、独、伊、加、露の8か国。

しえちょう [資エ庁] → 「エネ庁」

しおづけ [塩漬け] 案件がまとまらず協議等が停滞している状況

じぎょうようでんきこうさくぶつ [事業用電気工作物] → 「一般用電気工作物」

一般用電気工作物以外の電気工作物

[例] 電力会社・工場等の発電所、変電所、送電線路、配電線路、需要設備
しさくちゅう [思索中] **under consideration or sleeping**

昼食後の午後1時頃が最も適した時間帯といわれているが、某本部を見ていると午前中から思索に耽っているような人もいたので時間にはあまり関係がないようである。中には会議中が一番という人もいる。かつて某法人でアイマスクをして思索に励んでいた部長がいたが、これは睡眠中との誤解を招くのでいただけない。時々かつてに領いてコーヒーなどをパソコンにこぼしたりすることがあるので、思索に際してはコップを離しておくのがコツである。思索中の天敵は電話といわれている。電話の際は「〇〇部長、終電ですよ」とやさしく声をかけるのがマナーというものである。

ところで、古来妙案が浮かぶのは、三上(さんじょう)、つまり枕上(ちんじょう)、鞍上(あんじょう)、厠上(しじょう)であると言われる。鞍上は今風に言えば、電車の中とでもなろうか。

シーズ [seeds]

種。ニーズになる前の段階

[例] 技術開発はシーズとニーズのマッチングである。

じついん [実印]

個人や会社の代表者の印鑑に相違ないことが印鑑証明書(個人の場合は市区町村長、法人の場合は登記所)によって証明される印鑑。

実印以外の印鑑は、認め印、あるいは安い市販の印鑑は三文判といわれ、

親指又は人指し指の指紋を印鑑代わりに使うのが拇印である。

シプレーげんそく [シプレー原則] 可及的近似の原則

英米における公益信託に適用される原則で、公益信託において設定当時以降の社会的事情や法制度の変化によって、設定者の意図した目的が消滅したり、その目的の達成が不可能・不適法となったり、信託終了後に剰余財産があったりした場合、その信託財産はできるだけ設定者の意図に近い目的に使用されるべきであるという原則をいう。

しほんつみたてきん [資本積立金] → [利益積立金]

税法上の資本取引による剰余金であり、企業会計上の資本剰余金に照応する。これに対し、利益積立金はいわゆる税法上の損益取引による剰余金であり、企業会計上の利益剰余金に照応する。ただ、これらの照応関係は、必ずしもその範囲を同じくしていない。

なお、内部留保（企業の儲けである利益の蓄積）は、貸借対照表の純資産の「利益剰余金」から「配当金」を差し引いたものをいう。

（参考） 資本取引と損益取引の区分

資本積立金は、「資本取引」から生ずるもので非課税の項目。資本取引とは、株主から払い込まれた投下資本自体の増減に関する取引をいい、これに対し資本の利用によって生ずる取引を「損益取引」といって、両者は明確に区別される。

企業活動は、まず資本の払込みを受けることからスタートし、これを元手として営業活動を行い、每期利益を獲得していくことになる。当初の投下資本自体がその後に増減するケースとして増資、減資、合併などがあり、これらの取引から生ずるものは資本積立金に該当する。

一方、投下資本を元手として利益追及のために行う購買、販売、財務などの取引は損益取引。企業会計上、資本自体の増減からは利益は生じない。利益は購買や販売のような、財貨又は用役の増減によってのみ実現するとされている。

税務上もこの考え方は尊重されている。即ち、法人税は利益（正確には所得）に対して課税するものであり、資本課税つまり元手に対する課税は行わない。損益取引から生ずる利益（所得）で、課税を受けた後に内部留保した金額を「利益積立金」といい、同じく純資産（貸借対照表の資本の部）の項目に整理されているが、法人税の課税上、資本積立金と利益積立金はその性格を異にしている。

しほんてきししゅつ [資本的支出]

修繕費のように損費として処理される収益的支出に対する概念で、固定資産の原価を構成することとなる支出。法人税法においては、法人が修理・改良その他名義のなんたるかを問わず、その有する固定資産について支出した金額で、

- ① 支出によりその固定資産の使用可能期間を延長せしめる部分に対応する金額、
- ② 又は支出によりその固定資産の価格を増加せしめる部分に対応する金額

のいずれか多い方の金額を資本的支出の額として損金に算入せず、資産の取得価格に加算する。

しほんとうとりひき [資本等取引] → [損益取引]

会社の行う増資、減資、利益の配当に係る取引等、会社の資本金の増加又は減少を生ずる取引など。

税務上、法人税は利益（正確には所得）に対して課税するものであり、資本課税つまり元手に対する課税はしない。損益取引から生ずる利益（所得）で、課税を受けた後に内部留保した金額を「利益積立金」という。

しま [島] 座席の配列でひとかたまりになっているところ。

ME T Iなどがオフィスを「人、モノ、カネ、情報」に次ぐ第五の経営資源と位置付け、知識創造性を高めるオフィスの推進活動を始めたのが、平成19年。近年オフィスの中に「隠れ家」のような場所を設ける動きが目立ってきた。自分の席の前と左右の三方に間仕切りを入れて独立した空間（パーソナルスペース）を確保しているのもその一つか。

シミュレーション [simulation] 模擬実験（訓練）

KDHの文書に「シュミレーション」という間違い表記が散見される。これなどは英文で覚えておればかかる誤りはあり得なくなるという典型。

しゃいん [社員]

一般社団法人又は公益社団法人の構成員（従業員ではない。）で、当該法人に対して経費を支払う義務を負っている（法人法27条）。

合名会社、合資会社又は合同会社（持分会社と総称する。）に出資している、会社の構成員。会社の出資者

会社法でいうこれら持分会社の社員は、日常会話で使われる「サラリーマン」という意味での会社の従業員とは異なることに注意が必要。

シャビイ [syabby] みすぼらしい、取るに足らない。

池袋倶楽部の料理で料金の6掛けでは、シャビイになるので7掛けはキープしたいところだ。

ジャストアイデア [just idea] ほんの思いつき

この用語は後々エクスキューズできるので、いわゆるオトナ語として重宝されている。サラリーマン必携用語の一つ

しゅうえき [収益] 返す必要のない儲け

しゅうえきじぎょう [収益事業] → [請負]

収益事業という場合、従来公益法人の場合2つの意味で用いられてきた。

1つは、公益を目的とする事業と収益を目的とする事業に分けた場合の収益事業で、駐車場経営や貸会議室経営等、本来の目的（公益）事業を活性化するための公益支援事業を指す。もう1つは法人税法上の課税対象となる収益事業（法人税法2条1項13号）をいい、同法施行令5条1項において、物品販売業、請負業等34業種が定められており、協会の保安業務及び調査業務は請負業に該当するとされている。

しゅうえきじぎょうかぜい [収益事業課税]

各事業年度の所得のうち収益事業から生じた所得について法人税が課税されること。

じゅうぎょういんまんぞくど [従業員満足度] E S (Employee Satisfaction)

しゅうぎょうきそく [就業規則] → [振替休日]、[代休]

使用者が賃金・労働時間そのほかの労働条件に関する事項、経営秩序、職場内での規律保持に関する事項などについて定めたもの。

各職場においては、労働基準法で定める最低の労働基準は就業規則を通じ

て具体的に実現していくことになる。

常時10人以上の労働者を使用する使用者は、必ず就業規則を作成しなければならないが、その作成上の手続等を示せば次のとおり。

- ・ 当該事業場に、労働者の過半数で組織する労働組合がある場合にはその労働組合の意見を聴かなければならない（使用者は必ずしもこの意見に拘束されることはない）。
- ・ 作成した就業規則を労働基準監督署に届け出なければならない。
- ・ 作成した就業規則を労働者に周知（掲示、書面・交付等）させなければならない。

じゅうにん [重任] 「ちょうにん」ともいうが「じゅうにん」と読むのが一般的。
reappointment

取締役や理事が任期満了により退任し、時間的間隔を置かず当該ポストに再任された場合、この再任を登記実務上「重任」という。法律上は変更の登記が必要。

じゅうぶん [十分]

「充分」は公用文では用いない。

じゅうらい [従来]

KDHの文書に「従来から」という表現が散見されるが、「従来」のみで「以前から」という意味を有しており「従来から」という表現は誤りである。

シュール [sur 仏語 (・・・の上に)]

「シュールな」：現実から超越して。通常の理解が不能だというさま。

じゅくぎ [熟議]

本来は「十分に議論すること」の意であるが、政界においては「生煮え」の案をタタキ台にして一定時間議論し、自分に都合のよい結論を得ようとするときに持ち出す用語。議論がかみあわないことが多い。

しゅくだい [宿題]

その場で解決・回答できないことについて、持ち帰って検討・調査すること。

シュシュ [chouchou 仏語] 装身具の一種。種々ある。

ドーナツ状にした薄手の布にゴムを通して縮ませたもので、最近、本部5階の某女がブレスレットとして身につけている。お似合いかどうか判断が分かれるところであるが、本人は満足しているようだ。

仏語の[chou]はキャベツの意味。英語のキャベツに「ぐうたら」という意味があることを本人は知らないのがうれしい。

髪留めにも使用されるが、「ポニーテイルとシュシュ」はAKB48の大ヒット曲。

英語では「Scrunchie」又は「Scrunchy」

じゅんしさん [純資産]

すべての借金を返済した後に会社に残る資産

じゅんそくしゅぎ [準則主義]

準則主義とは、あらかじめ法律で一般的抽象的に、法人として認められるに適する組織体としての要件を定めておいて、その要件を具備したものは、許可とか認可とかいう特別の行政的処分を要しないで、当然に法人として成立する主義（ただし設立の登記が要件）。

しょうエネほう「省エネ法」Act on Rational Use of Energy

正式名称：エネルギーの使用の合理化に関する法律

省エネ法は、石油危機を契機として昭和 54 年に「内外のエネルギーをめぐる経済的社会的環境に応じた燃料資源の有効な利用の確保」と「工場・事業場、輸送、建築物、機械器具についてのエネルギーの使用の合理化を総合的に進めるための必要な措置を講ずる」ことなどを目的に制定された。

省エネ法の対象となる電気は、原油・揮発油、重油その他石油製品や天然ガス、また石炭・コークスその他石炭製品を起源とするものであり、これらの燃料を起源としない、太陽光発電、風力発電、廃棄物発電等、非化石エネルギーを起源する電気は対象外。

平成 20 年 5 月には、「エネルギー消費量が大幅に増加している業務部門と家庭部門におけるエネルギーの使用の合理化をより一層推進すること」を目的に法律改正が行われた。

この改正で、工場・事業場における規制については、これまでの工場・事業場単位のエネルギー管理から、事業者単位(企業単位)でのエネルギー管理に規制体系が変わった。したがって、事業者全体(本社、工場、支店、営業所、店舗等)の 1 年間のエネルギー使用量(原油換算値)が合計して 1, 500kl 以上であれば、そのエネルギー使用量を事業者単位で国へ届け出て、特定事業者の指定を受けることが必要となった。

なお、所管課は資源エネルギー庁の省エネルギー対策課である。

しょうきょくてきけんげんあらそい [消極的権限争い] → 「積極的権限争い」

ある問題が持ち上がったときに、当該問題が自分あるいは自分が所属する課なり部の所管ではないとして責任逃れをするときに出てくる権限争い。元々は官庁用語であるが、KDH でも見られないわけではない。[対] 積極的権限争い

しょうにんけんむりじ [使用人兼務理事] → [業務執行理事]

理事でありながら使用人の地位を兼ねる者。

評議員会で理事として選任されると同時に、法人(KDH)との間では雇用契約にある。理事と法人の関係は委任(法人法 172 条 1 項)とされていることから、1 人の人間が KDH と委任と雇用という二つの関係を有することとなる。

使用人兼務理事は、理事としては、理事会の構成員として代表理事や業務執行理事の業務執行を監督すべき立場にあるが、一方、使用人として代表理事等からの指揮命令に服さなければならない立場にある。

しょうばんじどうしゃどうのえんしん [常磐自動車道の延伸] → [二地域居住]

現在、富岡まで開通している常磐自動車道の富岡―相馬間は平成 23 年度開通予定。相馬―山元間は平成 26 年度開通予定。

なお、富岡までの開通区間には 17 のトンネルがあるが、富岡までの順にその長さを示せば以下のとおり(数字はメートルでそれぞれ上り・下りの順)

- ① 日立 (2,442, 2039)、② 大久保第一 (216, 199)、③ 大久保第二 (301, 187)、④ 大久保第三 (1,022, 1,004)、⑤ 諏訪 (1,090, 1,078)、⑥ 諏訪第二 (268, 211)、⑦ 成沢 (880, 850)、⑧ 助川 (1,764, 1,814)、⑨ 平沢 (185, 129)、⑩ 大雄院 (527, 595)、⑪ 鞍掛 (1,846, 1,866)、⑫ 小木津 (195, 203)、⑬ 十王 (330, 330)、⑭ 関南 (1,365, 1,369)、

⑮関本 (211、208)、⑯好間 (1, 250、1, 250)、⑰大久 (520、520)

ところで、福島県相馬市から福島市に抜ける国道115号線沿いの伊達市
霊山町に標高825メートルの「霊山(りょうぜん)」があり、その麓に温
浴施設「紅彩館」がある。春は桜が見もので、駐車場脇に次の石碑がある。
「霊山に 千本桜の 花を添え」

竹駒神社のはなし。

宮城県岩沼市の竹駒神社では3月の春分の日(旧暦初午)から7日間、初
午(はつうま)大祭が行われ、五穀豊穰、家内安全を祈願する参拝客で賑
わう。なんでも竹駒の社名は、岩沼地域の旧称・武隈の転訛とか。

9世紀に百人一首にもでている小野篁(おののたかむら)が陸奥守に任命
された折、京都の伏見稻荷を勧進して創建したとされ、日本三大稻荷の一
つといわれている。「竹駒の神のみやしろ もうできて ほころびそめし初
桜みる」という土井晩翠の歌碑がある。

じょうほうリテラシー [information literacy] →リテラシー

マスメディアや公的機関、インターネット、広告、書籍などが発信してい
る様々な情報を主体的に読み解く能力(真偽を見抜き、活用する能力)

しょうり [掌理]

「統括」と同じく行政事務を一般的に指揮・調整すること。「統括」は高い
段階の機関の長が包括的に行政事務を指揮・調整する場合に用いられるの
に対し、「掌理」は、行政事務を直接掌握するという意味の語感があるところ
から、比較的に低い段階の機関の長の場合に用いられる場合が多い。

しょくせいのあっぱく [職制の圧迫]

業務中・業務外にかかわらず、就いている上位ポストにある者がその地位
を背景に相手を高圧的にやりこめること。部下のモチベーションを削ぐの
みならず、パワハラになりかねないので上位のポストにある者は日頃から
このような振舞いは厳に慎むよう心がけることが必要であるとされている。
机をたたいて部下を叱責するなど言語道断である。

じょし・じょどうし [助詞・助動詞]

[助詞] 及び [助動詞] 並びにこれらと類似した語句は、平仮名表記が原則

[例] ～あて(×宛)、～において(×於いて)、～(する)こと(×事)、
～ごとに(×毎に)、～にすぎない(×過ぎない)、～のため(×為)、
～できる(×出来る)、～とともに(×共に)、～のほど(×程)、
～まで(×迄)、～するわけ(×する訳)、
～(して)もかまわない(×構わない)、～ください(×下さい)、
～(して)ほしい(×欲しい)
～など(×等、[等]はなどとは読まない。)

ところで、助詞の「に」と「へ」の使い方。

「関西方面へ旅行する。」と「関西方面に旅行する。」という文章がある
場合、後者は適切な表現ではないとされている。

助詞の「へ」は方面を表し、「に」は目的点を表すからである。

オリンピックへの道は適切であるが、オリンピックにの道とは言わない。

[例] あなたに差し上げる。仙台へ続く道

しょとくぜい [所得税]

ある人に帰属する収入の一切を総合的に把握して課税するもの
広義には所得に対して課せられる租税を意味するが、我が国では国税として個人の所得に対して課されるものを所得税といい、法人の所得に対して課されるものを法人税といっている。

しょとくくろじ [所得黒字]

外国から稼ぐ金利配当が、外国に支払う金利配当を超えた分

ショートノーティス [at short notice]

急に。締め切りが早いこと。

【例】「ショートノーティスで恐縮ですが・・・」は、発注の際の枕詞

しょめい [署名]

自分の名称を手書にすること。この場合捺印は不要。印刷、ゴム印、他人に自己の名称を書かせることを「記名」といい、この場合は捺印を必要とする。

なお、御名御璽（ぎょめいぎょじ）とは、御名が直筆の天皇の署名で、御璽が天皇の印で、国家の実印に該当するものである。

シーリング [ceiling]

天井。政府の予算用語で「今年度予算のシーリング（上限）を設定する（概算要求基準）」との使い方がある。政権交替などが起こると「白紙撤回、絵に描いた餅」などになり、全く意味のない基準となるのに、政府担当官は血眼になってこの設定にこだわる。

ジレンマ [dilemma ラテン語] → [三段論法]

板ばさみ。相反する二つの事柄の間にたってどちらとも決めかねる状態。進退きわまること。

論理学で、両刀論法。三段論法の一つで大前提に二つの仮言的命題をたてる。これは某氏の例。「説明すれば怒られる。だが黙っていても怒られる。ほかに方法がない。だからいずれにしても怒られる。」不思議にこういう人ってどこの職場にもいるよね。

しんぎかい [審議会]

国の行政機関である府・省・庁・委員会に置かれる附属機関の一種で、一定の事項について調査・審議する合議体の諮問機関。ただ審議会が出す答申や報告の内容を考え出すのは事務局を務める官僚であり、委員たちは形式的に討議して承認を与えるもので、ほとんどが国民参加のアリバイづくり（役所の隠れ蓑）に使われているのが実態である。

シンクタンク [think tank] 政策研究機関

霞が関は世界最大のシンクタンクなどと呼ばれたりするが本当だろうか。

シンポジウム [symposium] → [パネルディスカッション]

討論の1形式。ある一つの主題について、数人の講師がそれぞれ異なった意見を述べてから、司会者や聴衆の質問に答える討論会
本来はいっしょに酒を飲むという意味とか。

[す・ス]

すうりけいさんじょうのさい [数理計算上の差異]

退職給付に係る企業会計基準の一つ。

退職給付会計においては、退職給付の支給方法や積立方法の違いに関係なく、一定期間の労働対価等の事由に基づき、企業が将来負担すべき退職給付額のうち、期末までに発生した将来の退職給付の現価相当額を「退職給付債務」として認識する。退職給付制度では、退職給付債務に対する積立不足を「退職給付引当金」として、貸借対照表に負債計上し、同時に当期に発生した費用を「退職給付費用」として、損益計算書に費用計上する。我が国の退職給付会計における「数理計算上の差異」とは、退職給付債務と年金資産について、期待運用収益（前提）と実際の運用成果（実績）の差により每期発生する過不足である。

前者（退職給付債務）に係る差異は、退職給付債務の計算において使用した基礎率（昇給率等）と実績との差によって生じ、後者（年金資産）に係る差異は、期首において当年度に年金資産から得られるものと想定した期待運用収益と年度末に確定した実際の運用収益との差によって生じる。

このような数理計算上の差異は、過去の事象に基づいて発生した損益であり、費用処理が必要になる。

このうち、費用処理されていないものを「未認識数理計算上の差異」という。

原則的には発生した事業年度の処理となるが、翌事業年度以降から費用処理することも「退職給付に係る会計基準三2(4)」(平成10年6月16日 企業会計審議会 平成17年3月16日一部改正)で認められている。

[注：退職給付債務]

一定の期間にわたり労働を提供したことなどの事由に基づいて、退職以後に従業員に支給される給付のうち認識時点までに発生していると認められるもの

[注：年金資産]

企業年金制度に基づき退職給付に充てるため積み立てられている資産

スキーム [scheme] 手順。流れ。制度

スケルトン [skeleton] 骨格。計画等の骨組み

住宅産業においては、「スケルトン・インフィル住宅」の必要性が指摘されて久しい。

これは柱や梁、床などの構造躯体である「スケルトン部分」と内装や設備などの「インフィル (infill) 部分」が分離する構造となっている住宅のこと。ライフスタイルや居住者が変わるのに伴い、適宜間取り等を変更することで、長期間にわたって同じ建物を使い続けることができるようになる。そのためには、天井、床を二重（二重床等）にしたり、配管を自由に動かせるようにする必要があり、初期コストは嵩むが、建物の寿命が通常よりながくなることが見込まれる。居住空間をバリアフリー化することも容易になる。

スコープオブワーク [scope of work] 作業範囲。SW

すごもりリッチ [巣ごもりリッチ]

外食や旅行といったレジャーにお金を使うほど消費に積極的ではないが、通常の商品よりもややプレミアム志向のものを購入し、自宅に居ながらにしてプチ贅沢な気分を味わうといった消費行動

すじわる [筋悪] 内容がよろしくない案件。内容が詰まってない案件

スタッフ [staff] → [ライン]

ライン職 (部長、課長等) をサポートする職 (人)

ステークホルダー [stakeholder] 企業の利害関係者

ステーク (利害関係) ホルダー (持つ者) とは、企業活動に関わる顧客市場、人材市場、調達市場、金融市場等に属する個人・集団をいう。

ステレオタイプ [stereotype]

紋切り型。決まり文句。固定観念。決まりきっていて代わり映えのしない表現や行為。

ステロタイプともいう。

ストックオプション [stock option]

株式をあらかじめ決まった価格で買い取る権利。会社役員などに報償として与えられるのが一般的。

ストレス [stress] 医学用語では刺激警告反応。精神的重圧→ [ウォーキング]

なんらかの刺激が引き起こす生体の防御的反応。またその反応を引き起こす条件 (stressor: ストレスの原因となる物理的、精神的諸因子) で、外傷、手術、寒冷、疲労、怒り、不安などを指す。

まあ生きていく上でストレスがあるのは当然であるが、ルーチン業務がない某本部ではストレスが絶えない。それにしてもここでは伝統的にアフターファイブの献酬が多いが、これはストレス解消のためというよりもただ単に酒が好きな管理職が多いだけであることに過ぎないというのが実情のようだ。

なお、当日飲み会に誘ってもまず断らない女性がいたことは今や legend と化している。

ストレステスト [stress test] 健全性検査。資産査定

銀行監督当局により金融機関経営の安全性を測定する検査。

経済の悪化や資産価格の下落などの負荷 (ストレス) がかった場合において、金融機関の保有資産にどの程度損失が発生するか、その際に十分な資本があるかどうかを問うもの。

スペック [specifications] 仕様。設計明細書。規格

スマートグリッド [smart grid]

直訳すれば、「賢い送電網」で、コンピュータシステムとインターネットを、駆使して、電力の需要と供給を調整し、電力利用を最適化する構想。

この実現により、電力需要のモニタリングや電気使用量のコントロールが可能となる。

スマートフォン [smart phone]

携帯電話機にインターネットアクセス機能やデータ通信機能、アドレス帳など携帯情報端末 (PDA) 的な機能を組み込んだもの。

通信機能をメインにウェブ閲覧やメール機能などを付加した比較的シンプルなスマートフォンから、ワード、エクセルを始めとするオフィスソフトやフルキーボードを搭載したスマートフォンまで製品群は多種多様。

スマートフォン市場が急拡大する契機となったのは、2007年の米アップル社による「iPhone」の発売。それまでのスマートフォンはビジネスマン向けというイメージが強かったが、音楽ダウンロードや動画などを気楽

に楽しめる娯楽性とタッチパネル形式の軽快な操作性を兼ね備えた「iPhone」の登場で、ユーザーが若者層や女性まで一気に拡大した。

〔せ・セ〕

せいさんばらい〔精算払い〕〔対〕概算払い。

せいじょ〔整序〕物事を秩序だてて整えること。

せいていほう〔制定法〕

成文法。立法機関を始めとする公の機関において一定の手続の下に定められた法。

ところで、会社法や一般社団・財団法人法の世界にある、定款、規則、内規、規程などと呼ばれているものは、法人自治の範疇に属することから「自治法」と呼称されることがある。

この関連から、一般財団法人関東電気保安協会の名称表示の問題について考察すれば以下のとおり。

法人法5条1項は、「一般社団法人又は一般財団法人は、その種類に従い、その名称中に一般社団法人又は一般財団法人という文字を用いなければならない。」と規定している。これは、いかなる種類の法人であるかを名称中に明示させることによって、一般社団・財団法人と取引しようとする第三者の保護を図るとの趣旨である（公益法人認定法9条も同様の趣旨）。

ただ、これは登記上の正式名称についての規定であるので、名称表示に当たって一般財団法人を前置しないで単に「関東電気保安協会」と表示したり、単に「KD H」とロゴ（意匠文字）タイプで使用したりしても、法人の裁量の範囲（自治）として許容されることになる。

セカンドベスト〔second best〕次善の策。最善はfirst best

せっきょくてきけんげんあらしい〔積極的権限争い〕→「消極的権限争い」

元々官庁用語で所管事務の範囲（権限）を広げようとすることから惹起する権限争い。

せつぞくし〔接続詞〕

接続詞は、「及び、並びに、又は、若しくは」を除き、原則として「平仮名」で表記する。〔あるいは〕、〔したがって〕、〔ただし〕、〔なお〕、〔また〕

ところで、接続詞と副詞の見分け方である。その言葉が以下の文全体に掛かっていれば〔接続詞〕、特定の用言（動詞・形容詞・形容動詞）のみに掛かっていれば〔副詞〕ということになる。〔さらに〕、〔おって〕及び〔あわせて〕にあっては、これらを〔接続詞〕として表記する場合は平仮名を、〔副詞〕として用いる場合は漢字表記を原則とするとされている。

ちなみに、〔例えば〕や〔特に〕については、文頭に置かれても接続詞になることはなく、副詞として常に漢字で書くこととされている。

セットばん〔セット版〕

クリアすべき箇所をクリアして正式な会議等に出せる資料等

セグメント〔segment〕区分。区別

〔セグメント情報（segment information）〕は、企業の売上高や損益などを企業部門別・地域別などに区分して開示した会計情報。

ゼロエミッション〔zero emission〕排出ゼロ

ゼロシーリング〔zero ceiling〕

新年度予算の概算要求に制限を課し、対前年度伸び率をゼロとすること。

伸び率ゼロの要求枠

ゼロサム [zero sum] 零和→ [プラスサム]

得点、失点の合計はゼロになるという理論から、低経済成長下での頭打ちの社会状況を指しても用いられる。米国の経済学者L. Cサローの著書「ゼロサム社会」から。

ところで、我が国のラーメン店の数はここ10年8万軒程度と変わっていないとのこと。ただ、新規参入しやすいだけに毎日が新規開業ラッシュの状況。この10年ラーメン店の数が変わっていないということは、新規参入と同じ数だけ廃業していることでもある。まさにラーメン業界は食うか食われるかのゼロサム社会に突入しているのである。

ゼロベース [zero based]

予算の各費目などを白紙状態に戻して一から検討し直すこと。

センシティブ [sensitive] 神経質な。細部にこだわる。

個人情報のうち、本人の思想・信条・宗教や人種といった社会的差別につながる事実などをセンシティブ情報（機微な個人情報）という。

センシティブティー [sensitivity] 鋭敏性。感受性。

[例]「企業倫理においては、組織としてのセンシティブティーを高めていくことが重要だ。」

せんてい [選定]

法律上「選定」とは、選任された機関の中から更に選出がなされる場合をいう。

[参考] 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第90条
(理事会の権限等)

第90条 理事会は、すべての理事で組織する。

2 理事会は、次に掲げる職務を行う。

- 一 理事会設置一般社団法人の業務執行の決定
- 二 理事の職務執行の監督
- 三 代表理事の選定及び解職

3 理事会は、理事の中から代表理事を選定しなければならない。

4 (略)

- 一 (略)
- 二 (略)
- 三 重要な使用人の選任及び解任
- ・
- ・

ところで、理事会と代表理事の権限関係については、法人の業務執行を業務執行の意思決定と執行自体に分け、意思決定の権限は理事会に、執行自体とこれに当然伴う対外的代表の権限は代表理事にそれぞれ専属すると考え、理事会が業務執行の意思決定を担当する機関であるのに対し、代表理事は執行自体と代表行為（対外的執行自体）を担当する別個の機関であると解し、この両機関が並立的に法人の業務執行機関を構成していると考えられている。

これは、会議体である理事会を自ら業務執行自体に当たる機関と解することは不適當であり、また会議体として常に活動状態にあるものではないか

ら、執行機関と解することは適切でないからである。
法人法 90 条 2 項 1 号において「法人の業務執行の決定」を理事会の権限とし、「執行」とは規定していないのはこのためである。
代表理事の権限には、評議員会・理事会に専属する権限は含まれない。ただ、代表理事は、理事会又は定款の決議をもって委任された事項について決定することができる。

せんになん [専任]

専任を英語でいうと「full-time」。a full-time lecturer (専任講師)
建設業許可の取得の際、許可を受けるための要件の一つに「営業所ごとに技術者を専任で配置すること。」が定められているが、ここにいう「専任」とは、「その営業所に常勤して専らその職務に従事すること。」を指している。そのため、営業所の専任技術者については、当該営業所の常勤職員の中から選ぶことが必要とされている。
例外的に、所属営業所の近隣工事の主任技術者等との兼務が当該営業所の職務を適正に遂行できる範囲で可能な場合には現場の技術者になることも許容されているが、近隣工事であってもその現場が専任を要する場合は、主任技術者等との兼務はできないこととされている。
この要件（基準）を設けた趣旨は、建設工事についての専門知識を有する技術者の恒常的な技術指導の下で建設業営業が行われる体制を整備することで、建設工事に関する請負契約の適正な締結・履行を確保することにある。したがって、営業所の専任技術者としては、技術上の統括責任者としての役割を果たし得る人材から選任する必要があるとされている。
なお、「営業所」とは、本店又は支店若しくは常時建設工事の請負契約を締結する事務所をいう。

せんりゅう [川柳]

川柳の三要素が「穿（うが）ち」「おかしみ」「軽み」といわれている。
第一生命のサラリーマン川柳（サラ川）の過去の傑作を挙げれば以下のとおり。

「課長いる？」 返ったこたえは 「いりません」
「空気読め！！」 それより部下の 気持ち読め！！
昼食は 妻がセレブで 俺セルフ
ドットコム どこが混むのと 上司聞く
プロポーズ あの日にかえって ことわりたい
「ごはんよ」と 呼ばれて行けば タマだった
まだ寝てる 帰ってみれば もう寝てる
売る人の顔見てやめた化粧品
シワがないお肌じゃなくて脳みそが

(以下の川柳は某新聞のコラムから転載)

知らぬ間に妻の機嫌を取っている
付いて行くと言ってた妻に付いて行く
僕の顔見つめて妻が大あくび
「見とるのに」テレビを消すと妻目覚め
見つめたらにらみ返してくれる妻
寝てるときあんな優しい顔なのに

定年の妻の労（ねぎら）い三日だけ
嘩（けんか）して三食作るアホらしさ
私には見せぬ笑顔を犬に向け
どうも妻オレより犬が大事らし

[そ・ソ]

そうかつ [総括]

各部署の元締め。各部署の発注元。他部署に対する窓口。よろず雑用引け受けセクションでもある。

なお、ME T I ではラインの課長補佐は「班長」、筆頭課長補佐は「総括班長」と称している。

そうごうしょうしゃ [総合商社]

商社の社風に関する小話に、こういうのがある。

「濁流の川を渡るのに、資金が豊富な三菱商事の社員は橋をかける。スマートな三井物産はヘリコプターで越える。保守的な住友商事は三菱の後に
ついて橋を渡る。だが伊藤忠社員は泳いで渡る。

そうそく [総則]

「総則」は、通常、法令又は法令の中にある編・章等の大きな区分の最初に位置して、その法令全体又は編・章等の全般について共通するような一般的・総括的な定めをする編・章・節等の標題として用いられる。

多くの法律をみると、法律の目的又は趣旨に関する規定、その法律で用いられる用語の定義に関する規定、その法律の解釈の指針に関する規定、その他その法令における若干の総括的・共通的な規定が盛られるのが通例である。

なお、「通則」は、その言葉自体の意味としては、別に総則と変わりがないが、立法技術の上では、「通則」という標題は、原則として、「総則」よりも一段下位的なものとして扱われている。

(参考：一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の条文構成 [抄])

第一章 総則

第一節 通則

第一条 (趣旨)

第二条 (定義)

第三条 (法人格)

・

・

第二章 一般社団法人

・

・

そうていもんどう [想定問答] → F A Q

あらかじめ予想される質問に対する回答例

ところで、想定問答といえば、この人の話に尽きる。

(平成 22 年 11 月 14 日、柳田稔 (やなぎだみのる) の広島市での国政報告会での発言：同月 22 日に辞任)

「法務大臣とは良いですね。二つ覚えときゃ良いんですから。個別の事案に

についてはお答えを差し控えますと、これが良いんです。わからなかったらこれを言う。で、後は法と証拠に基づいて適切にやっております。この二つなんです。まあ、何回使ったことか。」

以下の二つも便利な答弁方法ではある。

- ・ 御意見は御意見として伺っておきます。
- ・ 仮定の質問にはお答えできません。

ぞうよ [贈与] → [寄附]

無償で（対価なしで）他人に財産を与える契約。

そちをとる [措置をとる] → [講ずる]

意味の違いにより、「採る（選択する）」「執る（実行する）」のいずれを用いることが可能であるが、いずれか判断できないときは平仮名で措置を「とる」ものとされている。通常は措置を講ずるが無難

ソフトランディング [soft landing] 軟着陸

ソフトコピー [soft copy] → ハードコピー

ディスプレイによってブラウン管に映し出すもの。

ソフトパワー [soft power]

政治権力を構成する要素のうち、軍事力や警察力などの物理的強制力（ハードパワー）でない経済力や世論、文化や思想などの影響力。

今や欧州では、日本のファッションクリエイターやキャラクター名、「みそ」、「ワサビ」までもが幅広い世代に知られるようになったとのこと。

ソリューション [solution] 問題解決

そんえきけいさんしょ [損益計算書] Profit & Loss Statement (P & L)

会社の利益は、具体的にはP & Lで計算する。

利益 = 収益 - 費用（この数式は企業会計原則によるもの）

（参考：法人税計算上の所得）

所得金額 = 益金の額 - 損金の額

法人税は、会計上で算出されるその期の「利益」にかかるのではなく、法人税法上で算出される「所得金額」に対してかかる。

そんえきとりひき [損益取引] → [資本等取引]

資本の利用によって生ずる取引

そんえきぶんきてん [損益分岐点] [break-even point]、B E P

損失と利益の分かれ目となる売上高

そんがいばいしょう [損害賠償] → [損失補償]

損害賠償とは、法律が定める一定の場合に、他人のこうむった損害を填補し、損害がなかったと同様の状態にすること。損害賠償原因の代表的なものは、民法の定める債務不履行と不法行為である。これらは原則として、行為者の故意・過失その他、責に帰すべき事由の存在を要件としている（過失責任主義）。

そんきん [損金]

法人税計算上の課税所得の対象となる費用

（所得金額：益金の額 - 損金の額）

そんけいご [尊敬語] → [謙譲語（１）], [謙譲語（２）]

相手側又は第三者の行為・物事・状態などについて、その人物を立てて述

べるもの

お会いになる（会う）、おっしゃる（言う）、いらっしゃる・おいでになる（行く）、お聞きになる（聞く）、いらっしゃる・お越しになる・おいでになる・見える（来る）、ご存じ（知る）、なさる（する）、召し上がる（食べる）、お見せになる（見せる）、ご覧になる（見る）、おもらいになる（貰う）、お読みになる（読む）

そんしつほしょう [損失補償] → [損害賠償]

国や地方公共団体等の公権力の主体が、適法な公権力の行使により損失を与えたため、憲法 29 条の 3 項の規定の適用などとして、その損失を填補する場合を指すのに用いられる。

[た・タ]

たいき [待機]

帰れないこと。予算待機、国会待機等がある。

[例] 経済産業省の担当者が待機をかけたまま解除しないで帰宅してしまった。

だいきゅう [代休] → [振替休日]、[就業規則]

労働基準法は、労働者の労働による疲労回復及び余暇権行使を保障するため、使用者が労働者に、毎週少なくとも 1 回休日を与えることを義務付けている（35 条 1 項）。

なお、休日は休ませることに意義があり、無給であっても労基法違反ではない。また使用者は、労基法 33 条（災害等による臨時の必要がある場合の時間外労働等）及び 36 条（時間外及び休日の労働）の要件を充足した場合には、労働者に休日労働をさせても労基法違反には問われない（割増賃金は必要）。

「代休」とは、労基法 33 条又は 36 条によって休日労働がなされた場合に振り替えないで後に恩恵的にある労働日の労働義務を免除するもの。既になされた休日労働は休日労働のままであるから、割増賃金の支払いは免れない。

これに対して、「休日の振替（振休）」とは、あらかじめ休日として特定されていた日を労働日とし、その前後の労働日を休日とすることを意味するが、これにより当該休日は労働日となる。ただし割増賃金の支払いは不要となる。

なお、振休の条件は次のとおり。

1. 就業規則に休日の振替を行う旨が定めてあること。
2. あらかじめ振替日を特定すること。
3. 1 週 1 日以上の日を確保すること。

たいしゃくたいしょうひょう [貸借対照表] → バランスシート

企業や団体の、ある時点における財産状態を、資産の部を左側に、負債及び純資産の部を右側に記した表で、右側が左側の資産（財産）を買ってくために必要な資金の調達方法を表している。

左右バランスが取れていることからバランスシートと呼ばれている。

法人の財産の集合体であり、貨幣計数的にその価値を表したもの

タイムラグ [time lag] 時間差

タスクフォース [task force] 任務部隊。専門調査部隊。

特定の任務等を遂行するために編成された部隊。KDH内の特別作業班
たたきだい [叩き台]

案の初期段階のもの。これをもとに関係者で議論してより良いものを作る。
ただちに・ちたいたく・すみやかに [直ちに・遅滞なく・速やかに]

この三つの言葉は、ともに時間的即時性を表すが、その意味は若干つつニュアンスの違いがある。このうち、最も時間的即時性が強いのが「直ちに」である。何をおいても、すぐにやれという趣旨を表そうという場合に多く使われる。某理事が「そんなに急がないけど・・・」という含意が実は「直ちに」であったという例はすくなくない。そう含意は常に at once なのである。

これに対して、「遅滞なく」は、時間的即時性は強く要求されるが、正当な、又は合理的な理由に基づく遅滞は許されるというように解されており、事情の許す限り最も速やかにという趣旨を表す場合によく用いられる。

「速やかに」も、もちろんできるだけ速くという意味をあらわす言葉だが、訓示的な意味、つまり、これに対する違反が義務を怠ったものとして直ちに違法にはならないような場合に使われることが多い。時間的即時性を表すよりは、むしろ、「通常の場合に踏むべき手続を踏まないで」とか、「何らかの条件をつけないで」ということを表す趣旨で用いられる場合もある。

だっぼうこうい [脱法行為]

強行法規で禁止されていることを、別の手段で、合法性を装いつつ達成しようとする事。

たなおろし [棚卸し]

決算の際に、商品などの在庫量を調べる事。

酒場で上司の棚卸しをして「丙丁付け難い」などと言っている輩もいるが、言動には注意しないと。

ヘマなことを口走ることを、英語で「足を自分の口に踏み入れる」という言い回しをする。まるで曲芸か何かのようだが、日本語でいえば「ドジを踏む」のような表現から生まれたフレーズとのこと。

そのため言わずもがなのことをしゃべる癖を「フット・イン・マウス」病という。これは家畜の口蹄疫（こうていえき）を「フット・アンド・マウス」病というのをもじったのだそうだ。

ところで、法学部で「労働法」を専攻した本部の某新人は「労働組合は酒場から生まれた」というフレーズを知らなかったとか。

タフ [tough] 強靱で粘りのあるさま。不死身。hard

タフといえ、次のセリフが有名。東京電力社長・会長、経団連会長等を歴任した平岩外四（1914～2007）氏の座右の銘としても有名

“If I wasn't hard, I wouldn't be alive.

If I couldn't ever be gentle, I wouldn't deserve to be alive.”

（タフでなければ生きていけない。

やさしくなれなかったら生きている資格がない。）

（注）このセリフの前の女の問い

“How can such a hard man be so gentle?”

—レイモンド・チャンドラーの小説「プレイバック」（1958年刊）から—

なお、医療機器メーカーのテルモ（株）和地孝（わちたかし）会長は、これをもじって次のセリフを唱えているという。

「高い収益を上げられなければ、生き残っていけない。

社会に貢献できる企業でなければ存続する資格がない。」

タマ [球]

ある案件について相手とのやりとりをキャッチボールになぞらえる時に使う。自分で持っているのは望ましくなく、相手に持たせておくことが望ましい状態。自分が持たざるを得ない場合はできるだけ早く相手に投げ返す。

[例] 今、タマはこちらが持っている（こちらが相手に回答しなければならない。）

タマ [弾、玉]

案。案件。ひとまとまりの事業・業務

[例] タマ出し。新規タマ。

だんかいのせだい [団塊の世代]

昭和22～24年生まれの我が国人口は、平成16年現在、679万人で直前の3年（昭和19～21年）のそれより32%多く、直後の3年（昭和25～27年）のそれより13%多いことからこの人口の膨らみが団塊と表現されるとしたものであり、この「団塊の世代」というネーミングは、元通産官僚にして作家の堺屋太一が昭和51年に発表した同名小説に由来する言葉である。団塊というのは、鉱物用語で「ノジュール (nodule)」の訳語である。この団塊の世代の定義を出生児数が210万人を超えていた昭和26年まで拡大すると、我が国人口の約9%に相当する。合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に生む子供の数に相当）は、22年が4.54、23年が4.40、そして24年が4.32であり、当時は兄弟姉妹が4人以上という家族構成が普通であった（因みに合計特殊出生率が2.08以上でないと人口が維持できないとされている。平成16年のそれは1.29で我が国人口は平成17年から減少に転じている）。

因みに、我が国の合計特殊出生率が丙午（ひのえうま）の年を除き戦後初めて2.1を割ったのは第一次石油危機後の昭和49年だ。それから30年間以上、出生率は下がり続け、この間1989年（平成元年）の合計特殊出生率が1.57と1966年（昭和41年）の1.58を下回った（いわゆる1.57ショック）が、これといった有効な少子化対策が講じられることはなかった。

なお、最近よく目にするのは「低温世代」。就職氷河期の洗礼を受け、会社に入れば給料も地位もなかなか上がらない。本物の好況を知らない20～30代の世代とのこと。[貯蓄を好み、消費にシビア]という評がある。

だんしゃり [断捨離]

自分とモノとの関係を問い直し、暮らし・自分・人生を調べていくプロセス。

不要・不適・不快なモノとの関係を、絶ち、捨て、離れ、引き算の解決方法によって停滞を取り除き、住まいの、暮らしの、身体の、気持ちの、人生の、新陳代謝を促すこと。つまり、過去に溜め込んだ、家の中や身の回りにある不要なモノを捨てて、身もこころもスッキリさせようという意味。

なお、「断捨離」は、心の執着を捨てるヨガの教え「断行」、「捨行」、「離行」を、クラター（ガラクタ）・コンサルタントのやましたひでこ氏が日常の整理術に応用した言葉として人口に膾炙するようになった。

炭鉱のカナリア [a canary in a coal mine]

近い将来起こる危険に対する早期警戒信号。

かつて炭鉱労働者が坑道の中にカナリアを持ち込んで、掘削作業を続けていても空気の面で安全か否かを知る手掛かりに使ったことに由来する表現

[ち・チ]

ちせいがく [地政学 (Geopolitics)]

地理的な位置関係が政治、国際関係に与える影響を研究する学問。

地政学的に重要といえ、中東やエジプト、マラッカ海峡などが挙げられる。

ちせいがくてきりすく [地政学リスク (geopolitical risk)]

ある特定の地域が抱える政治的・軍事的な緊張の高まりが、地理的な位置関係により、その特定地域の経済又は世界経済全体の先行きを不透明にするリスクのこと。

ちてきざいさん [知的財産]

頭脳や感性が生み出した創造物。

ところで、物を対象とした所有権法とは異なり、知的財産法は情報を対象としており、所有権法とは異なった情報独自の法体系が必要となったことから、「知的所有権」という用語は「知的財産」、「知的財産権」に統一されることとされた(2002年7月3日知的財産戦略会議:「知的財産戦略大綱」)。なお、明治以来使用されている「工業所有権」という用語は、主として特許権、実用新案権、意匠権及び商標権を指すものとして用いられるが、これらの中には、農業・鉱業・商業等の工業以外の産業に関する知的財産も含まれている。このような権利の性質をよりの確に表すためにも、「工業所有権」に替えて「産業財産」、「産業財産権」という用語が使用されることとなった。

ちゅうきけいはいけいかく [中期経営計画] → 中経

KDHにおいて「中期経営計画」という名称は、平成19年度からの3か年計画で初めて用いられた。平成10～12年度については中期行動計画、平成13～15年度と平成16～18年度については中期経営重点方策という名称で策定してきた経緯がある。

ちゅうけい [中計]

中期経営計画の略。組織のベクトルを一つにして成長に導く指針と位置づけられる。中期とは3年程度をいい、経営方針や経営戦略とともに数値目標(計数計画)が重要な意味を有するとされている。

KDHでは平成10年度から、3か年計画を策定している。19年度から「中期経営計画」という名称で計画を策定しており、現在22年度からの中計の策定作業を進めている。

ちゅうさんかんちいき [中山間地域]

平野の外縁部から山間地域にかけての地域

ちょうでん [弔電] くやみの電報

人事関係部門ではこれが無視し難い負担になることがある。

特に組織のOBの訃報に接したとき、弔文の文言を肩書に応じてどのようにすべきか苦慮するがMETIの実例(エネルギー関係のOB)を示せば以下のとおりである。

(大臣)

故〇〇〇〇様の御逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。故人が産業政策の確立、電力・ガス事業をはじめとする我が国産業の発展に尽くされた数々の御功績を偲び、あらためて深く敬意を表し、心から御冥福をお祈り申し上げます。

(事務次官)

故〇〇〇〇様の御逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。故人が電力・ガス事業をはじめとする我が国産業の発展に尽くされた数々の御功績を偲び、心から御冥福をお祈り申し上げます。

(長官・次長・部長)

故〇〇〇〇様の御逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに故人のエネルギー産業の発展に尽くされた御功績を偲び哀悼の意を表します。

ところで、2月といえば西行法師の次の歌が有名。不思議なことにこの歌は百人一首にはなく他の歌が86番として入っている。

願はくは花のもとにて春死なむその如月の望月の頃

(願わくば2月15日ごろ、満開の桜の下で春逝きたいものだ)

なお、これは、西行が亡くなる十数年前に詠んだ歌だといわれている。

実際に西行が来世へ旅立ったのは2月16日。新暦でいうと3月23日ということのようだ。

[つ・ツ]

つうたつ [通達] → [訓令]

一般に行政官庁が所轄の諸機関(下級官庁)、職員などに対しある事項を知らせること。

通達は「通知」と大体同じ意味であるが、公法上の事項を知らせるために用いられることが多い。

国家行政組織法14条2項は、「各省大臣、各委員会及び各庁の長官は、その機関の所掌事務について、命令又は示達するため、所管の諸機関及び職員に対し、訓令又は通達を発することができる」と定めている。

つうちこうい [通知行為]

特定の事項を知らせる目的で行われる行為であり、それが行われることにより後続の行為を適法ならしめる行為。

通知行為が行われることにより、法規の定める一定の効果が生じる。

ツイッター [twitter]

140字以内で不特定多数の人たちに、ネットを通じて発信するサービス

つけ [付け] 回答を返さなければならない質問や要求。[類] 宿題

つけがえし [付け返し] 質問に回答したり、相手の要求に答えること。

ツーレイト [too late] 遅すぎる。時宜を失すること。

つめる [詰める]

案や資料を作成する際に、字句やデータの裏づけ等、細かい部分まで検討して、完璧を目指すこと。

[例] この資料は、てにをはが詰まっていない。

[て・テ]

ディアイワイ [D I Y]

Do-it-yourself (日曜大工) の略。昭和 5 1 年に神奈川県藤沢市に D I Y 専門店「東急ハンズ」が開店してから本格的に流行するようになった。

大きければいいよ豊かなる気分東急ハンズの買い物袋 (俵万智) K D H において流布している D I Y は、「怒鳴る・威張る・呼びつける」という意味あいでも用いられている。

テイクノート [take note] メモを取ること。

ていしじょうけん [停止条件]

ある行為 (事実) が成就したときから法律行為の効力が発生する場合に、この事実を停止条件という。[例] 電験三種に合格すればご褒美を与えるという場合の「電験三種の合格」が停止条件。[対] 解除条件

ディスインターメディエーション [disintemediation]

間に人を立てない。中抜き。直接メッセージを発すること。

ディスクロージャー [disclosure] 暴露、発覚、(情報) 公開、開示

財務内容公開制度。投資家を保護するために企業の財務内容を企業の財務内容をガラス張りにすること。

デスティネーションキャンペーン [destination campaign]

土地を商品として旅に出ようと働きかける広告キャンペーン。

J R 東日本では千葉県を対象にこのキャンペーンをやっていた。

destination は目的地、行き先。

デスティネーションストア [destination store]

強力な目的性のある店。つまり、「しまむら」や「ユニクロ」のように顧客が他店には目もくれず、はっきりとした目的を持って目指すような店をいう。

ティーチイン [teach-in] → [シンポジウム]、[パネルディスカッション]

学内討論集会。大学内で、教授・学生が集まって、時事問題などを徹底的に討議する集会。転じて、広く討論集会

ディテール [detail] 部分、細部、詳細

God is in the details. (「神は細部に宿る」とは、細部へのこだわりが成果のクオリティを決定づけるとでもいえようか。)

ディファレンシャル [differential] 差。格差

ていびーえむ [T B M : toolbox meeting]

電気工事では作業現場ごとに作業条件等がその都度変化するため、当日の作業開始前に作業箇所に近い適当な場所に全員が集まって行う、作業手順、作業方法、安全確保事項等に関する必須の打合せ (ツールボックスミーティング)。元々は打合せを toolbox (道具箱) の前で行ったことに由来する。なお、土木の世界で T B M といえば、tunnel boring machine [トンネル掘削機] のことである。

てきかく [適確・的確]

[適確と的確の違い]

これら二つの用語は、いずれも法令に用いられているが、若干ニュアンスに違いがある。「適確」は、適正確実を意味し、「適確な措置」というような場合に用いられ、「的確」は取り上げたものが適正であるという意味から

例えば「的確な意見」というように用いられる。

法令では、このような意味の違いに従って用いられているが、法令以外の公用文では、原則として「的確」の方を用いるのが慣例とされており、両者の意味の違いは余り意識されていない。ちなみに「適格」は、「資格に適合している」ことを意味し、異なる言葉である。

できる [できる]

「できる」は「ください」と同様、次の3つを除いて平仮名で書く。

「出来高」、[出来がいい]、「出来上がる」

できれーす [出来レース]

あらかじめ勝者がわかっている競争。公平性を装うために行われる。

回答可能なヤラセの質問をさせて幹部を納得させるという芸当も時には必要である。事業所長会議での話ではありませので念のため。

でぐちせんりゃく [出口戦略]

金融用語で、極端な低金利政策を是正して金融政策を正常化すること。

デシジョンメイキング [decision making] 意思決定。

As organizer, Shimamatsu decided to hold the end of year party at an Italian restaurant Nanda Kanda.

「一度止まる」という字を併せると「正」という字になることから正しい意思決定するときには一度立ち止まって考えることが必要という向きもある。

デジタルサイネージ [digital signage]

紙でのポスターを液晶ディスプレイなどに置き換えて使う広告媒体

デジャヴ [déjà-vu 仏] 既視感

平成22年正月の小沢民主党幹事長邸での新年会には、国会議員166人が集まったとか。この光景は、かつての恩師、目白の闇将軍邸の殷賑のデジャヴか。政治とカネの末路や如何

テーゼ [These 独] 立論。命題

てつづき [手続]

公用文では手続に送り仮名をつけない。「手続き」は誤用である。

なお、公用文の送り仮名の誤用のワースト2は、「取組み、取り組み」と「手続き」といわれている。

デッドライン [deadline] 最後の限界、境界

記事・原稿の受付の締切り時間。KDHでは発注のデッドラインを守らない輩が多く、企画本部はこれでいつも苦勞させられている。

デッドロック [deadlock] 行き詰まり

デファクトスタンダード [de facto standard]

事実上の標準、デファクトスタンダード(複数の仕様や規格がある中から、特定の一つを多くの人が実際に使用するようになり、他もそれに追随することでできあがった標準)

デマケ [demarcation]

分界。区分。限界。縄張り。権限や役割の及ぶ範囲のこと。

[例] 業務のデマケをきっちり詰めておくように。

てにをは

書類の中の語句の使い方。本質的なものではない。

そういえば、もうOBになったが、「てにをは」に必要以上にこだわった役員がいたな～（サブスタンスは変わらないから楽といえば楽だったが。）。

〔例〕資料の内容についてはともかく、てにをはだけはチェックしておくように。

てもち〔手持ち〕

会議の資料等で、出席者には配布せずに質問が出たところのために用意しておく資料等。手持ちの資料にまで、「てにをは」チェックされたのにはまいったよ。

〔と・ト〕

とうかつ〔統轄・統括〕→〔掌理〕

国又は地方公共団体、その他の公の機関がその管轄下にある下級の機関の行政処分又は部下の行政事務を一般的に指揮・調整すること。

KDHの現行寄附行為の第17条2項では理事長の職務について次のように規定している。

「理事長は、本財団を代表し、業務を統括する。」

どうきいきぎれ〔同期息切れ〕

入社（入省）は横一線で同じでも、時が流れ動悸息切れを覚える頃には同期の者に昇進等で差をつけられたときの感慨を表す言葉

とうきょうでんりょく〔東京電力（株）〕（The Tokyo Electric Power Company, Inc.）

首都圏1都7県（群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県）、静岡県の富士川以東（富士市の旧富士川町域は含まない）の地域を独占的に事業地域とする標準周波数 50Hz の世界最大の民間電力会社である（群馬県の甘楽郡・吾妻郡は 60Hz）。

因みに東電の前身である東京電燈が開業したのが明治19年（1886年）。電気供給第1軒目は現在の帝国ホテル（東京都千代田区）の南隣に所在した鹿鳴館で、夜会舞踏会に白熱電灯を明るく灯したのであった（翌20年1月）。

なお、KDHでは略称のTEPCOを、テリトリー(territory)意識が強い、プライドが高い、コンサバ（conservative）に由来するものと理解している向きが多い。

とうきょうたわー〔東京タワー〕

Tokyo Tower is built in 1958 and located in the Shiba-koen park, Minato-ku, Tokyo. It is 333meters high and used as an antenna for broadcasting and communication.

The tower is one of the popular sightseeing spots in Tokyo.

It has an observatory on top and boasts the wide view of Tokyo.

とうろく〔登録〕

居場所を知らせておくこと。

〔厳重登録〕職場に復帰可能な状況を保つこと。

〔例〕今日は登録待機となりました。（かつて登録解除を忘れて帰宅したつわものもいた。）

法律用語でいう「登録」は、一定の事項を行政庁に備える特定の帳簿に記載すること。その目的は、登録事項を公に表示し、又は証明すること

にある。

とき [とき、時]

時点を表す場合は [時] を用い、条件を表す場合は [とき] と表記する。
ただし、「時点」と「条件」の意味合いを兼ね合わせているような場合は [とき] を用いる。[例] 公印を使用するときは、総務部へ稟議書を回付してください。

ドクトリン [doctrine] 原則、主義

どくにんせい [独任制] 単独で権限行使ができる制度で、知事、市長、日本の検察官、日本の監査役、一般財団法人の監事などが独任制に当たる。単独制ともいう。

一般財団法人における監事は、独立して権限を行使するいわゆる独任制の機関であり、監事が複数いる場合でも監事は各自独立して監査する義務を負っている。

(参考) 監事の権限等

1. 監事の権限等

一般財団法人の監事は、理事の職務執行全般を監査する権限（業務監査権限及び会計監査権限）を有する法人法上の必置機関である。監事は理事が作成した計算書類（貸借対照表及び損益計算書）及び事業報告並びにこれらの附属書類を監査する権限を有している。この場合において、監事は法務省令の規定に基づき監査報告を作成しなければならない。

このほか監事としての職務を遂行するために必要な調査を行うことができる。

また、監事の義務として主要なものを挙げれば次のとおりである。

- ・理事・理事会への報告義務
- ・理事会への出席義務
- ・評議員会に対する報告義務

2. 法人法は、一般財団法人の運営の基本的事項についての意思決定を評議院会の権限とし、通常の業務執行の意思決定の多くを理事会の権限としているが、監事に上記のような権限等を付与することにより法人の財産や業務執行状況の適正性の確保を含めガバナンスの強化に資する観点から、監事を独立性が確保された常設の必置機関とする制度設計を行っている。

3. このように旧民法第34条法人（公益法人）における監事が任意設置機関であったことに比べると、法人法においては監事の権限等が大幅に強化されている。

コーポレートガバナンスの担い手として期待されているおりから「監事」は「閑事」であってはならないのである。

ドグマ [dogma ギリシャ語] 教義、教条

ドグマティズム [dogmatism] 独断論、教条主義

どくりつぎょうせいほうじん [独立行政法人] 独立法人、独法ともいう。

公共上の見地から確実に実施されることが必要な事務・事業であるが、国自らが実施する必要はなく、民間に委ねたのでは必ずしも実施されないおそれのあるものを行う法人。

中央省庁等改革の柱の一つで、平成11年に、すべての独立行政法人に適用する共通の原則を定めた独立行政法人通則法と個別の独立法人設立法が制定された。

特殊法人が以下のように揶揄されたこともあった。

- ・ NEDO（何にもしないでえらぶっているどうしようもないオジン達）
- ・ JETRO（潤沢な円を沢山浪費するところ）
- ・ MIPRO（みんながプライドをもってお遊びしているところ）

因みに、KDHは「これじゃダメだよ反省しなさい。」そう、某本部のことである。

とつきよ [特許] → [講学上]、[許可]

直接相手方のためにする行為で、その者が元来持っていない法律上の力を与える行為。

実定法上では、許可という用語が用いられていても講学上は特許に当たることがある（電気事業法3条）。

トップセールス [top sales 和製英語] → [営業の心]

企業のトップが率先して自社の製品や技術などの売込みを行うこと。

最近では、鉄道、下水道などのインフラや原子力発電などの商談で欧米や中国、韓国等に遅れをとったことから我が国でも大臣等が積極的に関与するようになった。

KDHのトップセールスは、平成22年7月1日に発足した「営業本部」の本部長が中心になって行っているが、協会が業績のV字回復を成し遂げるためには全役職員が一丸となって本部長が主唱する「営業のこころ」を持って顧客開拓と顧客密着力を強化することが不可欠の要請となる。

そう、技術で勝ってもビジネスで負けたらなんにもならない。

昭和37年に当時の池田隼人首相がフランスのドゴール大統領と会談したときに「トランジスタのセールスマン」と揶揄された話は有名であるが、今やトップセールスがインフラ等の大型商談においては成功の鍵となっている。

とどけで [届出] 行政機関への通知行為。→ [通知行為]

届出は、私人が行う公法上の一方的行為で、法律に則った形式の通知が行政機関に到達した事実をもって効力が発生し、他に受理などの行政機関の行為を必要としない（行政手続法37条）。

かつては、届出の効力発生には、行政庁の受理が必要ではないのかとの議論があったが、行政庁が意図的に受理を行わなくなった場合は、届出制とされる意義がなくなってしまうので、現行法では受理などの行政機関の行為は必要ないものとしている。

なお、「届出」と類似の用語として「通知」があるが、法令上はともに一定の事項、事実を知らせることをいうものであり、両者に大きな差異は認められないものの以下の使い方をしているようである。

「届出」：電気事業法等の各種規制法で用いられる場合が多いこともあり、一般通念上、極めて弱いか若干の規制的色彩を有するものと考えられる。

「通知」：規制法に限らず一般的な法律に用いられることもあり、一般通念上、規制色はあまり感じられないものと考えられている。このため自家用電気工作物に係る電気工事業については、単に事業の開始という事実を知

らせるだけで十分との観点を踏まえ、比較的規制色の感じられない「通知」という用語が用いられている。

〔参考：行政手続法 37 条（届出）〕

第 37 条 届出が届出書の記載事項に不備がないこと、届出書に必要な書類が添付されていることその他の法令に定められた届出の形式上の要件に適合している場合は、当該届出が法令により当該届出の提出先とされている機関の事務所に到達したときに、当該届出をすべき手続上の義務が履行されたものとする。

なお、到達とは、客観的に相手方がその意思表示を了知できる状態になることをいう。

とどけでせい〔届出制〕

届出制とは以下のとおり。

個人の自由に属する事柄を合理的な立法目的の下に規制する場合において、何らかの規制は必要だが、規制の内容からみて、許可制（許可は一般的規制の解除）を取るまでもなく更に軽度の規制でよいと考えられるときに、必要事項を記載した書面を提出するなど法律の定める方法により行政機関に通知しなければならないという規制手段をいう。

届出制は行政秩序維持の見地から、私人に特定の行為を行うに当たっては、あらかじめその旨を届けるべき義務を課する制度であるから、届出の対象とされる行為は禁止されているわけではなく、ただ届出という手続上の規制がなされているにすぎない。

許可制の場合は、許可があってはじめて、その規制されている行為を適法になし得るのであるが、届出制の場合には、届出が適法と判断されその受理があれば足り他の特別の処分を要しない。その結果、許可制では、許可を受けずに規制されている行為を行えば、違法行為となり行政強制や行政罰（刑法上の行政刑罰）の対象となるのに対し、届出制では、届出をなさずに当該行為を行ったとしても、届出義務違反という問題が生じるにとどまるので、秩序罰（金銭罰の過料）等の対象となるにすぎない。

なお、行政手続法によれば、届出に関して、形式的要件が満たされていれば、到達でもって、手続上の義務は履行されたものとされる。これにより受理という概念は避けられている。

ドッグイヤー〔dog year〕→〔マウスイヤー〕（末尾参照）

情報技術分野における革新のスピードを表す概念。通常 7 年で変化するような出来事が 1 年で変化すると考えられる。

（人間の 7 年が犬の 1 年に相当することから。）

逆に速度が遅いものは、亀からとって「タートルイヤー」と呼ばれている。

なお、ペットフード協会によると 2003 年度に犬と猫の飼育頭数が 1 5 歳未満の子供の総数を上回り、2009 年度の犬猫の飼育頭数は 2, 2 3 4 万頭に上るとのこと。

トップダウン〔top down〕→〔ボトムアップ〕

組織の上層部が業務の方針、目標、具体的計画などを決定し、それを下部に連絡、実行させる業務管理方式

ただ、組織が有効に機能するためには、ミドルの地位にある者が上に意見

を言い、下を動かすというミドルアップ・ミドルダウンの力が不可欠であるといわれる。

トップランナー方式 [top+runner]

自動車の燃費基準や電気製品（家電、OA機器など）の省エネ基準をそれぞれの機器において現在商品化されている製品のうち最も優れている機器の性能以上に設定する方式

トートロジー [tautology]

同語反復の文章技法の一つで、例えば「私は私、君は君だ。」というような、内容的にはあまり意味がないものの、論旨を強調する場合に用いられる。つまり主語と述語が同じ場合をトートロジーと表現する。

一方、「馬から落ちて落馬する。」というような、同じ意味の言葉を重複して用いるのを「重言」といい、好ましい文章ではありません。重言という言葉の初出は近松門左衛門の浄瑠璃で、まさに「馬から・・・」の例が使われている。

重言（じゅうげん・じゅうごん）といえ次の一文が有名。

「いにしえの昔の武士のさむらいが 山の中なる山中で 馬から落ちて落馬して 女の婦人に笑われて 赤い顔して赤面し 家に帰って帰宅して 仏の前の仏前で 短い刀の短刀で 腹を切って切腹した。」

重複表現を省けば、

「いにしえのさむらいが山中で落馬して婦人に笑われ赤面し帰宅して、仏前で短刀で切腹した」となる。

ドミナント [dominant] 支配的な地位を占める。優勢な。

小売店などが特定のエリアをターゲットに多数店舗の展開を図ることをドミナント出店という。

ドミナントエリア [dominant area]

特定企業の店舗や商品が圧倒的な市場占有率を占め、競合上優勢あるいは支配的に戦える地域

ドメスチック [domestic] ドメス

国内又は国産に関するさま

ドメインネーム [domain name] ドメイン名

インターネットに接続されているコンピュータに割り当てられた名前で、ホスト名、組織名、組織別コード（大学：ac、政府関係：go、企業：co など）、国別コード（日本：jp）からなる。

Eメールのアドレスで@マークのアトに記述される。

トライアルアンドエラー [trial and error] 試行錯誤

トラウマ [trauma ラテン語] 精神的外傷。心の傷

後遺症を残すような激しい精神的ショック

【例】ざっくりでいいからと言われてまとめた資料について「詰め甘」だと叱責されてからというもの、これがトラウマになってざっくりとした資料が迅速に作成できなくなった。→【ざっくり】

ドラッカー [ピーター・ファーディナンド・ドラッカー (Peter Ferdinand Drucker)]

オーストリア・ウィーン生まれのユダヤ系オーストリア人経営学者。「現代経営学」あるいは「マネジメント(management)」の発明者。

ピーター・ドラッカー95歳の次の詩が有名。

もう一度人生をやり直せるなら・・・
今度はもっと間違いをおかそう。
もっとくつろぎ、もっと肩の力を抜こう。
絶対にこんなに完璧な人間ではなく、もっと、もっと、愚かな人間になろう。
この世には、実際、それほど真剣に思い煩うことなど殆ど無いのだ。
もっと馬鹿になろう、もっと騒ごう、もっと不衛生に生きよう。
もっとたくさんのチャンスをつかみ、行ったことのない場所にももっともっとたくさん行こう。
もっとたくさんアイスクリームを食べ、お酒を飲み、豆はそんなに食べないでおこう。
もっと本当の厄介ごとを抱え込み、頭の中だけで想像する厄介ごとは出来る限り減らそう。
もう一度最初から人生をやり直せるなら、春はもっと早くから裸足になり、秋はもっと遅くまで裸足でいよう。
もっとたくさん冒険をし、もっとたくさんのメリーゴーランドに乗り、もっとたくさんの夕日を見て、もっとたくさんの子供たちと真剣に遊ぼう。
もう一度人生をやり直せるなら・・・
だが、見ての通り、私はもうやり直しがきかない。
私たちは人生をあまりに厳格に考えすぎていないか？
自分に規制をひき、他人の目を気にして、起こりもしない未来を思い煩ってはクヨクヨ悩んだり、構えたり、落ち込んだり・・・
もっとリラックスしよう、もっとシンプルに生きよう、たまには馬鹿になったり、無鉄砲な事をして、人生に潤いや活気、情熱や楽しさを取り戻そう。
人生は完璧にはいかない、だからこそ、生きがいがある。

- P.F. ドラッカー 享年 95 歳 -

トラッキングげんしょう [tracking 現象]

長い間コンセントに差し込んだままのプラグの上に埃がたまり、そこに湿気が加わることでプラグの両刃間に電流が流れ、最終的に加熱や発火に至る現象。プラグの定期的な清掃が必要

とらのもんぶるーす [虎ノ門ブルース]

旧全商工労働組合員の愛唱歌。全国連WGの会合のアトによく立ち寄る老舗の居酒屋「升本（ますもと）」のメニューに「霞が関」と「虎ノ門」がある。前者が一級酒で後者が二級酒を指す。タコおでんが有名。虎ノ門界限で残っている老舗は、「鳥助」、「大串」、「鳥安」など数店になってしまった。何より某専務理事や某企画担当理事も通っていた「すずでん」の閉店が惜しまれる。まさに昭和は遠くなりにはけりである。

♪♪♪

「虎ノ門ブルース」（CDは自主制作）

いちはいろんな夢を見た 学校出立ての春だった
ふたつ故里思い出す リンゴの花の咲くころは
さんは淋しい日暮れ時 国会待機の残業で
よつつ汚れたけむりの空にも あの娘（こ）によく似た星がでる

ごはゴーゴー地下鉄の 満員電車を降りてみりゃ
むつつむらむら頭にくるぜ 36階のデカイ顔 (つら)
ななは何かならねえか 業者の奢りで飲んだ酒
やっつ役目といいながら アメ大通りでゲロにする
ここのつ今夜も考える 俺は毎日考える
いやな課長の背中の中で 国会議事堂睨んでる
日差しよ もっと赤くなれ 風よ 激しく吹いてくれ
俺の職場がここにある 俺の愛する虎ノ門 俺の愛する虎ノ門
♪♪♪

(注) 霞が関ビル (36階建て) が昭和43年4月18日に開業。

日本初の超高層ビルで高さは地上147メートル (なぜかイースターと覚えている。)。いまでは都内78番目の高さというから驚きである (平成21年4月現在)。因みに現在日本で一番高いビルは横浜ランドマークタワーで296メートル (東京スカイツリーは634メートル、エッフル塔324メートル)。世界一の超高層ビルは、アラブ首長国連邦 (UAE) のドバイの「ブルジュ・ハリファ (ハリファ・タワーの意)」の828メートル (825でないのが残念) で、平成22年1月4日 (日本時間5日未明) に開業式典が行われた。

なお、このビルは、当初「ブルジュ・ドバイ」の名称とする予定だったが、UAEのハリファ大統領の名前にちなみ改名されたとのこと。

因みに千葉県の最高峰は愛宕山の408メートル (鋸山: 329m)

ドラフト [draft] 素案

トランキライザー [tranquilizer] 精神神経安定剤。静穏剤

とりあつかい [取扱い]

動詞として使用する場合は送り仮名は「取り扱う」となる。

熟語で使用する場合は送り仮名をつけない。「取扱説明書」

とり [図利] 利益を得ようとする事。

不法行為法によれば、特定人に対する加害が必要であるが、専ら図利 (とり) を目的としていて同業者の被害が希薄な場合は、これが認められない。

とりくみ [取組]

取組は「取り組む」という動詞から派生した語。

「取組み」という表記もみられるが、これは「気候変動枠組み条約」において枠組みという表記が用いられていること、また「仕組み」に送り仮名がついていることからきた誤用であるものと思われる。「取組」と「番組」の二つの用語に限っては「み」の送り仮名は不要である。

取組も動詞として用いるときは、途中の送り仮名を付けて「取り組む」と表記する。

トリビア [trivia] つまらないこと。平凡なこと

雑学的な事柄や知識、豆知識を指す。

かつてのフジテレビ系列のバラエティ番組「トリビアの泉〜素晴らしきムダ知識〜」は、世の中における雑学を紹介するものであった。

トレサビリティ [traceability] 履歴管理。追跡可能性

元来は、計測機器の精度や整合性を示す用語として使用されてきたが、近

年では野菜や肉などの食品がどこで生産されたか、どのような流通経路を通ったか、どのような加工がなされたかといった生産・流通履歴を意味する用語として注目されるようになった。

計測機器における定義は次のとおり。

「不確かさがすべて表記された、切れ目のない比較の連鎖を通じて、通常は国家標準又は国際標準である決められた標準に関連づけられ得る測定結果又は標準の性質」

トレードオフ [trade-off] 二律背反

一方を追求すると他方が犠牲になるような両立し得ない関係。

複数の条件が同時に満たすことのできないような関係

一般的には経済成長と環境負荷はトレードオフの関係にある。

最近の話題でいうと、常識的には増税は経済成長にマイナスだ。しかし、菅首相は「強い経済、強い財政、強い社会保障」を同時に達成できると説く。陽気な菅流経済学である。増税で大勢の失業者を、例えば介護に雇う。介護を強いサービス産業に育てる。そうすれば税収もあがって財政再建もできる、と。

菅首相の経済学の先生（ブレン）は、小野善康大阪大教授や神野直彦元東大教授が先生だ。小野教授は1回2時間ぐらいずつ十数回も財務相時代の菅さんに個人レッスンしたそうである。

ところで、経済学を「陰気な科学」と言ったのは、英国のカーライルという19世紀に活躍した文人。マルサスが「人口論」を書き「人口は食料増加率を上回って増えるから、人類の貧窮化は社会改良ごときでは食い止められない。」と主張したのを「陰気な科学」と批判したことになっている。これも本当は違うらしい。ジョン・スチュアート・ミルなどが、「黒人も白人も経済学的には同じ」であり、奴隷解放で黒人も豊かになり得ると説いたのが、気に障った。カーライルは人種差別主義者だった。経済学は奴隷制を悪であるかのように扱う「陰気な科学」だと毒づいたのだ。

なお、その他の科学は人間を迷信から解放するので本質的に陽気であるとのこと。

[な・ナ]

ナイーブ [naive] うぶ、純真、素朴、天真らんまん。

日本語では、(神経が) 繊細とか神経質に近い意味で使われることが多い。

ないぶとうせい [内部統制、 internal control] →コーポレートガバナンス

企業経営者の経営戦略や事業目的等を組織として機能させ達成していくための仕組み。

経営者が組織を規律するための仕組み又はプロセスであることから、しばしば「理事の道具」とも呼ばれる。

内部統制の目的は以下のとおり。

- ・業務の有効性及び効率性
(Effectiveness and efficiency of operations)
- ・財務報告の信頼性
(Reliability of financial reporting)
- ・法令等の遵守

(Compliance with applicable laws and regulations)

・資産の保全

(Preservation of assets)

これに対し、コーポレートガバナンスは「企業経営を規律するための仕組み」、即ち「企業経営者を規律するための仕組み」といわれる。

ないようしょうめい [内容証明]

特殊な郵便物の取扱制度の一つで、謄本によって当該郵便物の文書内容を証明するもの。内容証明郵便は、文書を出したことの証拠となることから、賃貸借契約の解除の通知など法律的に重要な意味を持つ意思表示の文書に利用される。さらに、文書に確定日付を与える効力があることから、債務者への確定日付ある証書による通知が対抗要件となっている債権譲渡において利用される。

なおじゅうぜんのれいによる [なお従前の例による]

ある事柄については、新しい法令の規定によらず、改正前又は廃止前の法令の規定による。

なおらい [直会] → 「献杯」

祭事が終わってから神酒（みき）・供物（くもつ）を下げてください宴会。ところで、古来、日本人にとって食事をする事自体が神事だった。食事は神からの賜りもので、料理は一旦神に供え、祈りを捧げてから、お下がりとさせていただくものだった。ここにおいては、料理そのものが既に神であり、したがって食事をする事で、神と人が一体になると考えられてきた。「直会」は神道のかたちとして残ってきたものである。

なかてん [・] [中点]

文字と文字の間に位置（左右等間隔）する、ピリオドに似た黒丸。中点は名詞の並列の間に用いるが、この場合原則としては読点「、」を用いることとされている。[例] 松・杉・檜・樺などの林が見える。松、杉、檜、樺などの林が見える。

このように一般的には中点と読点の用法にそれほどの違いはないのであるが、規定関係の用法においては、非限定列举の関係で両者の用法に苦慮することもある。すなわち非限定列举で名詞を並列させる際、「等」や「その他」の用語を用いて類似の名詞を類推させる場合には、名詞をすべて「、」で結び、最後に「等」を付けるが、「等」は「及び」又は「又は」と併用しないのが基本的なルールである。このルールに支配されるため、今般改正（平成21年5月11日経済産業大臣認可）された寄附行為第3条（目的）及び第4条（事業）においても「中点「・」」の使用を余儀なくされた経緯がある。

「電気の使用・安全に関する啓発・周知・相談、人材育成、調査研究、技術開発及び支援に関する業務」

ながらえまたこのごろやしのばれんうしとみしよぞいまはこいしき [ながらへばまたこの頃やしのばれむ憂しと見し世ぞ今は恋しき]

百人一首84歌。藤原清輔朝臣（ふじわらきよすけあそん）作。

世のサラリーマンの共感を呼ぶ歌で、この歌があるから百人一首が好きになったという人も少なくない。メンタルヘルスの見地から現代でも玩味の

価値ある一首

英訳の方がストーンと腑に落ちると思われるのでマックミランピーター (Mc Millan Peter) の訳を示せば以下のとおり

If I live long,
I may look back
with yearning
for these painful days
the world that now
seems harsh
may then appear
sweet and good!

ところで、初めて英語に翻訳された日本の文学作品が「小倉百人一首」であることはあまり知られていない。翻訳者は、英国海軍軍医「フレデリック・ヴィクター・ディキンズ」なる人物である。ときは江戸時代末期のことであった。

なきをいれる [泣きを入れる]

あやまって理屈なしに案件を了承してもらうこと。

【例】A部長に泣きを入れたが決裁してもらえなかった。

ナノテクノロジー [nanotechnology] 超微細技術

ナーバス [nervous] 神経質な。細部にこだわる。ナーバス

ならびに [並びに]

「及び」がどこにもないところでは「並びに」は使えない(お呼びでない)。

ナレッジマネジメント [knowledge management]

社員が業務で得た個別の知識やノウハウを企業全体で一元管理・共有し、問題解決や新商品開発に役立てようとする経営手法

なお、知ったかぶりは英語で pretense of knowledge という。

[に・ニ]

ニギル [握る]

主に予算関係で、正式な協議や儀式の前に、事務方で落ちどころを決めること。

ニサ [N I S A] 原子力安全・保安院

Nuclear and Industrial Safety Agency

なお、英文名については、当初エネ庁同様、Agency を頭に持ってきて Agency for Nuclear and Industrial Safety とすることとしていたが、これだと略称が「ANUS」とされることが危惧されたため現行の「N I S A」に落ち着いた経緯がある。

にちいききょじゅう [二地域居住、bi-habitation] → [常磐自動車道の延伸]

都会に暮らす人が、週末や一年のうちの一定期間を田舎の農山漁村で暮らすもの。例えば、宮城県の「湘南地方」といわれ、気候が温暖で海の幸・山の幸に恵まれた宮城県亶理郡山元町に週末や夏場数週間（又は数箇月）滞在して過ごし、残りを川崎市や千葉市幕張町で過ごすこと。団塊の世代の大量退職で、都市住民に広がることが予想される生活様式。マルチハビ

テーション（マルハビ）も類似の考え。そのためにも常磐自動車道の早期全線開通が待ちどおしい。

なお、秋田県との二地域居住を考えている人もいるが、秋田といえば「秋田美人」である。日本三大美人の一つで、他は京美人、博多美人といわれる。秋田美人の特徴は、色白で二重。なぜなのか。日照時間が短い、冬に乾燥しない、県内を流れる雄物川の水に漂白作用があるからーなどと、いろいろな説が乱れ飛ぶ。その中で某氏が強く信じるのが「ロシアの血」説。彫りが深く、目はぱっちりとしたかわいらしさが、西洋人を感じさせるからだという。そういえば、秋田を代表する「なまはげ」も、男鹿半島に流れ着いたロシア人だとする説がある。

ところで全国の市町村数。昭和60年頃の我が国の市町村数は3,253（ミニコミュニティと覚えている）。平成22年3月末の市町村数は1,728となるとのこと。平成22年3月8日、1889年市制・町村制の施行以来、初めて全国の市の数（784）が、町の数（783）を上回ったが、同月末時点での市町村数は、786市、757町、そして185村となる。

I want to live quietly in the countryside after retiring from work.

ニッチ[niche] 特定分野。領域

ニッチ産業[niche industry] すきま産業。マーケットの中で誰も目をつけていないか、あまり開発されていない部分に新商品や独自の工夫で進出する産業。ニッチビジネスともいう。

ニート [NEET, not in employment, education or training]

無職の人。若年無業者。15～34歳の人のうち、職業にも学業にも職業訓練にも就いていない（就こうとしない）人

にばんぞこ [二番底]

景気が下降して底を打ち、横ばい又は上昇した後、再び後退して2回目の谷に至ること。

にん [人]

人の数は、「二名連記」のような慣用がある場合を除き、[名]を用いず「人」を用いて表記する。

[KDH新定款]

第8条 本法人の評議員は、3人以上12人以内とする。

ところで、日経ビジネス(2011.07.05号)に「覚えておきたい数え方の違い」が掲載されている。

「1人」と「1名」

人の数え方には、「人」と「名」がある。

「名」は字が示すとおり、名前が分かる人を数える時に使う。例えば、名前が全員分かる新入社員研修の場合、参加者は「20名」。無記名参加の無料セミナーの参加者は「100人」と数える。

「名」には人を丁寧に扱う効果もある。「1人、2人・・・」と数えるより「1名、2名・・・」の方が丁寧だ。飲食店では「2名様、ご来店です」とは言うが「2人様」とは言わない。もし「人」を使うなら、「お」をつけて「お2名様」と言う必要がある。

「1度」と「1回」

繰り返すことが予想できなければ「度」を使い、予想できるなら「回」を使う。例えば運動会は、「第10度」とは言わない。「第10回」となる。「2度あることは3度ある」と使うが、「2回あることは3回ある」とは言わない。回を使うと、繰り返されるのが当たり前になるからだ。

「1匹」と「1頭」

基本的に「頭」は、人間が抱えられないほどの大きさになる哺乳動物を数える時に使う。犬は大型犬の場合に限り「頭」で数えるが、基本は「匹」。ただし、例外があり、盲導犬、警察犬、救助犬は大きさにかかわらず「頭」で数え、希少な動物や昆虫類も「頭」で数える。このため、大事にしているペットなどは「1匹」とは言わずに「1頭」と数える人も多い。「頭」より「匹」の方が存在が軽く感じられるためという理由もある。

にんいきてい [任意規定]

公の秩序に関しない規定。

任意規定は、当事者の意思表示がない場合又は明らかでない場合に備え、その空白部分を埋め又は不明の部分を明らかにする目的で作られたものである。「定款に別段の定めがあるとき」というような用法が採られる。

契約法の大部分は任意規定である。

にんか [認可]

第三者の行為を補充して、その法律上の効力を完成させる行為をいう。すなわち国の監督手段として、国がある行為に同意を与え、法律上の行為を完成せしめるものである。認可は効力要件。

ニンビー [NINBY] not in my backyard の略

「ないと困るけど、決して我が家の裏庭だけには来て欲しくない」を意味する。我が国では、原子力施設の立地の際に多用されてきたが、中でも差し迫ってきているのが、高レベル放射性廃棄物の処分場問題である。

[ね・ネ]

ネガチェック [negative check]

誤りや問題がないかのみのチェック。[対] ポジチェック

内閣府公益認定等委員会の定款審査チームの新定款の審査は、ネガチェックを基本としているとのこと。

ネクストイレブン [next eleven, N-11] → [BRICS] [VISTA]

ゴールドマンサックス証券が、2007年の経済予測レポートの中で、BRICSに続き急成長が期待されるとした次の11の新興経済発展国家群。

イラン、インドネシア、エジプト、韓国、トルコ、ナイジェリア、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、メキシコ

ネグル [neglect] 無視する。

ネゴ [negotiation] 交渉。協定。取引。

交渉力はKDHマンに求められる資質として今後ますます重要となることが見込まれる。タフネゴシェーター

ねんじてんけん [年次点検]

毎年1回、原則、停電して行う「年次点検A」と、3年周期で変圧器絶縁

油の試験や高圧引込ケーブルの絶縁抵抗測定等、より精密な点検を行う「年次点検B」がある。

[の・ノ]

のうがき [能書き] → 「お経」 参照。

飲むときにいちいちワインについて能書きをたれられるのがいやだという人が少なくない。

ノウハウ [know-how]

技術情報。産業上利用できる技術的な秘訣。ものごとのやり方。

データ、資料、図書、業務方法、知識など広く事業活動に有益な情報を指し、営業秘密として厳重な管理がされていれば不正競争防止法の保護を受けることができる可能性がある。

しばしば「失敗はノーハウの宝庫である。」といわれる。

ただ高度情報化が進展した現代は「ノーハウ (know-how)」の時代ではなく「ノーフー (know-whow)」の時代であるともいわれている。本当に役立つ情報、価値ある最新の情報は「人」が持っている。それなりの人脈がなければ、情報は入手できない。常日頃から「人脈」を開拓し、「ヒト持ち」になるよう努めることが重要である。

ところで、企業経営においてはノウホワイ (know-why) という概念も重要であるといわれている。どうやるかではなくなぜやるかである。

ノーサイド [no side] 敵味方なし。

ラグビー用語では試合終了。

平成 22 年 9 月 14 日に行われた民主党の代表選挙で、選挙後の挙党体制の構築の必要性を強調する際にしきりに使用された。代表戦は資質なき者と資格なき者との戦いといわれたが、結果は前者である現職の圧勝に終わった。

ところで、この選挙戦後の就任会見で「騎兵隊内閣」とでも名づけたいといったのはいいが決意の程がみえない。高杉晋作には決起に際し同志を口説いたこんな都都逸 (七七七五) がある。

「真 (しん) があるなら 今月今宵 明けて正月 誰も来る」

ノジュール [nodule] 団塊、小瘤 (しょうりゅう) → 団塊の世代

マンガン団塊 (manganese nodule)

ノブレス・オブリージュ [noblesse oblige 仏]

高い身分に伴う義務。身分の高い者、豊かな者はそれにふさわしい義務を果たす必要があるということ。

第 1 次世界大戦の戦死者を見ると、イギリスでは下士官 (大体貴族出身) の死亡率が非常に高く、ロシアでは一般兵士の死亡率が高かった。この違いがその後イギリスでは貴族が存続し、ロシアでは革命で追放されてしまった原因かも知れない。

ところで、ドイツの文豪ゲーテの言葉。

「財を失うことは小さく失うことである。

名誉を失うことは大きく失うことである。

勇気を失うことはすべてを失うことである。」

ノベルティ [nobelty] ノベルティ・グッズ (nobelty goods)

贈呈用公告物。KDHは協会名などをカレンダー、クリアファイル、ボールペン、うちわなどに入れて一般に提供している。

ノルマ [norma ロシア語]

(上司や自分が決めた)一定期間内に達成すべき仕事量。ノルマには否定的な響きがあるが、いい面もある。それは仕事をする上で、何を優先していけばいいのか、その道しるべの役割を果たしてくれることが指摘されている。なお、この用語集の作成には特にノルマは課されていない。

その昔、某野村證券はノルマがキツイことからノルマ證券と揶揄されたことがある。

のれん代 [のれん代]

買収額と正味財産の差

ノンポリ [nonpoli] 英語の nonpolitical の略。

政治運動に関心が無いこと。あるいは関心が無い人。ポリシーがないという意味はない。

ノンポリリジカル [ノンポリ理事カル]

ノンポリラジカルではない。

ノンリコースローン [nonrecourse loan] 非遡及型融資

借り手が融資を返せなくなり、担保を処分してそれが残債に満たない場合でも、それ以上の返済を求められない融資。貸し手はリスクを金利に上乗せする。

[は・ハ]

バイアス [bias] かたより、ひずみ、偏位。

一般にある動作の動作基準点に何らかの作用を加えてかたよらせること。

[例] その件は某氏を通して聞くとバイアスがかかるから直接本人に確かめた方がいいよ。

なお、「日常性バイアス」とは、異変を目前にしながらも「これは異常でない」「たいしたことない」とつい思ってしまいがちな傾向を指す災害心理学の言葉

You are biased if that's what you think. (それは君のひが目だ。)

ハイエンド [high-end] 最高級品。高額高性能製品

バイオマス [biomass] 生物由来資源

ハイブリッド [hybrid] 複合型。

「雑種の、混合の、混成の」の意味で複合語をつくる。[例] ハイブリッド車

ハインリッヒのほうそく [ハインリッヒの法則] (Heinrich's law)

(Heinrich: 1940年頃のアメリカの損害保険会社の調査部長)

1件の重大災害(失敗)の陰には29件の軽傷事故と300件のヒヤリ・ハットがあるとするもの

バイ [bi~] 二者間で。第三者を交えずに。[対] マルチ

はきゅうじこ [波及事故]

1軒のお客さまの高圧設備の電気事故が原因で、付近一帯を巻き込んで停電を波及させてしまう事故。停電に伴う社会的影響と損失は大きいものがある。

パーキンソンのほうそく [Parkinson`s law] パーキンソンの法則

「仕事の量は、完成のため与えられた時間を満たすまで膨張する。」という法則と「支出の額は、収入の額に達するまで膨張する」という二つの法則からなるもので、英国の歴史・政治学者シリル・ノースコート・パーキンソンによって提唱された法則。

パーキンソンの法則は、官僚制との関係で以下のように指摘できるとする。

- ・ 役人はライバルではなく部下が増えることを望む。
- ・ 役人は相互に仕事をつくりあう。

そういえばKDHでもこの法則の指摘する弊害が特に・・・。

バグ [bug]

電算用語でプログラムの誤りをいう。「バグる」と動詞化して、コンピュータのソフトウェアが動作不良を起こすこと。仕様に定められていない予定外の動作を起こすこと。

ばくまつのしりょう [幕末の資料]

最新バージョンでない資料を誇張しているときに使用する。因みに企画本部では1週間前の資料を指すことが多い。

[例] そんな幕末の資料をみて話しているから、議論がかみあわないんだよ。

はじめて [初めて、始めて]

初は「最初」を意味し、始は「開始」を意味する。

「はじめて」という副詞には、「初めて」と記す。「始める」という動詞はあるが、「初める」という動詞はないので、動詞には必ず「始」を用いる。一方、名詞にあっては、「初め」は時間的な始まりに、「始め」は物事の始まりに用いる。[例：年の初め、仕事始め]

なお、「企画本部をはじめ総務本部、保安本部等各本部では・・・」というような用例で「はじめ」を漢字で表記するときは、「始め」を用いる。

バージョン [version]・・・版。

[例] ○月○日バージョンの資料。資料が多くてどれが最終バージョンなのかわからなくなった。

パース [perspective] 俯瞰図。鳥瞰図。姿図。透視図

バスケットクローズ [basket clause] 包括条項

法令などで何かを規定するとき、

- 1 ○○
- 2 ●●
- 3 □□
- 4 ・
- 5 ・

と個別具体的に限定列挙していき、それだけでは規定しきれない場合や、弾力的に運用する余地を残そうとする場合、幅広に対象としようとする場合などに、

6 その他△△なもの

などの形で包括的に規定することがあるが、こうした規定（表現）を「バスケットクローズ」という。

[具体例]

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第89条で具体的に示せば以下のとおり。

(理事の報酬等)

第89条 理事の報酬等（報酬、賞与その他の職務執行の対価として一般社団法人等から受ける財産上の利益をいう。以下同じ。）は、定款にその額を定めていないときは、社員総会の決議によって定める。

という条文の中の「・・・その他の職務執行の対価として一般社団法人等から受ける財産上の利益をいう。」は、条項が独立していないが「バスケットクローズ」的用法の一例である。

ところで、ここでいう理事の報酬等については、職務執行の対価と定義され退職手当を含むものとされている。要は「法律上支払いが義務付けられているもの」が職務執行の対価となる。ただ、役員賞与の税務については、役員賞与は「法人の利益の分与」であるにとらえられており、法人税法上損金処理が否定されている。

バックオフィス [back office] → [アドミ]

事務管理部門。KDHでいうと、企画、総務、経理などの非営業部門。

パーセプションギャップ [perception gap]

同一事項に対する反応が違うこと。

バーター [barter] (同レベルの) 交換

はっちゅう [発注] 仕事・作業の依頼。

バッドスタート [bad start]

高校や大学を卒業した直後の初職非正規であったりして躓くこと。

日本の就職事情においては、bad start は人生の bad finish となることが指摘されている。

ハードコピー [hard copy] → ソフトコピー

プリンタによって、情報を紙に印刷すること。

バッティング [butting] 内容・権限領域の重複。鉢合わせ、予定が重なること。

パネルディスカッション [panel discussion] → [シンポジウム] [ティーチイン]

公開討論会の1形式。問題となるテーマについて専門的知識を持ち、しかも異なった立場や意見を持つ数名の論者（パネリスト：panelist）が座談会形式で討議を進め、後には聴衆が質問を通して討論に参加する。

バッファー [buffer] 緩衝帯物。中間領域

パフォーマンス [performance] 実行。演技

例としては、台風9号の襲来の際、某理事が本部執務室の中を長靴でウロウロしたことなどが挙げられる。

パブリックコメント [public comment] 意見公募

行政などが規制の設定や改廃をするとき、原案を公表し、国民の意見を求め、それを考慮して決定する制度。米国から取り入れた制度。本制度が単なるアリバイに使われているという指摘も少なくない。

パラ [parallel] 複数の案件を同時並行的に進める際に使う。

パラグラフ [paragraph] 文章の一区切り。段落。

パラサイトシングル [parasite+single]

親と同居して独身生活を享受する人。

平成9年（1997年）に社会学者の山田昌弘が用いた和製語

パラダイム [paradigm] 規範。枠組み。時代を反映する思想・考え方。

平成21年9月の政権交代は、我が国社会の「パラダイムシフト（大転換）」をもたらすものとなるのか。

パラドックス [paradox] 逆説。背理

矛盾しているようにみえて、しかも正しい理論。一見誤りのようで、実は多少の真実を含んだ言説。

〔倹約パラドックス〕：人々が倹約により消費支出を減少させると結果としてより多くの経済生産の現象を招く。個人レベルでは筋の通った賢明な判断（支出の切詰めと貯蓄の増加）であるものの、マクロレベルでは経済全体の悪化を引き起こすような事態

バランスシート [balance sheet] →貸借対照表

ぱれーとのほうそく [パレートの法則] 80対20の法則

イタリアの経済学者ヴィルフレド・パレト (Vilfredo Federico Damaso Pareto) が発見した説。

投入したことなどのわずかな部分 (20%) が、結果などの大きな部分 (80%) をもたらすという法則で、以下の事象等が当てはまるとされる。

- ・ 顧客の 20% が利益の 80% に貢献
- ・ 20% の時間が 80% の成果を出している。
- ・ 経費の 20% をコントロールできれば、経費全体の 80% に影響を及ぼすことができる。

パワーハラスメント [power harassment 和製英語] パワハラ

職場内の人間関係における、いじめや嫌がらせ。上司が部下に対して、また高い職能を持つ者がそうでない者に対して行う嫌がらせなど。

KDHにおいても散見されないわけではない。心ある職員は本当に怒っている。

ところで、最近「人生に七味あり」という小説が出た。

① うらみ、② つらみ、③ ねたみ、④ そねみ、⑤ いやみ、⑥ ひがみ、⑦ やっかみ。この7つの味が人生に深みを与えるというのだ。そういえば、Such is life. (人生とはそんなものだ) というのは高校英語で習ったフレーズであるが、なんか味わい深いものがある。

パワービルダー [power builder]

特定の地域に密着し取得した土地に間取りや設計などを限定した割安な住宅を建てて分譲する住宅メーカー

ところで、住宅といえば、数え方によって高級感を出す方法がある。

戸建て住宅は「1戸」や「1棟」ではなく、邸宅の「邸」を使って「1邸」と数えた方が建物が立派に聞こえる。

パワーユーザー [power user]

パソコンユーザーの中で特にその使い方に習熟した人

バーンアウトシンドローム [burn-out syndrome] 燃え尽き症候群

仕事以外に生きがいのないサラリーマンが、定年日前のある日、突然、無気力状態に陥るもの。頭痛、めまい、不眠症などの症状を呈する。

はんかんひ [販管費] 販売費及び一般管理費

パンデミック [pandemic] 病気の世界的、広域的広がり

You must wash your hands and gargle right after you come inside.

(外から帰ってきたらすぐうがいをするべきだ。)

パンドラのはこ [パンドラの箱]

古代ギリシャの寓話。天から火を盗み取ったプロメテウスの弟の妻パンドラは神々から「決して開いてはならない」と受け取った箱を開けた。中から怒り、悲しみ、疫病などあらゆる災いが飛び出し世界を埋めた。

バンドワゴン [bandwagon] 時流に乗った人気のあるグループや人物

平成 21 年 8 月 30 日の衆議院総選挙は、バンドワゴン効果で民主党が圧勝し政権交代となった。

[ひ・ヒ]

ビーオーピー [BOP、Base of the Economic Pyramid]

途上国の購買力が比較的低い層

ピッグス [PIGS、Pigs、PIIGS]

PIGS は、当初、ユーロ圏の南欧 4 か国のポルトガル、イタリア、ギリシャ及びスペインの頭文字をとった略語。これにアイルランドを加えて PIIGS と呼ばれることもある。いずれも近年経済的に苦境に陥っている。英語で「豚」を連想させるこの略語は、2008 年から侮辱的な意味を込めて米英の金融報道で使われるようになった。

なお、ギリシャ経済が崩壊した後、ドミノ倒しに危機を迎えそうな国としては、[STUPID] がある。スペイン、トルコ、英国 (UK)、ポルトガル、イタリア、ドバイ (Dubai) である。因みに DEBT はドバイ、EU、ブラジル、トルコで、SICK はスペイン、アイスランド、コロンビア、カザフスタンである。

びかんゆうそう [美・感・遊・創]

元通商産業事務次官福川伸次氏がかつて唱えた「これからの市場のキーワード」。今でも色あせない言葉とするためには、健康と環境を加えることが必要か。

大和ハウス工業 (株) 会長樋口武男氏は、21 世紀ビジネスの成長のキーワードは「明日不可欠の」を提唱している (H21.7.27 日経朝刊)。

あ：安全・安心、す：スピード、ふ：福祉、か：環境、け：健康、つ：通信、の：農業。KDH の成長キーワードは「あしたの糧?」、安全・安心、(業務の) システム化、(明確な) ターゲットの設定、ノーアポ 10 万軒の活用、環境、テクノロジー?

ひげんていれっきょ [非限定列挙]

非限定列挙とは、「等」や「その他」の用語を用いて類似の名詞を類推させる場合の用法である。この場合「等」を用いるのが一般的である。名詞をすべて「、」で結び、最後に「等」を付けるが、「等」は「及び」又は「又は」と併用しないのが基本的なルールである。

なお、[等] は「など」とは読まないもので、「など」と読ませたければ平仮名で書くしかない。

法令では、「等」を用いるのが原則である。

ビジョン [vision] 未来像。将来に対する構想。夢

かつて MITI が 10 年ごとに策定したビジョンのスローガンは以下のとおり。

1960 年代「重化学工業化」

1970 年代「知識集約化」

1980 年代「創造的知識集約化」

ビジネスモデル [business model] 利益を生み出す仕組み、手法

顧客に、ある価値を提供するときの手段と利益を生み出す仕組みのことで、その構成要素として次の3つが挙げられる。

- ・ 顧客に提供する価値
- ・ 儲けの仕組み
- ・ 競争優位性の持続

ビジュアライゼーション [visualization]

視覚化、図表化。抽象的な事柄を見てわかるように図示化すること。

ビジュアル [visual] 視覚的。

作成する資料に訴求力を持たせるためには、ビジュアル化することが不可欠の要請となる。

容貌のいい男性は「ビジュアル系」

ピーターのほうそく [The Peter Principle] ピーターの法則

人々は、あるヒエラルキーの中で昇進していくうちに、いつか無能のレベルに到達する傾向があるとする、組織構成員の労働に関する社会学の法則。つまり、ある階層で能力を発揮した人でも、階層が上がると途端に無能となるとの説で次のようにいわれている。

1. 能力主義の階層社会において、人間は能力の極限まで出世する。その結果、有能な平（ひら）構成員も無能な中間管理職になる。
2. 時が経つにつれて人間は悉く出世していく。無能な平構成員はそのまま平構成員の地位に落ち着き、有能な平構成員は無能な中間管理職の地位に落ち着く。その結果、各階層は無能な人間で埋め尽くされる。
3. その組織の仕事は、まだ出世の余地のある、無能レベルに達していない人間によって遂行される。

要約すれば、階層組織の構成員はやがて有効に仕事ができる最高の地位まで達し、その後更に昇進すると無能になる。この地位はその人材にとって「不適當な地位」であり、もはや更なる昇進は望めない。このようにしてある人材はその組織内で昇進できる限界点に達する。この場合高い地位が必ずしも難しい仕事であるという意味ではなく、単純に前に優秀であると評価された仕事と仕事内容が異なるだけで、要求されるスキルをその人材が持ち合わせていないだけである。

つまり、「仕事は、まだ不適當な地位にまで達していない人材によってなされるのである。」

ピーディシーエーサイクル [PDCA cycle]

製造業や建設業などの事業活動において、品質管理等の業務の計画的かつ適切な運営を確保するための管理マネジメントサイクルの一つ。

Plan(計画)-do(実行)-check(評価)-action(改善) cycle のこと。

PDCAサイクルは、第二次世界大戦後に品質管理を構築したエドワーズ・デミング (W. Edwards Deming) らによって提唱された。

決して porno-dirty-crime-Araki (荒木経惟：あらきのぶよし) に由来

するものではない。

ビトー [veto] 拒否権

ある事柄について拒否（断ること）する権利

吉田茂元首相の側近で、連合軍総司令部（GHQ）と渡り合った白洲次郎は「従順ならざる唯一の日本人」と高く評価され、「ミスター・ビトー（拒否権）」というあだ名もついたとか。

ビートゥビー [B to B business to business] B2Bと表記することもある。

電子商取引分野における企業間取引。

[B to C、B2C、business to consumer] は、オンラインショッピングなど、電子商取引における企業と消費者の取引。

なお、電子商取引を超えて、消費者同士のやりとりを[C to C (consumer)]、企業内における社内情報伝達システムを[C to E (employee)]と表すようになってきた。

ひとにはつげよあまのつりぶね [人には告げよ海人の釣り船]

サラリーマンにはとにかくストレスが多い。それを癒すのが帰りがけの一杯。差しつ差されつしながら上司の悪口を言ってその日の憂さを晴らすのである（労働組合は酒場から生まれたといわれる所以）。だからこそ酒は、心の憂さを拭き払う「玉箒」（たまははき）と呼ばれる。ところがその時に割り勘負けをしないようにと、自分にばかり注いでいたりするとそれ自体がもめごとの原因になったりする。まず人についてから自分の猪口につぐ、これが礼儀だ。「わたの原八十島かけて漕ぎ出でぬと人にはつげよ海人の釣り船」（百人一首11番、小野篁）ととっくりにも書いてあるではないか。

また、酒といえば若山牧水の次の歌が有名である。

白珠の歯にしみとほる秋の夜の酒は静かに飲むべかりけり

でも、某氏曰く「やっぱり、酒は爛、肴（さかな）は気取り、酌はタボ。」と。人肌のお爛、肴は気の利いた刺し身、それに若い女性のお酌があればこの上なしということか。

（注）髷（たぼ）は、日本髪の後ろに突き出た部分（若い女性の“たとえ”）。まさに酒は心の栄養である。酒は心を潤し、弱っていればこれを蘇らせ、乱れる心も次第に纏まる。

この歌を読むと、牧水は酒の飲みすぎのため歯槽膿漏がかなり進行していたことが分かる。幕末の土佐藩主山内容堂も大酒呑みで鯨酔候と呼ばれたが、彼も歯がガタガタだった。小御所会議に酩酊状態で出席し、失言を繰り返して、岩倉具視に罵倒されたくらいだ。どこかの国の財務大臣みたいだ。因みに牧水は肝硬変のため43歳で、容堂は脳溢血のため45歳で死んでいる。お酒はほどほどに。とは言うものの、幕末の歌人、大隈言道（おおくまことみち）の酒の歌にこんなものが。

今日は今日あらん限りは飲みくらし明日の憂は明日ぞ憂へむ

（アセトアルデヒド）

ところで、免疫を調査しているグループの研究結果によれば、アルコールが分解してできる有害物質（アセトアルデヒド）を解毒する酵素（ALDH2）を二つ持っている人は、「飲まないより、飲んだ方がよい。」ということが判明したとのこと。ただし、これには「一日二合まで。」と「嫌いな人とは飲まないこと。」の条件が付く。好きな人と一日二合までぐらいを飲

むと、酒を我慢して飲まないときに比べて免疫が上昇するとのこと。「酒と何とかは二合(号)」までと昔から言われていたのは理由があったのである。

(注) ALDH2 の遺伝子は父と母から受け継いでいて、両親から一つずつ計2個のALDH2を受け継いだ場合は、酒にとっても強い人になるとのこと。一つだけ受け継いだ人は、弱いけれども少しは酒が飲めるが、一つも受け継いでこない場合は、全然酒が飲めない体質になるとのこと。日本人は父母の双方ともALDH2を持っている人が約半数しかいないとのことであるが、KDHの常勤役員はすべてがALDH2を二つ持っているものと強く推察されるところ、驚くべき比率ではある。

いずれにしても我が国には万葉集の時代から愛飲家を元気づける歌あるが、大宰帥(だざいのそち)大伴旅人は万葉集巻三に酒を讃(ほ)めた13首を残している。以下はそのうちの3種。

古(いにしえ)の七の賢(さか)しき人たちも
欲(ほ)りせし物は酒にしあらし
あな醜(みにく)賢(さか)しらをすと酒飲まぬ
人をよく見ば猿にかも似む

(大意: ああ醜い。賢そうにして酒を飲まない人をよくよくみたら、猿に似ているようだ。)

価(あたひ)なき宝といふも一杯(ひとつき)の濁れる酒に
あに勝(まさ)らめや

なお、サントリー宣伝部出身の作家、野村正樹氏の話。

「新入社員ならトリス、若いうちはレッドかホワイト、中間管理職で角瓶あるいはオールドに。部長でリザーブ、役員クラスでローヤル。かつては昇進とともに飲むウィスキーも出世した。」これは昭和30年代後半から50年台頃までの話であろうか。

アルコール中毒は差別用語(アルコール依存症というべき)であるが、アル中といえは唐人お吉の次の都都逸が有名。

どうせ正気で 世渡りできぬ ままよ剣菱 鬼ごろし

(注) 日本酒のブランドとしては最古とされる剣菱ほど歴史の舞台に登場する日本酒はないかもしれない。赤穂浪士が討ち入り前、両国の蕎麦屋2階で出陣を祝い鏡を抜いたのは剣菱。自らを「鯨海酔候」と称した土佐藩主、山内容堂も手放さなかった。また徳川将軍家の「御膳酒」でもあった。剣菱が最初に記録に登場するのは室町時代の1505年(永正2年)。

江戸時代後期の文人、頼山陽は剣菱の長寿の秘訣をこう記した。

「質実であれば変動せず、変動しなければ永続する。」

今の醸造元である剣菱酒造の白檉達也社長の信条は「愚直に酒造りに励めばブランドは保たれ輝きを増す。」

(注) 根強い愛飲家に支えられている塩竈の銘酒「浦霞」は、以下の歌に由来しているらしい。読み方は「うらかすみ」である。「うらがすみ」ではない。宮城県人はゆめゆめ間違いのないように心がけているとか。

塩竈の浦の松風霞むなり
八十島かけて春や立つらん
源実朝(金塊和歌集)

(注) 日本酒好きの間で垂涎のブランドとして知られる銘酒「十四代」は、

当時25歳の若者で、「日本酒業界のイチロー」こと高木顕統（たかぎあきつな）が造った。蔵元の名前は山形県村山市の高木酒造。豊かなコクと爽やかな後味、りんごや梨、メロンなどを思わせる上品な味わいが特徴で、日本酒好きには絶大な人気を誇る。女性にもファンの多いことで知られる。
I have to be careful about alcohol consumption around the end of the year.
I have to be careful not to drink too much for the sake of my liver.

（注）10月1日は「日本酒の日」でもある。由来は十二支の10番目の酉（とり）。もともと酉の字は壺（つぼ）の形を表す象形文字で、酒を意味するというのが来歴

ひやくにんいっしゅ [百人一首]

- ・ 智ではじめ徳でおさめる小倉山
（天智天皇ではじまり、順徳院で終わっている）
- ・ 食うことがまず第一と定家撰（よ）り
（百人一首の最初は天智天皇の「秋の田の・・・」）
- ・ 御父子して千と百とをおんえらみ
（藤原俊成は「千載集」をえらび、その子の定家は「百人一首」をえらんだ）
- ・ 真白（まっしろ）な名歌を赤い人が詠み
（「田子の浦に・・・白妙の・・・」は山部赤人が詠んだ）
- ・ お宅はと聞かれたように喜撰詠み
（我が庵は都のたつみ・・・）

ところで、短歌であるが織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が「電話のある時代に生まれていたら・・・」。歌人の大島史洋（おおしましやう）に愉快的な3首がある。

- ・ 信長がこの世にあらば嬉々として携帯電話を使いしならむ
- ・ 秀吉がこの世にあらば電話ののち更にファクスで念押しをせむ
- ・ 家康がこの世にあらば人を見て留守番電話に委ねしならむ

ひよう [費用] 戻ってこない必要な出費

ひようじゅんしよりきかん [標準処理期間]

行政手続法（平成5年11月12日法律第88号）6条に規定する「申請」に対する行政庁の標準的な処理期間。

KDHは、平成22年7月6日（大安）に整備法45条の規定に基づき、内閣総理大臣あて一般財団法人への移行認可申請を行ったが、平成23年2月に至っても認可が下りていない状況にある。

そこで、行政手続法に定める標準処理期間の関係が問題となるが、本件申請に対する処分については、同法6条に定める標準処理期間が設定されておらず内閣府に同条違反の責任を問うことはできない。

そもそも行政手続法6条は、処分の性質上行政庁の責に属さない事情により処理（審査）に要する期間が変動するものなどについては、この期間を設定することが困難な場合があり得ることからあくまで努力義務となっていることもあり限界がある（内閣府は整備法45条に係る申請について標準処理期間を設定していない。）。

なお、内閣府のホームページ「特定の日に移行登記を希望される法人の皆様へ（内閣府からのお知らせ）」によれば、「内閣府では、「迅速かつ柔軟に」をモットーに、法人の皆様の協力を得て、申請から4か月を目安にスピー

ディーに審査を進めることを目標にしておりますが、・・・・・・] とあるが
何とも白々しいことではある。

ひょうそく [平仄]

通常「平仄をそろえる」という使い方で、「様式を統一する」という意味で
用いる。KDHの資料には「平仄が合っていない」ところが散見されると
の指摘が少なくない。

平仄が合わない：つじつまが合わない。

[ふ・フ]

ファインチューニング [fine tuning] 微調整

ファストリテイリング [fast retailing]

ファストフードのようにいつでもどこでも誰でもすぐ食べられる（着られ
る）小売業（retailing）のことで、アパレル業界では顧客要望の即商品化
という企業理念が込められている。

ぶいじかいふく [V字回復、V-Shaped Turnaround]

企業収益が中長期的に下降線をたどっていたものが、アルファベットのV
の字の形のように急激に上昇基調に転じること。

KDHも前中計中（平成19～21年度）の戦略的投資によって創出され
た効果要員を活用し一層の利益確保と収益拡大を図り、平成22年度は、
確実にV字回復軌道に乗せ、翌23年度には黒字転換を目指すこととして
いる。この意味で22年度はKDHにとって正念場を迎えているのである。
平成22年3月に神様の前で理事長に約束した必達成目標については、理
事長から「Can you follow through?（最後までやり遂げられるの?）」の
ニュアンスのコメントのあった事業本部もあったが、残念ながら「Trust
me!」はあてにならないのが昨今の風潮である。

フィージビリティ [feasibility] 実行が可能なこと。実現可能性

平成22年12月3日の事業本部長会議で、フィージビリティを重視するあ
まり、目標を低めに設定して某専務理事から叱られていた事業本部があっ
た。

フィードバック [feedback] (情報・質問を受ける側からの)反応、意見

フィードフォワード [feedforward] [対] フィードバック

実行に移す前に欠陥を予期して行う修正・制御

フィルタリング [filtering] 選別

情報の必要なものと不必要なもののより分け

フェイストゥフェイス [face to face]

面と向かって（何かをすること）。一対一

フェーズ [phase] 局面。様相

フェータル [fatal] 致命的。運命的

フェチ [fetishism] フェティシズムの略。病的な固執（心理学）

フェティシズムは、人類学・宗教学では呪物崇拜、経済学では物神崇拜と訳され、
また、心理学では性的倒錯の一つのあり方で、物品や生き物、人体の一部などに性
的に引き

寄せられ、性的魅惑を感じるものをいうとされている。現代の日本でフェティシズ
ムという場合、上記のうち心理学的な意味における「性的フェティシズム」を指す

ことが多い。本来、精神医学ではかなり深いこだわりを指すものであるが、省略形・俗語でフェチともいい、単なる性的嗜好程度の意味で使われている。フェティシズムを向ける対象をフェティッシュ (fetish)、フェティシズムの志向を持つ人をフェティシスト (fetishist) という。

ところで、フェチについては近年俗称・誤用がはびこっており、俗称の「フェチ」が市民権を得ている状況となっている。かつては隠微なものであった特殊な嗜好も、「フェチ」という言葉が一般化し、脇フェチ、二の腕フェチなど一層再分化され、パーツへのこだわりという現象が顕著になってきている。また眼鏡フェチ、鎖骨フェチ、声フェチなどといった言葉で語られる女性の男性に対するパーツ化された嗜好が一般に語られるようになってきている。財界人の中にも「お墓参りフェチ」を広言している人もいる。いまだ「用語フェチ」なる言葉はない。

フェティシズム [fetishism] → [フェチ]

フォローアップ [follow-up] 追跡調査

ふくし [副詞] → [接続詞]、[連体詞] [はじめに]

特定の用言（動詞、形容詞及び形容動詞をいう。）を修飾する言葉。

副詞の場合、「かなり、ふと、やはり、よほど」の4つの用語を除いては、[余り]、[既に]、[特に]などのように漢字で表記するのがルールとされている。ただ「はじめに」は平仮名で表記することも認められているようだ。

ふそく [附則]

法令や定款は、すべて本則と附則から構成されている。この場合、附則とは本則に附属してその法令・定款の施行期日、本則の例外の扱いをする場合、法令・定款の規定等の効力の発生や停止の時点、その他法令・定款の施行に伴う経過措置等を表示した付帯的部分をいい、本則とは、この附則以外の法令・定款の本体部分を指すものである。

平たくいうと、①本則があるにもかかわらず、その例外の扱いをする場合、②任期や期間の定めがあるにもかかわらず、その例外の扱いをする場合、③その定款の規定や変更の規定等の効力の発生や停止の時点を表示するためなどに用いられます。法令における附則の表示については、「附」の字を、行の4字目から書き出し、1字あけて「則」の字が置かれている。

なお、法令・定款等の用語において「附」を使うのは、次の5つの場合に限られる。

「附則」、「附属」、「附帯」、「寄附」、「附置」

ふつうほうじん [普通法人]

法人税法上の法人の一つ。全所得に対して、普通税率で課税される。

ふみんしょう [不眠症]

不眠症には次の4つのタイプがある。

- ・寝付きが悪い（入眠障害）
- ・眠りが浅い（熟睡障害）
- ・夜中に目が覚める（中途覚醒）
- ・目覚めが早すぎる（早朝覚醒）

プライオリティ [priority] 優先順位

プライベートブランド [private brand] 自家商標。PB

スーパーなどの大手小売業者が自社の顧客に合わせて独自に開発、一流メーカーに発注し商品化したものに付ける自前の商標

プライマリーバランス [primary balance] 基礎的財政収支

ブラインドタッチ [blind touch 和製英語]

コンピュータのキーボードを見ないで打つこと。

KDH本部で毎朝ブラインドカーテンに触れているからといってブラインドタッチができるとは言わない。

プラスサム [plus sum] → [ゼロサム]

全体が拡大することにより、各部分もそれぞれ同時に拡大し得る環境

ふりかえきゅうじつ [振替休日、振休] → [代休]

フリーク [freak] ～狂

ある事柄に対して異常に心酔する者。しばしば「マニア」と同義語で用いられる。

She is a cleanliness freak, and won't even use the straps in trains

(彼女は潔癖症で電車のつり革つかまるのを嫌がる。)

ブリックス [B R I C s] → [V I S T A] [ネクスト 11]

Brazil、Russia、India、China

経済成長が著しいブラジル、ロシア、インド、中国の4か国の総称。

米国の大手証券会社ゴールドマンサックス社がまとめた経済レポートで用いられた造語。このレポートによれば、現状のまま経済が発展していくと、2050年には世界のGDP上位6位までにこれら4か国が入ると予測されており、今後の世界経済の動向に大きな影響を与える新興大国群として注目されている。

中国・インドが今のまま成長していけば、10年足らずの間にもう一つの中国・インドができるほどの経済大国になる。

なお、B R I C s の s を大文字にすると南アフリカ (South africa) が加わり5か国となる。

因みに7.02%で10年連続して(複利で)成長すれば2倍になる。

ブラッシュアップ [brush up] 磨きをかける。勉強をやり直す。

フラットリー [flatly] 淡々とした表現

フランチャイザー [franchiser]

フランチャイズシステムにおける親会社

フランチャイジー [franchisee]

フランチャイズシステムにおける子会社

フランチャイズシステム [franchise system]

親会社が一定の地域内の独占販売権を与えた子会社(加盟店)に、特定の商品とサービス供給する方式

フランチャイズチェーン [franchise chain] FCと略記

フランチャイズシステム的一种。特定商品の製造や販売を行う企業が、加盟小売店に対して、一定地域での独占的販売権を与える代わりに、それら加盟小売店を直営店同様に管理する制度

フリップ [flip chart] 説明用の表・図・グラフ

講演などで説明用に使う1枚ずつめくるようになっている図解カード

フリーランス [free lance] 自由契約。無所属

freelancer は槍騎兵のことで、freelance は「どこにも属せずに報酬をもらう兵士、雇い兵」という意味。He is a freelance writer.

フリンジベネフィット [fringe benefit]

労働者に対する付加給付。本給のほかの諸手当、有給休暇、年金等をいう。
ふる [振る]

発注された作業を他に回すこと。ツケ回し。通常若手が被害を被る。

フルターンキー [full turnkey] 一括受注・発注方式

設備の運転に必要な一切の条件整備を含めた受注又は発注。

ターンキーとは、引渡し完了すれば、直ちに工場の鍵 (key) を回して
(turn) 作業に移れることで、フルターンキーはこれを強めた言い方。

元々は、プラント輸出の一形態。F O B (free on board: 船積み渡し)。

ブレイクスルー [breakthrough] 行き詰まりの打開・突破

技術などの飛躍的進歩・発展

フレックスタイム [flexitime] 自由勤務時間制

そういえば、かつて5階に遅刻しているのに肩で風切って出勤してきた某
室長がいたな〜。

プレゼンテーション [presentation] 発表. プレゼン

プレゼンは勉強してきたことを言えばいいが、真価が問われるのはその後
の質疑応答である。

フレームワーク [framework] 枠組み。骨格。構造。体制

ブログ [blog]

ニュースや事件などを日記形式で自分の意見を書き込むインターネットの
サイトやホームページ。解説者が個人の意見を表明していくことを基本と
している点が掲示板と、閲覧利用者が自由に意見を書き込める点がこれま
でのホームページと異なる。1999年頃から米国で広まった。

プロダクトアウト [product out 和製英語]

経営方法の一つで、市場の要求を考えることなしに一方的に製品やサービ
スを提供しようとするもの

プロファイ [project finding]

プロジェクト・ファインディング。タマ探し

フロンティア [frontier] 未開拓の分野。新分野。最前線。最先端

ニュー・フロンティア [New Frontier] は、米国の第35代大統領ケネデ
ィ [Kennedy] が掲げた政策目標。

ケネディ大統領といえ、1961年1月20日の次の就任演説はあまりにも
有名。当時の高校弁論大会ではしばしばこのフレーズが引用されたもので
ある。類似の文体を重ねるパラレリズム [対句法 (ついくほう):
parallelism] でリズムを生み出しており、暗記しておきたいフレーズであ
る。

so, my fellow Americans.

ask not what your country can do for you.

ask what you can do for your country.

(我が同胞のアメリカ国民よ、

国が自分に何をしてくれるかを問い給うな。

自分が国に何ができるかを問いたまえ。)

プロモーション [promotion]

販売などの促進。新規事業の発掘、推進。

商品を顧客に的確に訴求し、購入に結びつけること。

[へ・へ]

へいていつけがたい [丙丁つけ難い]

古代中国で考えられた10の要素の順列を「十干（じっかん）：甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸（こう・おつ・へい・てい・ぼ・き・こう・しん・じん・き）」というが、十干はものの階級や順位を示すために使われることもある。かつては学校の成績を表すのに甲・乙・丙・丁を用いた。これに由来して比較対象したいものを評価する場合、二つの対象がいずれも優れていて優劣つけがたいときには「甲乙つけ難い」という表現を用いることがある。まれにいずれも優れておらず下位等級でほぼ同位にある場合に「丙丁つけ難い」という場合がある。これを人物評価で用いる場合には物議をかもし可能性がある。

ヘゲモニー [Hegemonie 独] 主導権、指導権

ベストプラクティス [best practice]

経営や業務において最も優れた実践方法

ヘッジファンド [hedge fund]

少数の投資家から大口の資金を集め、ハイリスクだがハイリターンが期待できる金融商品で運用する金融機関。つまり、金持ちの財産を預かって運用している業者。

ベネフィット [benefit] → [フリンジベネフィット]

利益になるもの。ためになるもの。手当

ヘビーユーザー [heavy user] → [パワーユーザー]

パソコンをフルに活用し、利用頻度が高い人

ペンディング [pending] 保留。未決。懸案。

業績の悪い組織で行われる会議では、多くの議案がペンディングのまま終了する。

[ほ・ホ]

ほあんいん [保安院] 原子力安全・保安院→N I S A

ほあんかんりぎょうむがいぶいたくしょうにんせいど [保安管理業務外部委託承認制度]

自家用電気工作物を設置する者は、電気主任技術者を選任して電気に関する保安の監督を行わせることが電気事業法で定められているが、7,000 ボルト以下で受電する需要設備及び出力 1,000 キロワット未満の水力、火力、太陽電池等の発電所並びに電圧 600 ボルト以下の配電線路を管理する事業場の自家用電気工作物の場合は、自家用電気工作物設置者が協会等の電気保安法人又は電気管理技術者に管理を委託する契約を締結して所轄産業保安監督部長の承認を受けることにより、電気主任技術者を選任しないで外部委託できる制度

ほうえき [法益] 保護法益

法令がある特定の行為を規制することによって保護、実現しようとしている利益。規制法令の法益は何かを考えることは、その法令の解釈の指針となる。因みに、不正競争防止法の保護法益は、事業者の営業上の利益という私益と

公正な競争秩序という公益であるといわれている。

ほうれい [法令] 法律と命令

法律は国会が制定。命令は内閣が定める政令と各府省が制定する府省令に区分される。

公益法人制度改革 3 法の施行規則で示せば以下のとおり。

法人法施行規則：法務省令

認定法施行規則：内閣府令

整備法施行規則：内閣府令

なお、法人法（111 条 1 項）の任務懈怠（けたい）責任において、「理事がその任務を怠る」とは、その職務上要求される注意義務に違反することであり、法令・定款に違反する行為をしたことを意味する。そしてここでいう「法令」には、法人法に規定する理事の具体的な義務規定のほか、委任契約に基づく善良なる管理者としての注意義務（民法 644 条）を含むものとされている。理事と法人の関係は、委任に関する規定に従う（法人法 172 条 1 項）ので、理事の任務懈怠は、法人に対する善管注意義務・忠実義務の違反となる。

因みに平成 23 年 4 月 30 日現在の我が国には、1828 の法律がある。

ポジティブチェック [positive check]

案をより良いものにするための、前向きなチェック。[対] ネガティブチェック

ポスドク [postdoctoral fellow] 博士後研究員→オーバードクター

博士号（ドクター）を取得した後に任期制の職に就いている研究者やそのポスト自体を指す言葉。

ところで、全国の 4 年制大学は国公立を合わせて 773 校（文科省統計 2009 年）であるが、最近、将来の展望を持たずに大学院終了後の職をとりあえずポスドクに求めた大量の博士号取得者の就職問題が深刻化している。

なお、35 歳以上のポスドクのことを高齢ポスドクという。

ホスピタリティ [hospitality] 親切にもてなすこと。歓待。厚遇

他の保安協会からの出張者のホスピタリティには苦慮することがあるが、まあ池袋倶楽部での対応が無難なところか。

ボトムアップ [bottom up] → [トップダウン]

組織で、下部の意見を上層部が吸い上げ、経営方針などに反映させるような経営システム。ただ、ボトムアップといっても、複数の選択肢があって、これを上層部に上げる場合に、部下は上層部の意向を忖度して優先順位を決めることから結果的にトップダウンとなっているとの指摘もある。

ポートフォリオ [portfolio] 資産構成

安全性や収益性を考えた有利な分散投資の組合せ。

ボトルネック [bottleneck] (びんの口)

隘路。難関。支障。単に「ネック」ともいう。

ポピュリズム [populism] 大衆迎合主義

一般大衆の要求と支持に基づく社会・政治運動

ホールディングス [holdings] → [ホールディングカンパニー]

ホールディングカンパニー [holding company] 持株会社

その事業活動の支配のために他社の株式を保有する会社

ぽんちえ [punch] 説明のために使う簡単な図。マンガともいう。

[ま・マ]

マウスイヤー [mouse year] → [ドッグイヤー]

ドッグイヤーのアトに登場してきた革新のスピードを表す概念。通常18年で変化するような出来事が1年で変化すると考えられることから。

ドッグイヤーほどには人口に膾炙していないようである。

まえだおし [前倒し]

当初予定されていたスケジュールよりも早めにする事。

[例] 予算の執行を前倒しで実施する。

まくはりさんちょうめこうえん [幕張三丁目公園]

江戸時代幕張町は、天領として北町奉行所の配下であり当地にあった大須賀家はその代官所にあてられていた。当時の建物は昭和43年千葉市に寄贈され、現在加曽利貝塚公園の一部に「代官屋敷として保存されている。

明治15年明治天皇が市内中野町方面における陸軍対抗演習統監の際、休息所にあてられたところとしても知られる。

また、音楽家山田耕筰が幕張小学校に通った頃、このあたりに見事なからたちの並木があり、名曲「からたちの花」が生まれたといわれている。

まえびろ [前広] 幅広い観点から。様々な視点から

[例] 本件は、お客さまとの利害関係を有することが見込まれるので、法的面を含め前広に検討しておくように。

まくらことば [枕詞]

資料の冒頭に記載する決まりきった文章 [類] お経、能書き。

マクロ [macro-] → [ミクロ]

「巨大、大きいもの、巨視 (的)」の意味で複合語をつくる。

マーケティング [marketing] 市場戦略

生産者から消費者へ商品やサービスの流れを能動的に方向付ける一切の企業活動。機能的には製品計画・販売促進・広告宣伝・市場調査・物的流通などがあり、各部門の機能を有機的に統合したものを意味する。

マーケットイン [market in 和製英語] → プロダクトアウト [product out]

経営方法の一つで、市場の要求に応じて製品やサービスを提供しようとするもの。

ましじめ [増締め、retightening]

電線又はケーブル端を端子台にねじ締め接続した後、ねじの緩みを防止するために締め直すこと。

ねじの緩みは、通電後のヒートサイクル (高温と低温を繰り返すことによる金属疲労で発生する)、端子台の振動、電線・ケーブルのねじれの復元力などによって生じることがある。

マスト [must]

必ずしなければならないこと。

[例] その案件については、部長のクリアがマストだ。

マター [matter] 業務。案件。[例] この件は、役所マターだ。

かつてテレックス (古い。) で外国の貿易保険機関とのやりとりで、以下のフレーズを多用したことが思い起こされる。

We are having difficulty in dealing with this matter.

(当方、本件の対応に苦慮している。)

または「又は」→「限定列举」→「及び」

「又は」と「若しくは」の二つの言葉は、意味からいえば、どちらもいわゆる選択的接続詞であって、日常用語としては用法上に差はない。ところが、法令用語の上では、この二つの言葉は厳格に使い分けられる。まず、二つ以上の言葉を単純に並列する場合は、「法律、命令又は規則」というように「又は」が使われる。これに対し、この選択的接続の段階が複雑で二段階になる場合は、小さい接続には「若しくは」を使い、大きい接続には「又は」を使う。接続の段階が三段階以上になる場合は、一番大きい接続だけに「又は」を用い、それより小さい接続は、何段階あっても、みな「若しくは」でつながることになっている。

〔例〕「認可行政庁は、・・・移行法人に対し、その業務若しくは財産の状況に関し報告を求め、又はその職員に、当該移行法人の事務所に立ち入り、その業務若しくは財産の状況若しくは帳簿、書類その他の物件を検査させ、若しくは関係者に質問させることができる。」

マトリックス [matrix] 数を縦横に配置した数学の行列

マニフェスト [manifesto] 政策綱領。政権公約

政策の数値目標、実施期限、財源などを明示した文書。民主党のマニフェストの信頼も地に落ちた感じだ。

マネジメントサイクル [management cycle]

経営における、「計画」、[組織]、「調整」、「統制」の4つの機能の循環過程。

これが淀みなく流れることが組織の存続条件の1つとなる。

マネーロンダリング [money laundering] 資金洗浄

不正手段で手に入れた資金を、預金の口座を変えたり外国の不動産に投資したりして、出所が分からないようにすること。

マーフィーのほうそく [Murphy's law] マーフィーの法則

先達の経験から生じた数々のユーモラスで哀愁に富む経験則をまとめたもの。次のフレーズが有名。

「失敗する余地があるなら失敗する。」

「落としたトーストがバターを塗った面を下にして着地する確率は、カーペットの値段に比例する。」

これを、KDHの事例に敷衍すると次のようになる。

「プレゼンは、提案者の説明どおりには理解されない。」

「誰もが理解できる説明を誤解する人が必ずいる。」

「情報は組織の上部に行くに従って劣化する。」

「変更可能なものは、変更可能な時間まで変更される。」

まみず [真水] KDH収益の増加分

事業所長会議等で某理事の発言の中に、「腰だめ」とともにしばしば出てくる言葉。発言のコンテキストから理解するに、KDHの収益の増加部分を指している(諸経費を控除して残った儲け)ものと思われる。「真水」は元々経済対策用語として使われている言葉であるが、明確な定義があるわけではない。

マルせい [マル政] 政治家案件。永田町案件

マンデート [mandate] 委任される権限。

[マンドートをもらう] 委任されている。裁量権の一任を受ける。

[例] 本件については、本部長からマンドートをもらっているのでここで
の合意案で施工していただいて結構です。

[み・ミ]

みえけし [見え消し]

修正前の状態がわかる（見える）ように修正・添削すること。この添削が文章上達には極めて有用だといわれている。

みぎかたあがり [右肩上がり]

後になるほど数値が大きくなること（グラフの線で右に向かって上がっていく形から。）。後になるほど状態がよくなること。

「事故の発生率」でこの表現が使用されるのは最悪である。[右肩上がり]が「事故発生率」の代名詞化している現状は誠に憂慮される事態であり、事故撲滅に向けて関係者の一層の奮起が望まれる。そう、お寒いギャグなんて言っている場合ではないのである。

ミクロ [micro] → [マクロ]

極小、微小、非常に小さいもの。マイクロ

「極小の、極微の、微視的な」の意味で複合語をつくる。

ミッション [mission] 果たすべき任務、使命

ミスターゴーン [Mr Gone]

いつも17:10 sharpに、チャイムとともに退社する人をいう。

Gone with the chime [鐘とともに去りぬ]に由来する。

まれに「クラブL西新橋（末尾地図参照）」等での飲み会の時間調整のため退社時間を遅らせることがある。仕事中には見られないあのルンルン気分がいまいましい。

みなす [みなす]

「みなす」は、Aということとは元来性質の違うBということのある法律関係では、同一とみることをいう。「みなす」とされた場合は、「推定する」と違って反証を許さない。いくら当事者間で、それは事実と違うといっても認めない。いわば法律の力で「白」を「黒」といいくめてしまうのである。

公益法人制度改革3法のいわゆる「整備法」の第40条の第2項に「みなし」規定があるが、第1項で「みなし」とせず「存続するものとする」としているのは次の理由からである。

「現行の公益法人は、施行日（平成20年12月1日）において民法34条の廃止により法人たる根拠を失うこととなるため、有効に存在する公益法人をこれとは異なる一般社団・財団法人と「みなす」という構造とならないことから従前の公益法人をある時点（施行日）から一般社団法人又は一般財団法人「として存続する」という表現としたものである。

[参考：整備法]

（社団法人及び財団法人の存続）

第40条 第38条の規定による改正前の民法（以下「旧民法」という。）

第34条の規定により設立された社団法人又は財団法人であつてこの法律の施行の際現に存するものは、施行日以後は、この節の定めるところによ

り、それぞれ一般社団法人・財団法人法の規定による一般社団法人又は一般財団法人として存続するものとする。

2 前項の場合において、同項の社団法人の定款を同項の規定により存続する一般社団法人の定款と、同項の財団法人の寄附行為を同項の規定により存続する一般財団法人の定款とみなす。

〔解説〕

整備法第38条の規定による民法の一部改正に伴い、改正前の民法第34条の規定により設立された法人（民法法人）は、その法的根拠を失うこととなり、特段の立法措置を講じないと、すべてが「法人法」の規定に基づいて設立をし直さなければならなくなる。そこで、既存の民法法人が、新法施行後も改めて設立手続や組織変更手続行うことなく存続する途を開くことが必要となる。

そのための法律構成として、既存の民法法人は、新法施行後においては、法人の同一性をもって「法人法」の規定による一般社団法人又は一般財団法人として存続することとしたものである。

第2項は、定款又は寄附行為という法人の根本規則については、この法律の施行により新たに定款を作成する必要がないよう、過大な法人負担や無用の混乱を避けるため、民法法人の定款又は寄附行為を新法人の定款とみなすこととするものである。

具体的に対応する定款記載事項は、整備法第80条及び89条において規定している。

整備法第40条は、施行日以降のKDHの設立根拠と法人の同一性を示す規定である。

みひつのこい〔未必の故意〕

犯罪事実が発生する可能性を認識し、かつこれを認容すること。

この細い路地をこのまま運転していったら、ヒョットしたら通行人を死亡させるかもしれないと思いつつ車を走らせる場合、これを故意犯として殺人罪に問うか、業務上過失致死罪として扱うかは非常にデリケートな問題となる。しかし、人に当たったら当たったまでだという、ずぶとい態度は、死亡という結果の発生を認容していたものとして、普通の故意犯として取り扱われる。「ヒョットしたらの故意」、つまり「未必の故意」として扱われる。

ところで、某理事の机のところで、隣席の某氏がしつように話題を髪の毛の話に持っていくように誘導することがある。これも考えようによっては「未必の故意」に該当するとも考えられるが、某氏には日頃からそういうずぶとい態度がないので未必の故意には当たらないという結論に落ち着いているようだ。まあ不毛の議論ではあるが。

なお、この用語を南東北の常磐線沿線の居住者が発言すると、密室の恋・密室の好意・密室の行為と聞こえるので危険である。

みんせいいいん〔民生委員〕

民生委員法に基づき市町村に置かれる民間篤志家。

知事の推薦により厚生労働大臣が委嘱する任期3年の名誉職であり、児童福祉法に基づく児童委員を兼任する。

KDHの某室長が埼玉県某地区の民生委員を務めていることからみて、就

任のハードルはそう高くはないものと思料するが、地域の福祉要求をくみ上げる重要な役割を担っているとのこと。周囲が半休(二日酔いによるAM休)のアリバイづくりのために就任していると思っているのは本人の人徳？ 眠生委員と揶揄されているのを本人は知らない。

[め・メ]

メタファー [metaphor] 隠喩。暗喩

[例] 野球は筋書きのないドラマだ。

メティ [ME T I] Ministry of Economy, Trade and Industry 経済産業省
霞が関でME T Iといえば、目立ちたがり屋 (ME)、態度が横柄 (T)、いざこざの根源 (I) に由来する言葉として理解されている。冷戦時代には、ソ連とM I T I さえ存在しなければ霞が関は平和であるといわれた話は有名

メイドインチャパン [made in china+japan]

家電などの最終商品の生い立ちから使用される言葉で、原材料・部品は中国産、製造が日本人の技術者やデザイナーという商品。顧客の信頼性確保の観点からは、この組合せが日本市場攻略の「秘密兵器」とであるとされる。

メンション [mention] 言及する。

メンター [mentor] よき指導者。優れた助言者

メンターシステム [mentor system]

企業の人事制度の一つで、先輩社員が後輩や新人に指導や支援を継続的に行うもので、ME T I ではメンタルヘルス対策として既に導入している。職務上の直接的な指導だけでなく、マナーや人間関係なども日常的なコミュニケーションを通して支援する。指導する側をメンター (mentor)、受ける側をプロテジェ (protege) と呼ぶ。

メンタリティ [mentality] 心的傾向

人の思考様式や感覚

[も・モ]

もくてきろんてきかいしゃく [目的論的解釈]

法文の目的(趣旨)に適った解釈。法の解釈は目的論的解釈でなければならない。文理解釈、拡張・縮小解釈、類推解釈、そして勿論解釈も反対解釈も目的論的解釈をするための技術にすぎない。

もちまわり [持ち回り]

文書の決裁を急ぐ場合に、普通に回付せず稟議書を持って決裁者に直接会って回ること。

モニタリング [monitoring] 継続監視

モーニングサービス [morning service 和製英語]

(喫茶店やレストランなどで)早朝から正午頃までに限って、割安な料金で特定の飲食物(コーヒー+トースト+ゆで卵など)提供すること。

発祥の地は愛知県一宮市といわれている。

なんでも、昭和30年代前半、同市内には繊維業を営む工場が多く、織機音がうるさいので事務所では商談や打合せがしにくかったので、喫茶店を応接間代わりとして1日に何回も通う常連が増え、マスターが朝のコーヒーにサービスとしてゆで卵とピーナツを付けるようになったのがはじま

りでこれが全国に広まったとか。現在の一宮市のモーニングサービスでは、コーヒーなどのドリンクに付くおまけには、茶碗蒸しや焼きそば、サラダと多種多様とのこと。

英語で morning service といえば、教会の早朝礼拝の意。

もの [者、もの、物]

[者]：自然人、法人を問わず、法律上の人格を有するものの単数又は複数を表す場合には、法令上 [者] を使用する。

[もの]：自然人、法人以外の権利能力のない社団・財団、またこれら人格のない団体と人格を有する自然人、法人の双方を含んでいる場合には [もの] と仮名書きにする。

[物]：外部の一部をなす物件を表す場合には、[物] の字を用いる。

ところで、現行民法は、物という言葉の有体物に限定している（85条）。したがって、電気、熱、光、電波、精神的創造物などの無体物は民法上の物には含まれない。ただ、このこととこれらの無体物について権利が成立するかどうかとは別問題で、これらについても所有権類似の排他的支配権や賃借権類似の債権的利用権などが成立する。電気、特許権などの利用権等。物を有体物に限定することは、私有財産権の定義としては狭すぎるので、物を排他的支配（私有）可能なものと定義する学説が有力となっている。

なお、人間は財産権の主体であり、客体（奴隷）とすることは許されないが（死体については、所有権が成立し得る。）、このことをわかっておらず傍若無人な振る舞いをする輩がみられなくもない。実に腹立たしい。

もむ [揉む]

より良い案を作成するために、様々な人により多角的な視点から検討を加えること。「詰める」が字句等の細部の検討であるのに対し、「揉む」はより高い視点・政策的意義の観点等からの検討。

モラトリアム [moratorium] 支払い延期、停止。実行・実施の猶予・停止

非常事態下で金融混乱を防ぐため債務や債権の決済を一定期間猶予すること。

心理学用語で、学生など社会に出て一人前の人間となることを猶予されている状態をいう。

（米国の学者がモラトリアムという言葉を経済分析に転用し、青年期を「心理社会的モラトリアムの年代」と定義した。青年期は修業中の身だから社会的な責任や義務の決済が猶予されるという意味である（小此木啓吾著「モラトリアム人間の時代」中公文庫）。いつまでも大人になろうとしない青年期延長型の人間を小此木氏が「モラトリアム人間」と名付け日本でも広まった。）

平成21年9月16日に鳩山由紀夫内閣が発足。亀井静香内閣府特命大臣（金融・郵政改革担当）が就任後の会見で中小企業が抱えているローンの支払いを3年程度猶予（モラトリアム）すると発言したが、結局内容的にはそれほど過激なものではない「中小企業等金融円滑化法」（返済猶予法）として成立。

モラルハザード [moral hazard] 倫理崩壊

倫理の欠如。金融機関や個人が道徳的節度を失って行動する危険

もんせきけつぎ [問責決議]

参院の問責決議とは、参院が首相や閣僚の失策を重視し、責任を問う（＝問責）意思表示を本会議で決める（＝決議）手続のことである。ただし、問責決議案が可決されたからといって、やり玉に上がった首相や閣僚が辞任しなければならないということはない。つまり、問責決議自体には法的な拘束力がない。

[や・ヤ]

やくにんがくさんそく [役人学三則] (勿論、反語で皮肉たっぷりの教訓)

元東京大学法学部末広巖太郎（すえひろいずたろう）教授が書いた役人の心得三原則

第1条およそ役人たらんとするものは、万事に広く浅き理解に努め、特殊の事柄に特別の興味を抱いてこれに注意を集中しないこと。

第2条およそ役人たらんとするものは、法規を盾にとり、形式的理屈を言う技術を習得すること。

第3条およそ役人たらんとするものは、平素から縄張り根性の涵養に努めること。

ヤードスティックほうしき [ヤードスティック方式、yardstick(物差し・基準)system] 基準原価方式。

経営効率が料金に反映しにくい公共料金などについて、競争原理を持ち込む考え方。各企業の経営努力を促すために、経営効率の高い企業を基準に各企業を比較し料金を設定する。1996年（平成8年）から、電気料金とガス料金制度に採用。

やろうじだい [夜郎自大]

漢の時代、中国西南地方に「夜郎」という民族がいた。彼らは「漢」の国の巨大さを知らず、その使者に対し自らとどちらが大きいかを問うたという話による。転じて自分の力量を知らずにいばることを例えるのに用いられる。こういう輩ごにでもいるんだよね。

やんぬるかな [やんぬるかな] 「止（や）みぬるかな」の転。

もうおしまいだ。手を尽くしたがどうしようもない。

[ゆ・ユ]

ゆうきてきれんけい [有機的連携]

1個の生物のように、多くの部分が集まり強く結びついて統一された全体を形作り、その各部分が緊密につながりをつけること。

[例] 本部と各事業本部は有機的連携を図りつつ経営改善に向けた具体策の展開が強く求められている。ビジョンや中計作成に当たっての常套句

ゆうけんかいしゃく [有権解釈] 公権的解釈

法を解釈する権限を持っている機関による解釈。電気事業法でいえばMETIが有権解釈権を有している。そういえば、かつて「俺の言葉が法律だ。」などといって威張っていた役人がいたことを思い出す。

ユーターン現象 [U turn 現象] → I ターン

人口移動現象の一つで、大都市に出てきた人々が再び出身地に戻ることに。なお、秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称をA (Akita・All)

ターンというが、仙台へのUターンをギョウ（牛）ターンとはいわない。
ユニバーサルサービス [universal service] 全国均質サービス
国民生活に不可欠な商品について、「誰もが利用可能な料金で適切な料金」
「全国あまねく公平に」という概念であるとされている。

ユニバーサルデザイン [universal design] 万人向け設計

ユビキタス [ubiquitous]

「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が、意識せずに情報通信技術を利用できることとされている。ユビキタス婚活をやっている者もいるが、成果はあがっていないようである。

MITI もかつての notorious MITI（悪名高き通産省）から、その後霞が関の侵略者として ubiquitous MITI（おせっかいやき通産省）と揶揄されながら、今日のMETIに至っている。

なお、ユビキタスという言葉は、ラテン語の宗教用語であり、「神があまねく存在する」という意味がある。

[よ・ヨ]

よこぐしをとおす [横串を通す]

組織論の用語として使用されることが多い。業務の専門化の進展に伴い組織のタテ割化の傾向が強まり、職場の全体感や一体感が薄れ組織の発展を阻害するケースがある。このような組織への悪影響を払拭するには、経営理念、ビジョン等でこれらタテ割された組織に「横串を通し」、組織の価値観を共有することが有用であるといわれている。

なお、政権交代を機に始まった行政刷新会議の事業仕分けでも各省庁の個別事業の精査結果を踏まえ、これを他省庁の類似事業に「横串を通し」て予算の削減額の上積みを目指す旨の報道があったが、財務省の思惑を知ってか知らずか仕分け人の中には今後の成長戦略に必須の事業にも[横槍を入れる]ような情景が少なからずみられた。いずれにしても組織の有機的連携を図る見地から、様々な局面においてヨコ連携の「横串を通す」必要性が指摘されている。

ところで日本経済新聞紙上（H21. 11. 24）には、経済政策の不在を揶揄して「3D不況」なる用語が登場した。

① デフレ (deflation)

② ダイリュウション (dilution) : 希薄化

株式増資などによって起きる、1株当たりの配当・資産などの減少。

③ DPJ (民主党)

よこわりきょくとたてわりきょく [「横割り局」と「縦割り局」]

METI 本省の内部部局のうち大臣官房を除く8局は、大きく二つのグループに分類される。すなわち、経済産業政策局、通商政策局、貿易経済協力局、経済産業政策局、産業技術環境局、商務情報政策局、商務流通グループの7局からなる「横割り局」と製造産業局の「縦割り局」である。

横割り局は、特定の産業や物資の枠組みにとらわれず、業種横断的に産業界の育成・強化に取り組む局をいう。これに対して縦割り局は「原局」ともいわれ、個別の産業・業界の実態に応じて指導・監督する前線部隊と位置付けられる。もっとも、商務情報政策局については、原局という面も併

せもっており、この分類が必ずしも当てはまらないところとなっている。
M E T I は、この横割り局と縦割り局を通じて、マクロとミクロの両面から日本経済を牽引する役割を担っているのである。一般的には、横割り局の方が、縦割り局より格上と見なされる。

よびこみ [呼び込み]

打合せ、レク等で開始時間がはっきり特定できない場合に、主催側が「今から始めますので来てください。」と声をかけること。お呼びがかかるまで自席で別の仕事ができるメリットがある。

池袋駅近くで、「呼び込みに注意」という立て看板があるのは、別物。

よむ [読む]

解釈する。該当する。[例] その業務は、電気事業法第〇〇条で読める。

より [より] → [から]

[ら・ラ]

ライフサイクルアセスメント [life cycle assessment]

製品や構造物の評価を、原料の調達から部品・部材の加工、製品・構造物の製造・建設、運用、解体・廃棄に至るすべての過程で生じる環境負荷を分析すること。

ライブショウ [live show] 実演。ライブ

録音や録画ではない生番組

ライフワーク [lifework] 一生をかけた（かけるつもり）仕事、研究、作品

ライン [line] → [スタッフ]

上から下まで1本の命令系統で貫かれている法人組織又はその系列にある者。官庁においては、「長」の付く役職がこれに当たる。

[例] ライン職：部長―課長―班長―係長

ラストリゾート [the last resort] 最後の手段。切り札。最後の行楽地ではない。

KDHの某氏にとって、懇親会の店探しのラストリゾートは池袋倶楽部の3階である。

ランドラッシュ [land rush] 土地争奪

近年特に中国などの外国資本による我が国の森林等の買収が相当程度進んでいるとのことで安全保障上懸念される事態となりつつある。

ところで、我が国の国土面積は約37.8万平方メートル。世界の国・地域で見ると61番目の広さ（最も広いロシアの1/45で、インドネシア、ミャンマー、タイよりも小さい。）。ただ、領海と排他的経済水域（EEZ）を合わせれば、国土面積の1.2倍の約447万平方メートルとなり、我が国を海の広さで見ると、世界第6位の大国となる。

国土の小さな我が国のEEZが広いのは、離島の数が多いことによる。即ち、本土の5島（北海道、本州、四国、九州、沖縄本島）のほか、6852（北方四島及び竹島を含む。）の離島（外周100m以上）が北から南まで点在し、EEZが広がる理由になっている。

ランニングコスト [running cost] → [イニシャルコスト]

運転資金。経営を維持していく費用。経費

[り・リ]

リアルタイム [real time] 即時

りえきつみたてきん [利益積立金] → [資本積立金]

リーガルマインド [legal mind] → [目的論的解釈]

法律を実際に適用するに当たって必要とされる柔軟かつ的確な判断力。

職場内においては業務上日々判断と決断を迫られが、このような中でKDHマンが業務の適正かつ効率的な執行を確保するためには、企業法務等に機敏に対応することが求められる。そのためには常に当該法令等が求めている社会的利益（法益）がどこにあるかを、複眼的・多角的に捉えてバランス感覚を持って判断することが不可欠の要請となる。そして、このような筋道を立てて論理的に考える能力を「リーガルマインド」ということができる。その際「手続（due process）」も重視されなければならない。そもそも法律は、「常識のエッセンス」とか「常識の集大成」いわれるが、各人はその解釈に当たっては良識に立った判断をすることが大事であり、この意味でリーガルマインドの具備はKDHマンにとって必須の要請となる。

リクルート [recruit] 人材募集。人材採用

学生の就職活動

リサーチャー [researcher] 研究者。調査者

リジェクト [reject] 拒絶すること。拒否すること。

[リジェクション (rejection)] : 拒絶。拒否。却下

リスク [risk] 危険

リスクとリターンの関係で会社法と法人法等の関係を整理すると次のとおり。

- ・会社法：ハイリターン・ハイリスク
- ・旧民法法人：ローリターン・ローリスク
- ・法人法：ローリターン・ハイリスク

なお、法人法は会社法のコピーであり、企業の自由な活動を支援するための重要な社会的インフラ（会社法は利益の最大化という企業の活動が円滑にいくようにするための手段・装置）

Risk Averse（リスク回避）：外国人の有識者からは、我が国は国・企業・個人のどのレベルでもRisk Averseが見てと取れるとの指摘がある。

リスクヘッジ [risk hedge] リスク回避のため他人を巻き込むこと。

危険防護。危険分散。まだ方向性が見えない段階において、後で自分が責任を負わされないように、早め早めに関係者に情報を伝達すること。後で関係者に「そんなこと聞いてない。」と言わせないためのもの。往々にして前言を翻す輩もいることに留意する必要がある。後ろから鉄砲を撃つことだけは止めてもらいたい。

ヘッジファンドのヘッジもここから来ているのだが、まったく機能していないことが明らかになってしまった。

リスクマネジメント [risk management] 危機管理。危険管理

KDHの事業活動を行う上で想定される、ヒト、モノ、カネ（財務）面でのマイナス要因を事前に検討し、これを最低限に抑えるための対応策としての組織の管理運営方法。

リスクマネジメントとは、企業の戦略を実施する上で不可避なリスクを管理することである

リストラ [restructuring] リストラクチャリング。企業再構築
収益率や成長率を高めるために不採算部門を整理すること。

りつきさい [利付債] → [クーポン]

利付債は、額面で発行され、所有者に対して毎年決まった時期に利息が支払われる債券。割引債とは逆のスキームとなる。

利付債の債券本体にはクーポンが付随しており、利息の支払い額と支払い年月日が記載されている。利息はクーポンと引き換えに支払われる。利息は通常は半年ごとに支払われるが、償還時に一括して支払われるワイドも存在する。

利付債には、利率が一定である確定利率債あるいは固定利率債と、利息支払時の金利動向（政策金利など）に伴って利率が変動する変動利率債が存在するが、確定利率債の方が一般的である。また、個人で購入可能な売出債と、機関投資家などが購入可能な募集債とに分けられる。

リテラシー [literacy] 読み書き能力。(情報) 活用能力

金融リテラシー (金融の知識や教育)

リデュース [reduce] ごみ発生抑制

リデュース (節約)、リユース (reuse : 再利用)、リサイクル (recycle : 資源再生) の3つがいわゆる3R。

次の3つも環境保護への貢献のキーワード

Repair (直す)、Reform (改良する)、Rental (借りる)

リードタイム [lead time] 事前所要時間

リバイス [revise] 資料に最新の情報を加える修正

用語集のリバイスは、追加分を朱書にしないと読んでくれない。

リバースオークション [reverse auction] 逆オークション。競り下げ

企業や消費者が購入条件を指定し、その条件を受け入れる販売者が申し込むことで成立する売買。又は上限価格などを提示しそこから競り下げていく売買の仕組み。

具体的には、参加者がインターネット上で他社の提示した価格を見ながら、何度でもそれを下回る価格を入札できる方式で、最終的な安値を提示した業者が採用される。

リバースモーゲージ [reverse mortgage] 逆住宅ローン

住宅などの資産はあっても現金収入が少ない高齢者等を対象に、居住中の持ち家を担保 (mortgage) に資金を貸し出し、生活費や福祉サービス費に充てる制度。

契約時に一括して融資額が支払われ、毎月返済していく通常の融資とは逆に (reverse)、ローン残高が毎月増えていき、死亡時に資産を売却し精算することから、資産担保年金や住宅担保年金などと呼ばれる。

我が国では、昭和56年に東京都武蔵野市で導入されたのが最初で、武蔵野方式といわれる。

この仕組みを使えば、高齢者は自宅に住み続けながら、老後に必要な資金を調達することができる。ただし、自宅の資産をキャッシュフロー (現金) 化して使いきるため、自宅は子供たちには残らない。

リバタリアン [libertarian] 自由至上主義者。完全自由主義者

リベラリズムが福祉国家による所得再配分に走ったことを批判し、個人の

自由を徹底するために私有財産権や市場機構を擁護する立場

リファアー [refer] 参照すること。言及すること。

リーフレット [rieflet (小さい葉)] ちらし (広告)

1 枚ものの小型印刷物。販売店頭に置く説明書の類

リプロダクション [reproduction] 再生産。複製

リマインド [remind] 相手に思い出させること。

発注の期限前に、念のためもう一回情報を入れる行為が一般的。

なお、KDHでは、これを怠ると発注の期限を守ってもらえないので不可欠の行為である。

The scenery reminds me of my country.

(その風景を見ると故郷を思い出す。)

リーマンショック [Lehman Shock]

2008年(平成20年9月15日)に米国の大手証券会社リーマン・ブラザーズ (Lehman Brothers Holdings Inc.) が経営破綻したのをきっかけに、世界中に広がった連鎖的な金融・経済危機。

りゅうどうしさん [流動資産] 1年以内に現金化できる資産。

りゅうどうふさい [流動負債] 1年以内に支払わなければならない負債。

リラクタント [reluctant] 気がすすまない。いやいやながらの。

[例] 今度の会議、課長はリラクタントらしいが出席してもらわないと他への示しがつかないよな。

リリース [release] 発表

プレスリリース [press release] 報道関係者向けの発表。ニュースリリースともいう。

[る・ル]

るいすいかいしゃく [類推解釈] → [目的論的解釈]

規定されている文言の意味に含まれていない事項について、規定されている事項との類似性を理由として法規の適用を肯定する解釈。

「車馬の通行を禁ずる」という条文がある場合に、重量の類似性から牛の通行も禁ずると解するのが類推解釈。

かつて、文書偽造罪(刑法2編17章)においてコンピュータのデータは文書に含まれるかという問題があった。この問題は電磁的記録不正作出(さくしゅつ)及び供用罪(刑法161条の2)が制定されることにより立法的には解決したのであるが、そこには「文書」という言葉にコンピュータデータを含むとするのは、拡張解釈の範囲を超えて類推解釈となってしまう許されないという判断があったとか。罪刑法定主義の観点から刑罰法規の解釈には類推解釈は許されないというのは、けだし当然のことであるからである。

[れ・レ]

レアアース [rare earth] 希土酸化物、希土類

レアアースを他の金属に加えることで、「光」や「磁力」といった、現代の最先端産業には必要不可欠な性質を帯びることから、「産業のビタミン」や「産業の隠し味」などとも呼ばれる。

レアメタル [rare metal]

鉄や鉛など従来の金属に対して、ウラン、トリウム、チタンなど自然の産出量が極めて少なかったり、化合物からの分離が難しかったりするが、特殊の用途に必要な金属

れいじょう [礼状] 御礼の手紙・葉書

最近では御礼メールで済ますことが多いようであるが、相手先によってはメールではなく手紙で対応することが望ましい場合がある。

その際の文例の一つを示せば以下のとおり（施行文は縦書）

拝啓時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の業務につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度の御社訪問に当たりましては、御多忙中にもかかわらず、格別の御配慮を賜り誠にありがとうございました。

おかげさまで持ちまして非常に有意義な時間を過ごすことができましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

御社のますますの御発展をお祈り申し上げますとともに、今後とも当協会を御最厚賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成〇〇年〇月〇日

財団法人関東電気保安協会

〇〇部長 〇〇 〇〇

〇〇株式会社

〇 〇 〇 〇 様

追 伸 〇〇様によりしくお伝えくださいますようお願い申し上げますとともに今後とも〇〇課長に何なりと御相談いただければ幸いです。

なお、手紙の「手」は手習い（習字）の手や、手ずから、すなわち自分の手で書くという意味の手で、そこには「誠」や「信」という字にある真心を記す思いも込められているとか。

レイムダック [lame（足の悪い） duck（アヒル）] レームダック

役立たずになった人。死に体の企業

レク [lecture]

幹部に対して重要事項を報告、説明すること。通常、重要な会議の前にその案件についてのレクが行われる。

無知な人に教えるというニュアンスを持つので、人によっては嫌うことがある。石原慎太郎が大臣のとき、「レクさせていただきます」と言った役人に対し、「バカヤロー、ブリーフィングと言え」と怒鳴ったのは有名な話。なお、ブリーフィング (briefing) とは「要旨説明」・「要点説明」とか「事前説明」と訳されている。

レジメ (レジュメ) [resume 仏] 要約。摘要。大略。概要

幹部会資料は、最多でもA4用紙2枚が定番

レゾンデートル [raison d'être 仏] 存在価値

事故発生件数が毎年右肩上がりでは、安全確保を任務とするKDHのレゾンデートルが問われかねない。

レバレッジ [leverage] 借金依存による投資

レピュテーション [reputation] 企業に対する評判

レピュテーションリスク [Reputation Risk]

企業における事業やサービスの悪い評判が広まり、顧客の信頼を失うリスク

れんたいし [連体詞] → [副詞]

名詞及び代名詞（これらを体言という。）を修飾する言葉のうち活用のないものをいう。活用のあるものは「形容詞」や「形容動詞」である。

これら連体詞も漢字で表記するのがルールである。

[ろ・ロ]

ローキー [low-keyed] 控えめな、物静かな

[例] 本件は、大げさにしないでローキーで伝えた方がいいよ。

ログイン [log in] 接続開始

ロジカルシンキング [logical thinking] 論理的思考

ロジスティクス (ロジ) [logistics] 兵站

会議等の裏方的な準備作業全般のこと。例えば場所の確保、出席者の確認、資料のセット等。[対] サブスタンス (サブ)

外交においては内容よりロジが大切にされることが多いが、企業などでこれがまかり通ると倒産する。

ロス・カット [loss cut] → 「損切り」

相場で損を覚悟で見切り売りすること。

このロス・カットができない人は株取引に不向きといわれる。

ところで、「投機」と「博打 (ばくち)」の違いであるが、前者は自分でコントロールできることであり、後者は運命を自分できめることができないことであるとされている。

ロートル [老頭児 中国語] 老人。年をとって頭の回転の悪い人

老い六歌仙 [猪井 (いのい) 達雄著「丹兵衛日記」より]

- ・皺がよるほくろが出来る腰かがむ

頭ははげて毛は白ふなる

- ・手がふるふ足がよろめく歯は抜ける

耳はとふのく目は薄ふなる

- ・くとふなる気がみじこなるぐちになる

おもいつく事みなふるうなる

- ・身につくは頭巾 (ずきん) 襟巻 (えりまき) 杖 (つえ) 目がね

たんぼ (湯婆) おんじゃく (温石) しびん孫の手

- ・聞きたがる死にともながるさびしがる

出しゃばりたがる世話やきたがる

- ・又しても同じはなしに孫ほめる

達者自慢に人をあなどる

ロハス [LOHAS、Lifestyles Of Health And Sustainability]

健康で持続可能なライフスタイルの略。

健康や環境問題に関心の高い人々のライフスタイルを営利活動に結びつけるために生み出されたマーケティング用語で、1998年にアメリカ合衆国で

造語され、日本では 2004 年頃からライフスタイルを表現する言葉として注目されている。

日本では、「健康と環境を志向するライフスタイル」と意識され、スローライフやエコに続いて広まった。一般的には、健康や癒し・環境やエコに関連した商品やサービスを総称してロハスと呼び、ロハス的な事・物に興味を持つ人をロハスピープルと呼ぶ。

LOHASを志向する市場として次の 5 分野（頭文字をとって SHAPE と呼ばれている。）が挙げられる。

- ・ 持続可能な経済への貢献 (Sustainable Economy)
- ・ 健康的ライフスタイル (Healthy Lifestyle)
- ・ 代替医療 (Alternative Healthcare)
- ・ 自己啓発 (Personal Development)
- ・ 環境配慮型ライフスタイル (Ecological Lifestyle)

[わ・ワ]

わかちけっさん [分かち決算]

整備法は、特例財団法人が一般財団法人への移行登記をしたときは、事業年度を当該登記日の前日までと登記日以降とに分けること（分かち決算）を規定している（整備法施行規則 2 条）。

この分かち決算をしなければならない関係上、計算書類について評議員会の承認手続のための定時とは別の「評議員会」の開催が必要になる（登記のタイミングによっては 1 回の評議員会で済ますことも可）。

わかりやすい「分かりやすい」

分かりやすいを「分かり易い」と表記する用例が散見されるが、「易」には「やさしい」という読みはあるが、「やすい」という読みはないので平仮名で書くのが正しい。

ワークシェアリング [worksharing] 仕事の分かち合い

ワークショップ [workshop] 研究集会

専門家の助言などを受けながら、参加者が共同で研究などを行う場

ワークライフバランス [work-life balance] 仕事と生活を両立させること。

勤務形態・休暇制度の多様化、育児・介護の支援、キャリア形成の支援、カウンセリング、退職者の支援などを行う。

わせいかんご [和製漢語]

日本で日本人によりつくられた漢語

日本人が西洋の語彙を翻訳して漢語としたもので、現在中国で使用している社会科学や人文科学方面の用語の約 70% は日本から輸入した和製漢語とのこと。主なものを示せば以下のとおり。

協会、科学、化学、環境、関係、幹部、議員、議会、企業、基準、基地、共和国、講演、工業、市場、情報、代表、政策、人民、民法、理念、電車、労働組合、文化、領海、領土、法律、哲学、主義、証券、電流、輸出
中国の国名である「中華人民共和国」は、「中華」を除くと、すべて和製ということになる。

関東電気保安協会は、すべて和製漢語と思われるがどうであろうか。

なお、日本語は主要言語の中で最も語彙の多い言語であるといわれている。

日本語最大の辞書「日本国語大辞典（小学館第 2 版／全 14 巻）」には 50

万項目の語彙が収録されている。

ワーディング [wording] 言い回し。表現

条件を表すときに「～場合は」とするのか、「場合には」とするのか迷うときがある。「には」を用いるとニュアンスが生ずるので、特に語感に違和感がないのであれば「場合は」の方を用いるべきと指摘する向きもある。

なお、法令に出てくる数の上では「場合には」の方が多いとされている。ところで、漢字仮名混じり文は世界で最も速読に適した文章であるといわれている。仮名という生地の上に浮き出た模様(漢字をこうたとえたのは、作家の高田宏)。

「漢字率」についてジャーナリストの林邦夫氏はこんなことをいっている。

「漢字が30%ほど含まれている文章は読みやすいという。20%では締りがなくなり、40%では幾らか硬い感じになる。」三島由紀夫の小説「潮騒」の書き出し部分がちょうどその比率とか。

ところで、平成25年(2013年)は巳年。この「巳(ミ)」という字によく似た漢字に「己(キ)」と「巳(イ)」という字がありなんとも紛らわしい。左下のLのような一画がコの部分にどう接続してどう読まれるか、これの覚え方については昔から次のフレーズが有名。

『キ・コの声、オノレ・ツチノト下につき、イ・スデニは半(なか)ば、シ・ミはみなつく』。『己』、『巳』、『巳』はこのように覚えれば間違えることはない。

ワンイヤールール [one year rule]

1年基準。資産や負債の固定・流動に区分する際の分類基準

ワンストップサービス [one-stop-service]

1か所で業種や管轄が異なった複数のサービス利用や手続が行えたり、多様な商品が購入できること。これが今後のKDHの業績拡大のカギになる。

ワンノブゼム [one of them] 全体の中の一部。

それらの一つ。彼ら、彼女たちのうちの一人。

偉そうなことを言ったって所詮彼もワンノブゼムに過ぎない。

ワンフレーズポリティクス [one+phrase+politics 和製英語] → [在素知贅]

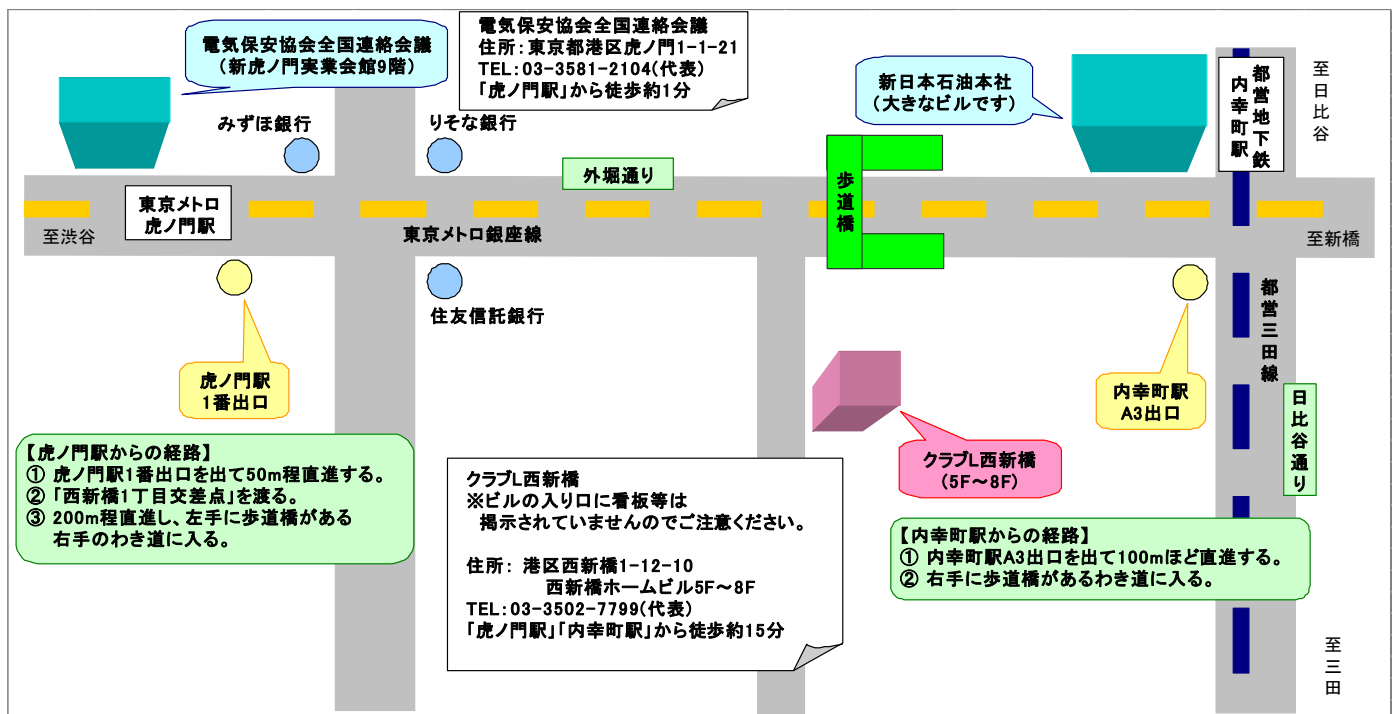
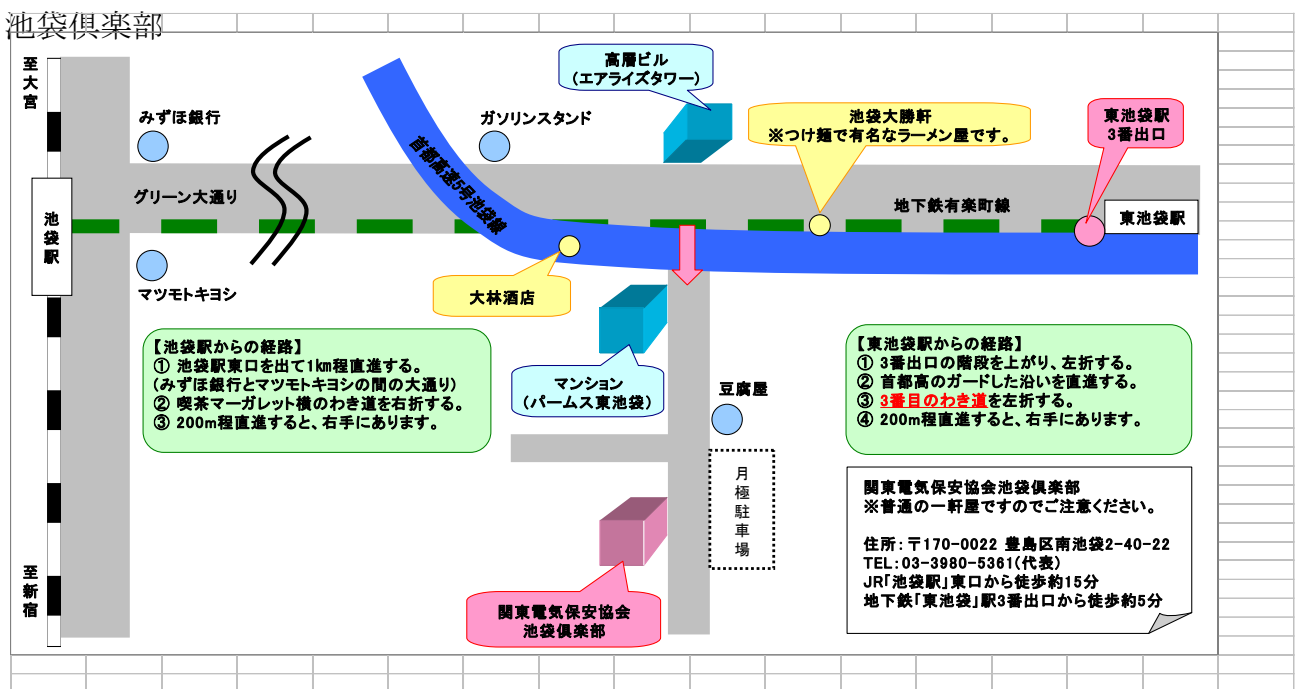
ワンフレーズ政治。俗に政治家の発言が、単純明快ながら中身が伴わない場合に、それを揶揄するという語

ここで思い出されるのが「讃岐の鈍牛」こと、第68・69代大平正芳内閣総理大臣である。大平首相のように10を考えて1とか2しか語らない政治家がワンフレーズポリティクスに代表される「テレビ的知性」が求められる時代に成功するのは難しくなっているといわれる。

なお、同氏が膨大な読書量から培われたのは、「人を最も強く動かすのは嫉妬。世はジェラシーの海」という人間洞察であったとは同氏の側に仕えた者たちの述懐

池袋倶楽部

池袋倶楽部



犬と人の年齢比較表

犬の年齢		人の年齢	
胎児期間	60日	280日	
<div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div>	出生	乳歯生え始め	出生
	3週	母乳以外の餌	8ヶ月
	4週	離乳	10ヶ月
	5週	幼児食	1歳
	6週		2歳
	2ヶ月		4歳
	3ヶ月		5歳
	4ヶ月		6歳
	5ヶ月		7歳
	6ヶ月		8歳
	7ヶ月	訓練教育	10歳
	8ヶ月	初発情(小型犬)	12歳
	9ヶ月		14歳
	10ヶ月	初発情(中型犬)	16歳
	11ヶ月		18歳
	1年	発情期(大型犬)	20歳
	2年		25歳

☆ 学者によって換算の違いがあり、また犬種別にも差があります。
犬と人の友情の絆としてご利用ください。

猫と人の年齢比較表

猫の年齢		人の年齢
胎児期間	60日	280日
出生		出生
4 週	乳歯生え始め	6 ヶ月
5 週	離乳	8 ヶ月
6 週	体重600g	2 歳
2 ヶ月		4 歳
4 ヶ月	永久歯生え始め	6 歳
6 ヶ月	永久歯完成	8 歳
7 ヶ月	初発情	12 歳
10 ヶ月		18 歳
1 年	骨格完成	20 歳
2 年		24 歳
3 年		30 歳
4 年		36 歳
5 年		40 歳

☆ 学者によって換算の違いがあり、また猫種別にも差があります。
猫と人の友情の絆としてご利用ください。